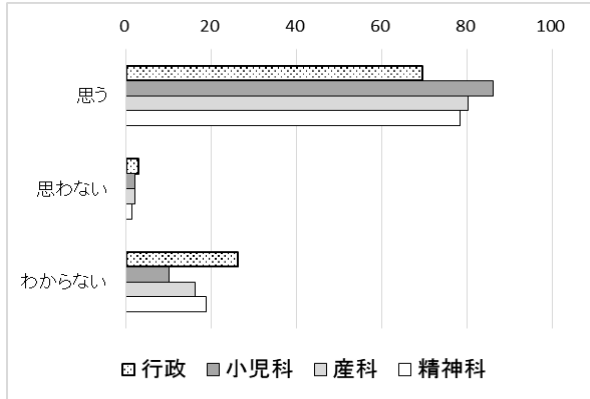


妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
思う	69.6	86.1	80.3	78.2
思わない	2.9	2.0	2.0	1.5
わからない	26.1	10.2	16.3	18.8

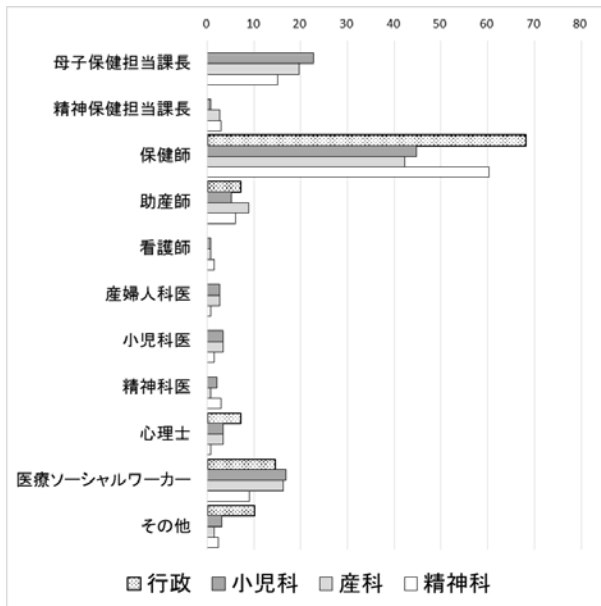
値は%を示す



コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
母子保健担当課長	0.0	22.7	19.7	15.0
精神保健担当課長	0.0	0.7	2.7	3.0
保健師	68.1	44.7	42.2	60.2
助産師	7.2	5.1	8.8	6.0
看護師	0.0	0.7	0.7	1.5
産婦人科医	0.0	2.7	2.7	0.8
小児科医	0.0	3.4	3.4	1.5
精神科医	0.0	2.0	0.7	3.0
心理士	7.2	3.4	3.4	0.8
医療ソーシャルワーカー	14.5	16.9	16.3	9.0
その他	10.1	3.1	1.4	2.3

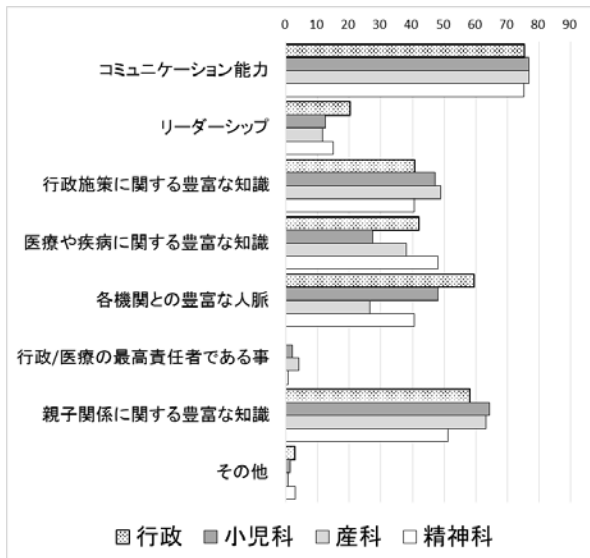
値は%を示す



妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
コミュニケーション能力	75.4	76.9	76.9	75.2
リーダーシップ	20.3	12.5	11.6	15.0
行政施策に関する豊富な知識	40.6	47.1	49.0	40.6
医療や疾病に関する豊富な知識	42.0	27.5	38.1	48.1
各機関との豊富な人脈	59.4	48.1	26.5	40.6
行政/医療の最高責任者である事	0.0	2.0	4.1	0.8
親子関係に関する豊富な知識	58.0	64.4	63.3	51.1
その他	2.9	1.4	0.7	3.0

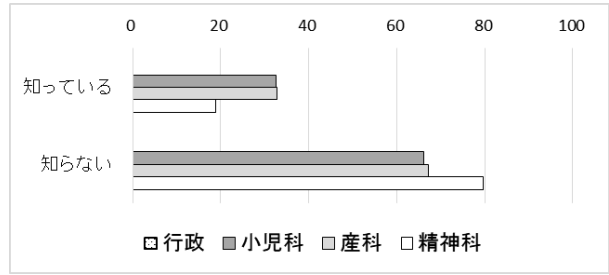
値は%を示す



妊娠前から乳児期までの様々なニーズに対して切れ目ないワンストップ総合的相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」が全国市区町村に設置される予定があるのをご存知ですか？

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
知っている		32.5	32.7	18.8
知らない		66.1	67.3	79.7

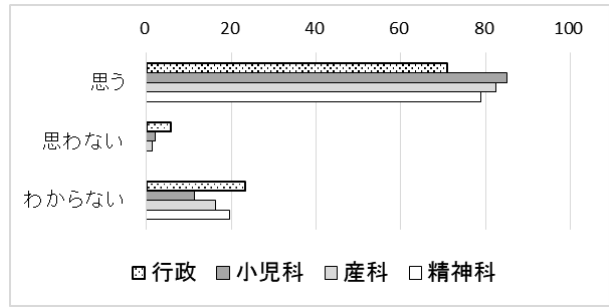
値は%を示す



コーディネーターを、将来（現在）設置される（されている）「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
思う	71.0	85.1	82.3	78.9
思わない	5.8	2.0	1.4	0.0
わからない	23.2	11.2	16.3	19.5

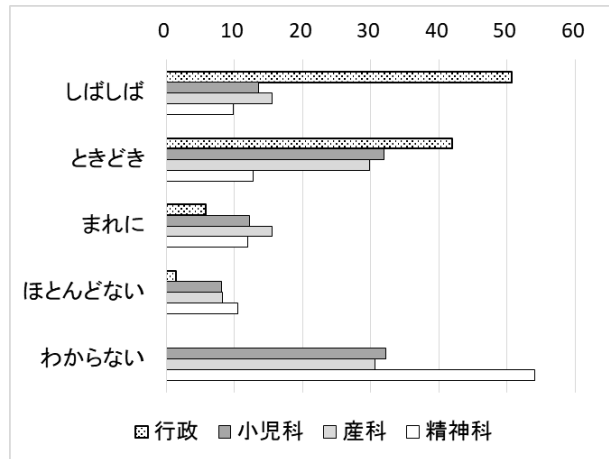
値は%を示す



妊娠前から乳児期の様々な課題に対する多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
しばしば	50.7	13.6	15.6	9.8
ときどき	42.0	31.9	29.9	12.8
まれに	5.8	12.2	15.6	12.0
ほとんどない	1.4	8.1	8.2	10.5
わからない	0.0	32.2	30.6	54.1

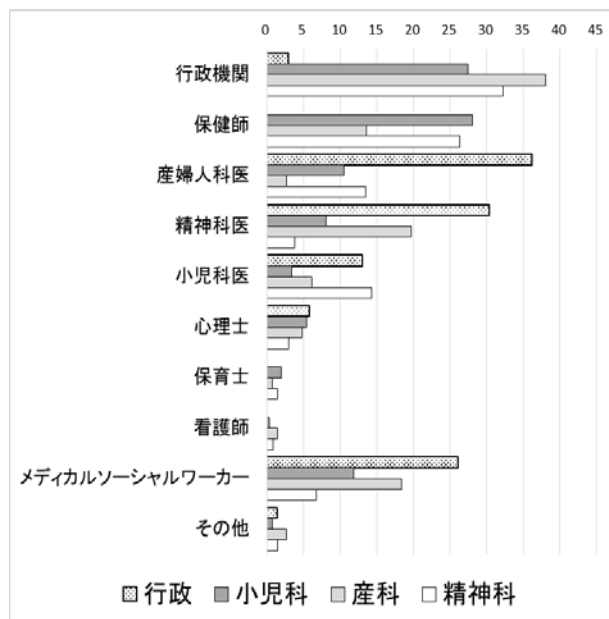
値は%を示す



妊娠前から乳児期の様々な課題に対する多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
行政機関	2.9	27.5	38.1	32.3
保健師	0.0	28.1	13.6	26.3
産婦人科医	36.2	10.5	2.7	13.5
精神科医	30.4	8.1	19.7	3.8
小児科医	13.0	3.4	6.1	14.3
心理士	5.8	5.4	4.8	3.0
保育士	0.0	2.0	0.7	1.5
看護師	0.0	0.3	1.4	0.8
メディアソーシャルワーカー	26.1	11.9	18.4	6.8
その他	1.4	0.7	2.7	1.5

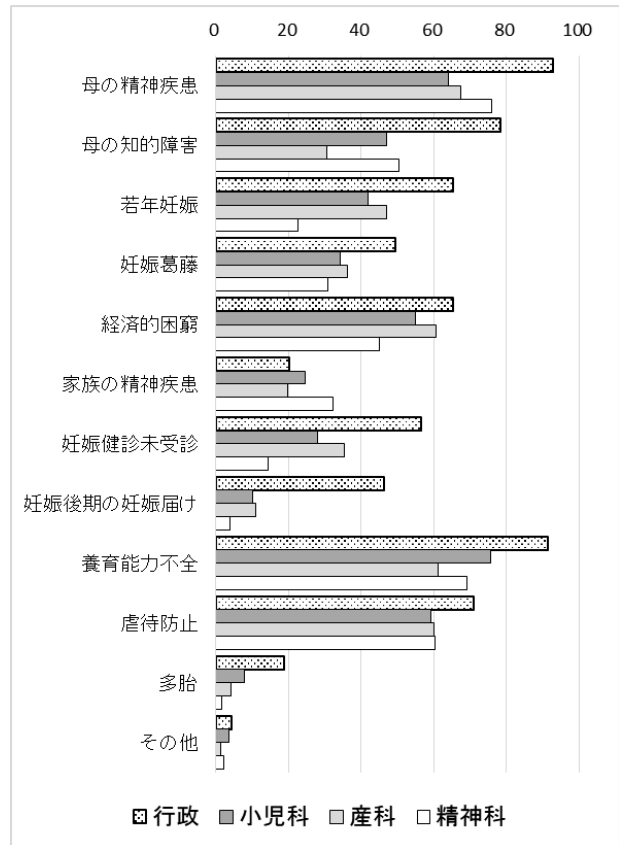
値は%を示す



連携が特に必要と思われる主な理由は何ですか？（複数回答可）

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
母の精神疾患	92.8	64.1	67.3	75.9
母の知的障害	78.3	47.1	30.6	50.4
若年妊娠	65.2	42.0	46.9	22.6
妊娠葛藤	49.3	34.2	36.1	30.8
経済的困窮	65.2	54.9	60.5	45.1
家族の精神疾患	20.3	24.7	19.7	32.3
妊娠健診未受診	56.5	28.1	35.4	14.3
妊娠後期の妊娠届け	46.4	10.2	10.9	3.8
養育能力不全	91.3	75.6	61.2	69.2
虐待防止	71.0	59.3	59.9	60.2
多胎	18.8	7.8	4.1	1.5
その他	4.3	3.7	1.4	2.3

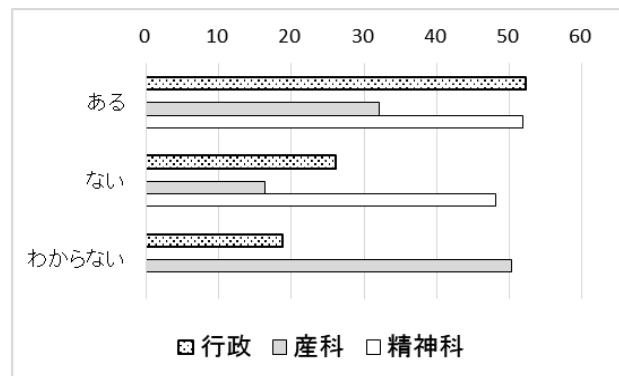
値は%を示す



周産期メンタルヘルス外来の有無

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
ある	52.2		32.0	51.9
ない	26.1		16.3	48.1
わからない	18.8		50.3	

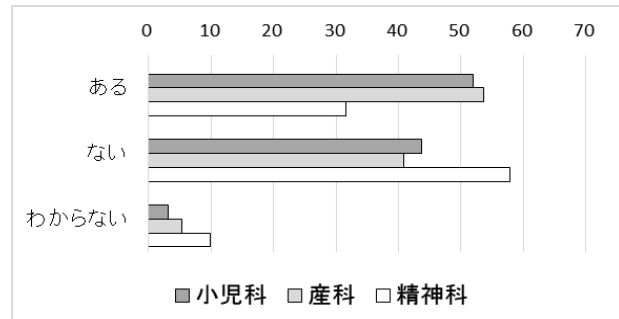
値は%を示す



特定妊婦から出生した子どもに関する情報を、何らかの形で行政機関と共有したことはありますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
ある		51.9	53.7	31.6
ない		43.7	40.8	57.9
わからない		3.1	5.4	9.8

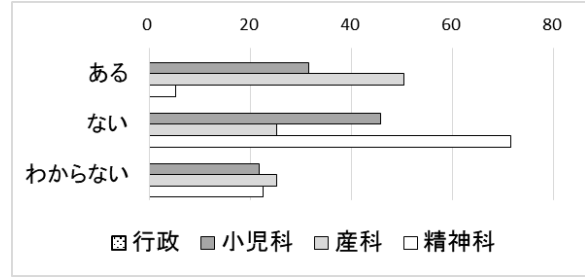
値は%を示す



行政との間で母子保健支援に関する連絡票をもっているか？

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
ある		31.5	50.3	5.3
ない		45.8	25.2	71.4
わからない		21.7	25.2	22.6

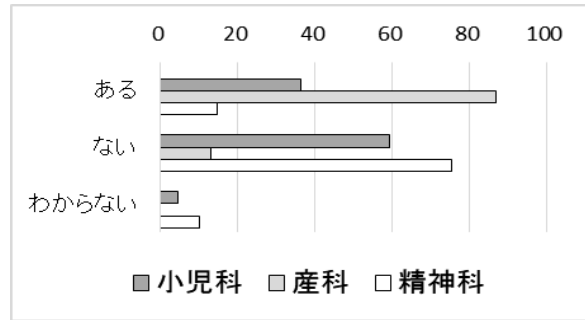
値は%を示す



行政が母子保健支援に関する連絡票を各診療科との間でもっているか？

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
ある		36.2	87.0	14.5
ない		59.4	13.0	75.4
わからない		4.3	0.0	10.1

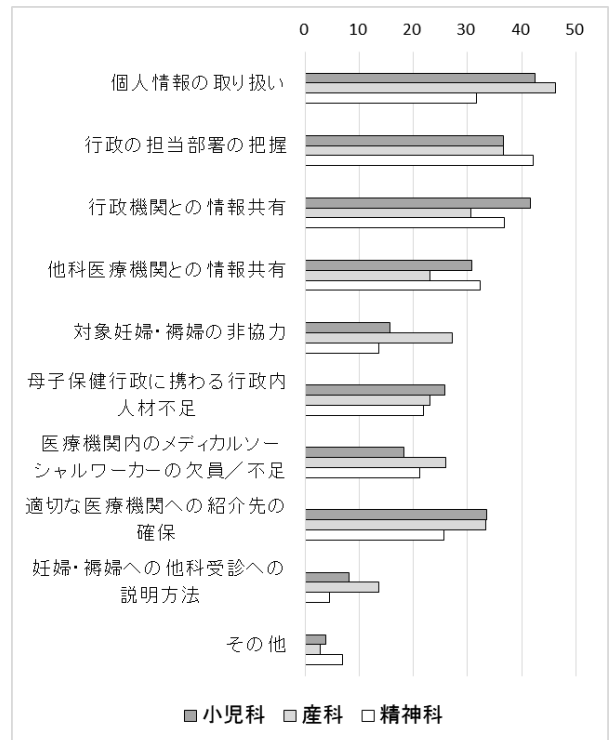
値は%を示す



行政機関・他科医療機関との連携のために困っておられることは何ですか？（複数回答可）

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
個人情報の取り扱い		42.4	46.3	31.6
行政の担当部署の把握		36.6	36.7	42.1
行政機関との情報共有		41.7	30.6	36.8
他科医療機関との情報共有		30.8	23.1	32.3
対象妊婦・褥婦の非協力		15.6	27.2	13.5
母子保健行政に携わる行政内人材不足		25.8	23.1	21.8
医療機関内のメディカルソーシャルワーカーの欠員／不足		18.3	25.9	21.1
適切な医療機関への紹介先の確保		33.6	33.3	25.6
妊婦・褥婦への他科受診への説明方法		8.1	13.6	4.5
その他		3.7	2.7	6.8

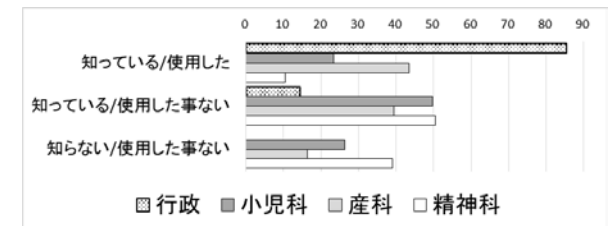
値は%を示す



エジンバラ産後うつ病自己尺度(Edinburgh Postnatal Depression Scale; EPDS)をご存知ですか／ご使用されたことありますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
知っている/使用した		85.5	23.4	43.5
知っている/使用した事ない		14.5	49.8	39.5
知らない/使用した事ない		0.0	26.4	16.3

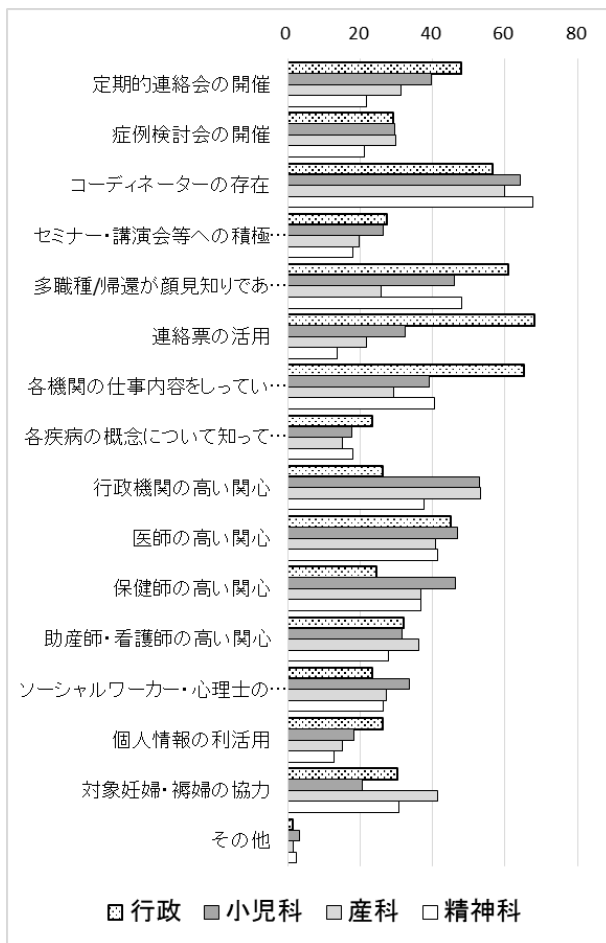
値は%を示す



妊娠前から乳児期の親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか？（複数回答可）

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
定期的連絡会の開催	47.8	39.7	31.3	21.8
症例検討会の開催	29.0	29.5	29.9	21.1
コーディネーターの存在	56.5	64.1	59.9	67.7
セミナー・講演会等への積極的参加	27.5	26.4	19.7	18.0
多職種/期間が顔見知りである事	60.9	46.1	25.9	48.1
連絡票の活用	68.1	32.5	21.8	13.5
各機関の仕事内容を知っている事	65.2	39.0	29.3	40.6
各疾病の概念について知っている事	23.2	17.6	15.0	18.0
行政機関の高い関心	26.1	52.9	53.1	37.6
医師の高い関心	44.9	46.8	40.8	41.4
保健師の高い関心	24.6	46.4	36.7	36.8
助産師・看護師の高い関心	31.9	31.5	36.1	27.8
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	23.2	33.6	27.2	26.3
個人情報の利活用	26.1	18.3	15.0	12.8
対象妊婦・褥婦の協力	30.4	20.7	41.5	30.8
その他	1.4	3.1	1.4	2.3

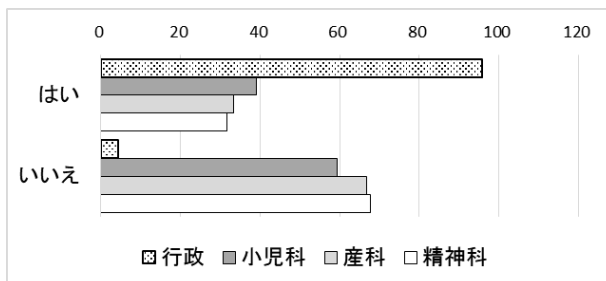
値は%を示す



平成28年～29年にかけて一部、児童福祉法が改正されたことはご存知ですか？

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
はい	95.7	39.0	33.3	31.6
いいえ	4.3	59.3	66.7	67.7

値は%を示す

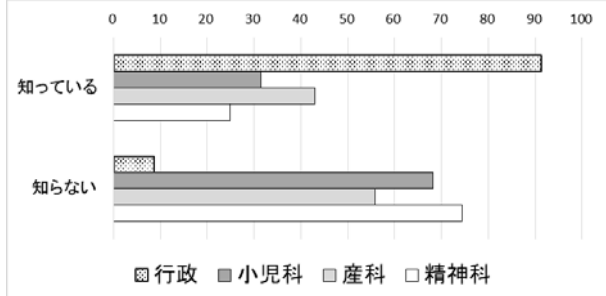


改正された児童福祉法に下記内容が明記されたことはご存知ですか？

a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供するよう努めること

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
知っている	91.3	31.5	42.9	24.8
知らない	8.7	68.1	55.8	74.4

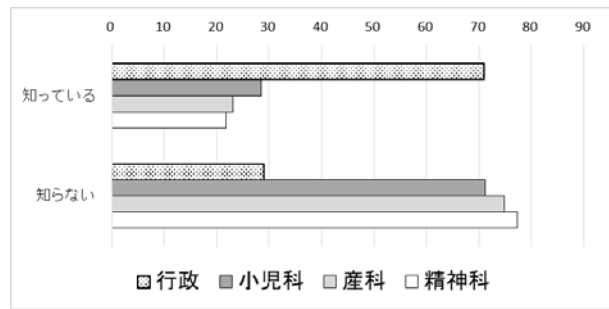
値は%を示す



b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
知っている	71.0	28.5	23.1	21.8
知らない	29.0	71.2	74.8	77.4

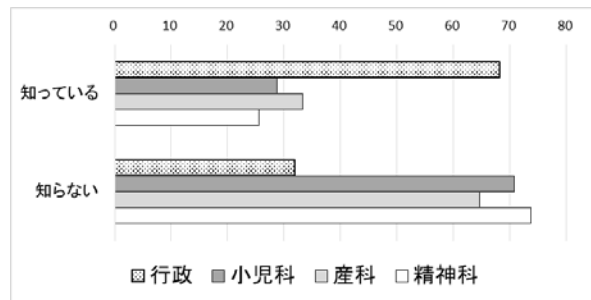
単位は%を示す



c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
知っている	68.1	28.8	33.3	25.6
知らない	31.9	70.8	64.6	73.7

単位は%を示す

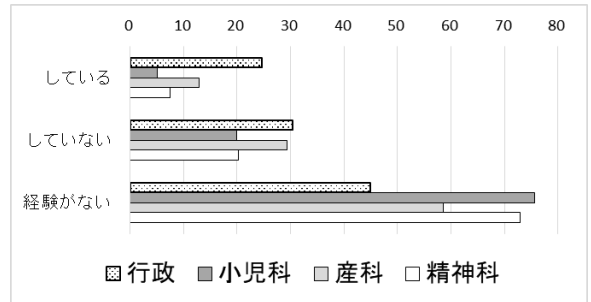


児童虐待のハイリスク妊婦/褥婦に遭遇した場合の対応についてお聞きします。

a. 里親制度について母親に情報提供していますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
している	24.6	5.1	12.9	7.5
していない	30.4	20.0	29.3	20.3
経験がない	44.9	75.6	58.5	72.9

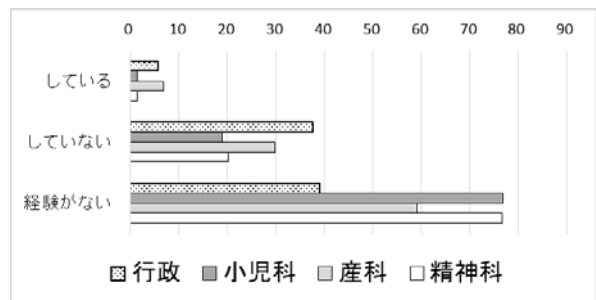
単位は%を示す



b. その場合、斡旋団体を紹介していますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
している	5.8	1.4	6.8	1.5
していない	37.7	19.0	29.9	20.3
経験がない	39.1	76.9	59.2	76.7

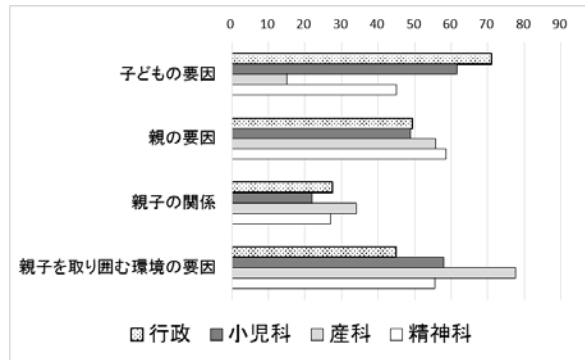
単位は%を示す



保護者が感じる「育てにくさ」の主な要因は以下のどれだと思いますか？ 2つ選んでください

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
子どもの要因	71.0	61.7	15.0	45.1
親の要因	49.3	48.8	55.8	58.6
親子の関係	27.5	22.0	34.0	27.1
親子を取り囲む環境の要因	44.9	58.0	77.6	55.6

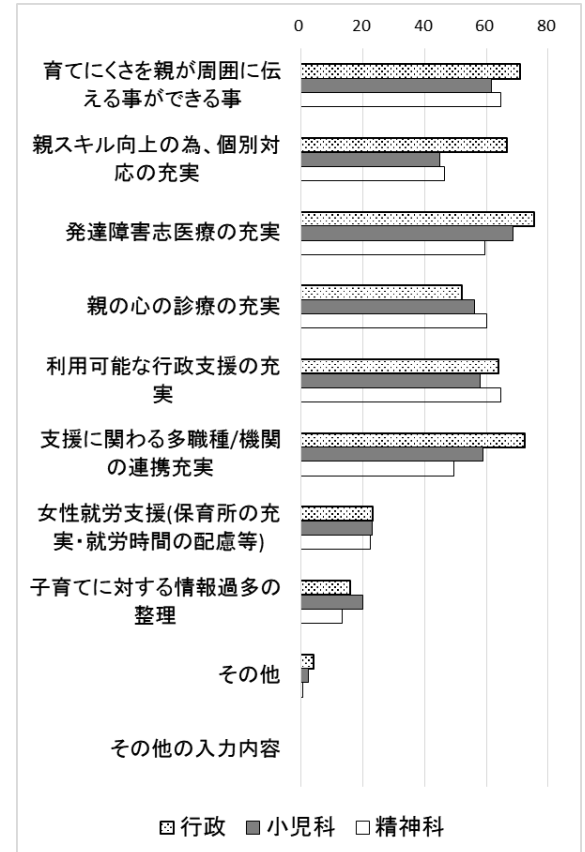
値は%を示す



「育てにくさ」を支援するために何が必要と思われますか？ (複数回答可)

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
育てにくさを親が周囲に伝える事ができる事	71.0	61.7		64.7
親スキル向上の為、個別対応の充実	66.7	45.1		46.6
発達障害志医療の充実	75.4	68.5		59.4
親の心の診療の充実	52.2	56.3		60.2
利用可能な行政支援の充実	63.8	58.0		64.7
支援に関わる多職種/期間の連携充実	72.5	59.0		49.6
女性就労支援(保育所の充実・就労時間の配慮等)	23.2	23.1		22.6
子育てに対する情報過多の整理	15.9	20.0		13.5
その他	4.3	2.4		0.8
その他の入力内容	0.0	0.0		0.0

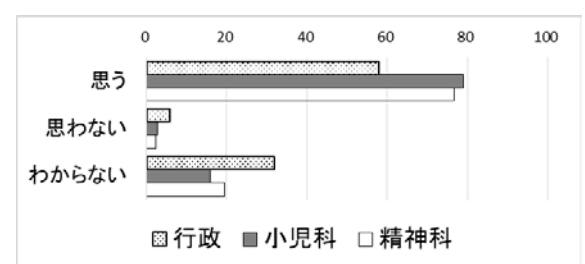
値は%を示す



育てにくさを感じる親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
思う	58.0	79.0		76.7
思わない	5.8	2.7		2.3
わからない	31.9	15.9		19.5

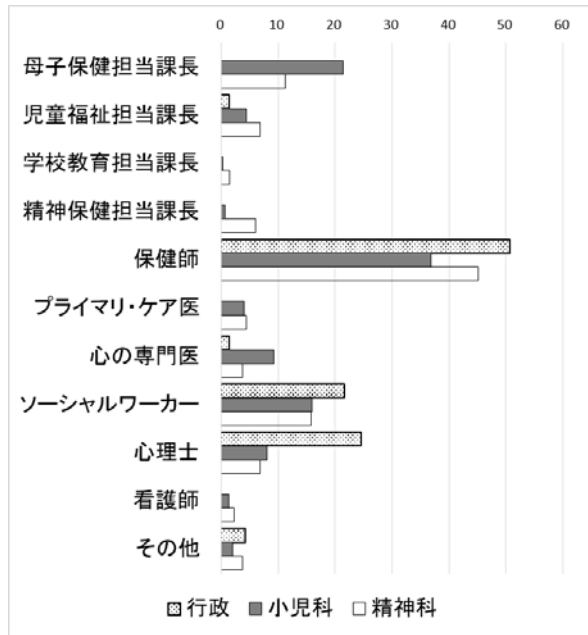
値は%を示す



コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？ 1つ選んでください。

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
母子保健担当課長	0.0	21.4		11.3
児童福祉担当課長	1.4	4.4		6.8
学校教育担当課長	0.0	0.3		1.5
精神保健担当課長	0.0	0.7		6.0
保健師	50.7	36.9		45.1
プライマリ・ケア医	0.0	4.1		4.5
心の専門医	1.4	9.2		3.8
ソーシャルワーカー	21.7	15.9		15.8
心理士	24.6	8.1		6.8
看護師	0.0	1.4		2.3
その他	4.3	2.0		3.8

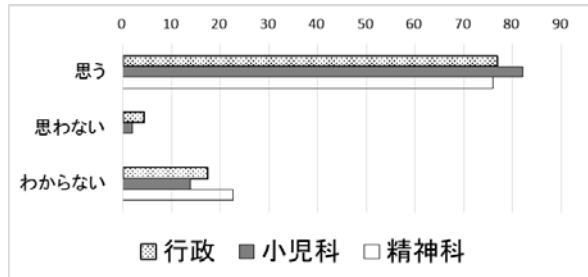
値は%を示す



コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
思う	76.8	82.0		75.9
思わない	4.3	2.0		0.0
わからない	17.4	13.9		22.6

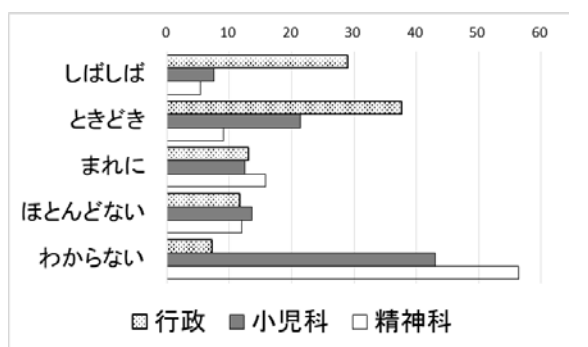
値は%を示す



育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
しばしば	29.0	7.5		5.3
ときどき	37.7	21.4		9.0
まれに	13.0	12.5		15.8
ほとんどない	11.6	13.6		12.0
わからない	7.2	43.1		56.4

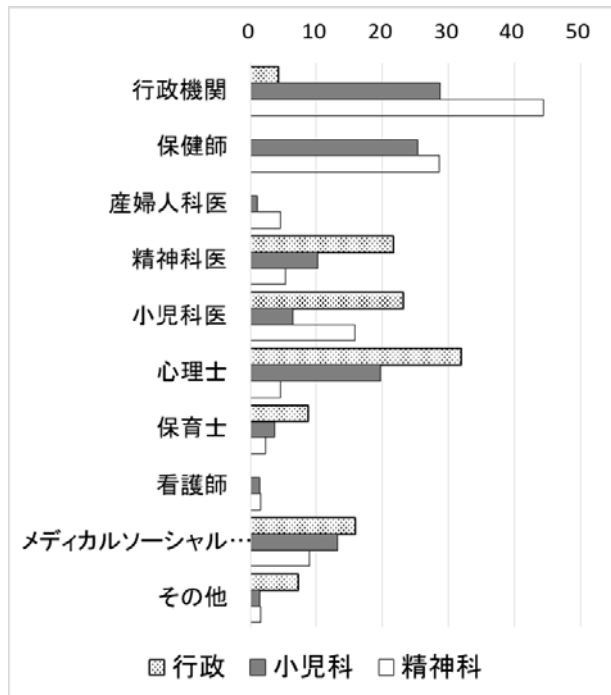
値は%を示す



育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
行政機関	4.3	28.8		44.4
保健師	0.0	25.4		28.6
産婦人科医	0.0	1.0		4.5
精神科医	21.7	10.2		5.3
小児科医	23.2	6.4		15.8
心理士	31.9	19.7		4.5
保育士	8.7	3.7		2.3
看護師	0.0	1.4		1.5
メディカルソーシャルワーカー	15.9	13.2		9.0
その他	7.2	1.4		1.5

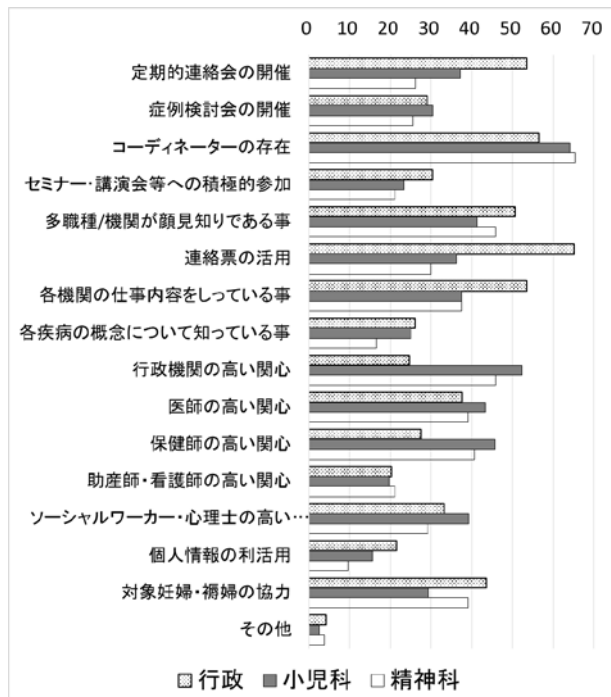
値は%を示す



育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなんでしょうか？ (複数回答可)

	福岡県・大分県			
	行政機関	小児科	産科	精神科
	(N=69)	(N=295)	(N=147)	(N=133)
定期的連絡会の開催	53.6	37.3		26.3
症例検討会の開催	29.0	30.5		25.6
コーディネーターの存在	56.5	64.1		65.4
セミナー・講演会等への積極的参加	30.4	23.4		21.1
多職種/期間が顔見知りである事	50.7	41.4		45.9
連絡票の活用	65.2	36.3		30.1
各機関の仕事内容を知っている事	53.6	37.6		37.6
各疾病の概念について知っている事	26.1	25.1		16.5
行政機関の高い関心	24.6	52.2		45.9
医師の高い関心	37.7	43.4		39.1
保健師の高い関心	27.5	45.8		40.6
助産師・看護師の高い関心	20.3	19.7		21.1
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	33.3	39.3		29.3
個人情報の利活用	21.7	15.6		9.8
対象妊婦・褥婦の協力	43.5	29.5		39.1
その他	4.3	2.7		3.8

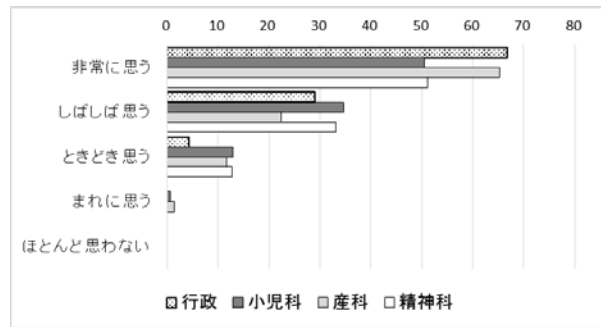
値は%を示す



子どもの心の問題は、親の心の問題（親子関係、親の病気等）が関係していると思いますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
非常に思う	66.7	50.5	65.3	51.1
しばしば思う	29.0	34.6	22.4	33.1
ときどき思う	4.3	12.9	11.6	12.8
まれに思う	0.0	0.7	1.4	0.0
ほとんど思わない	0.0	0.0	0.0	0.0

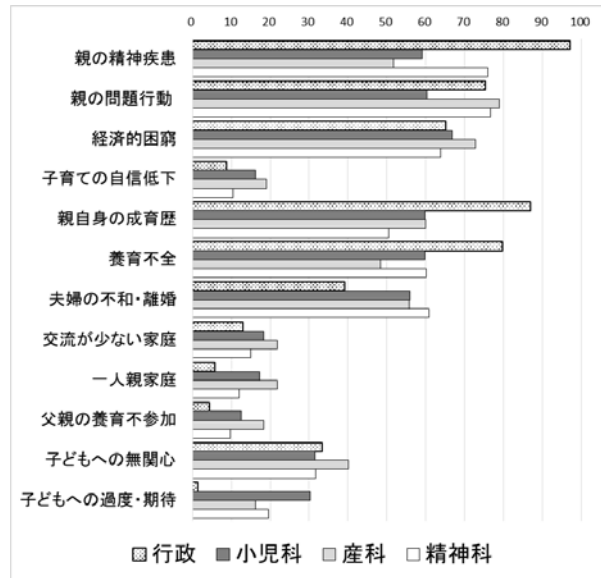
値は%を示す



親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？5つ選んでください。

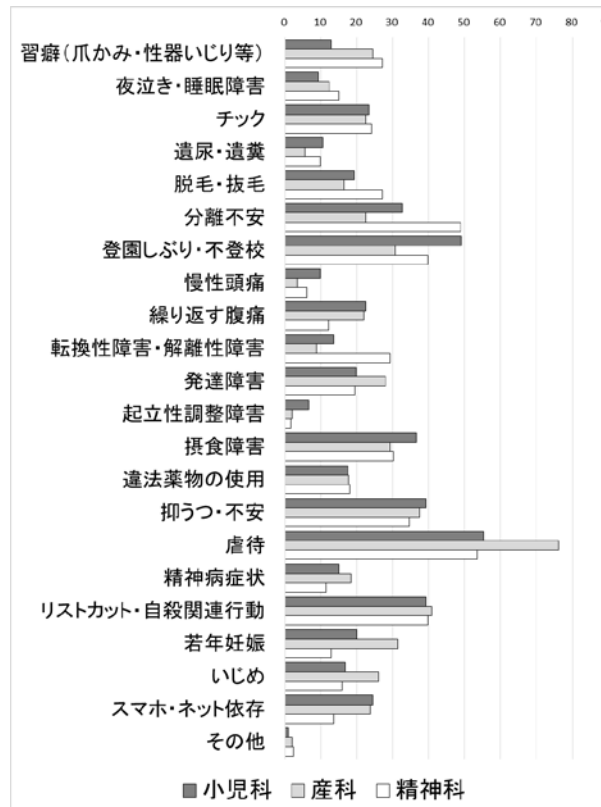
	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
親の精神疾患	97.1	59.0	51.7	75.9
親の問題行動	75.4	60.3	78.9	76.7
経済的困窮	65.2	66.8	72.8	63.9
子育ての自信低下	8.7	16.3	19.0	10.5
親自身の成育歴	87.0	59.7	59.9	50.4
養育不全	79.7	59.7	48.3	60.2
夫婦の不和・離婚	39.1	55.9	55.8	60.9
交流が少ない家庭	13.0	18.3	21.8	15.0
一人親家庭	5.8	17.3	21.8	12.0
父親の養育不参加	4.3	12.5	18.4	9.8
子どもへの無関心	33.3	31.5	40.1	31.6
子どもへの過度・期待	1.4	30.2	16.3	19.5

値は%を示す



下記の子どもの疾患や心の問題で、親を含めた家族の心の問題の関与が強いと思われるものはどれでしょうか？5つ選んでください。

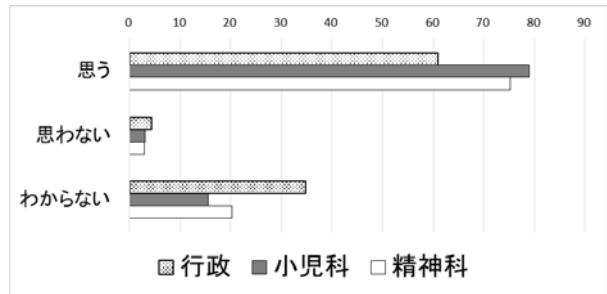
	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
習癖（爪かみ・性器いじり等）		12.9	24.5	27.1
夜泣き・睡眠障害		9.2	12.2	15.0
チック		23.4	22.4	24.1
遺尿・遺糞		10.5	5.4	9.8
脱毛・抜毛		19.3	16.3	27.1
分離不安		32.5	22.4	48.9
登園しぶり・不登校		49.2	30.6	39.8
慢性頭痛		9.8	3.4	6.0
繰り返す腹痛		22.4	21.8	12.0
転換性障害・解離性障害		13.6	8.8	29.3
発達障害		19.7	27.9	19.5
起立性調整障害		6.4	2.0	1.5
摂食障害		36.6	29.3	30.1
違法薬物の使用		17.6	17.7	18.0
抑うつ・不安		39.3	37.4	34.6
虐待		55.3	76.2	53.4
精神病症状		14.9	18.4	11.3
リストカット・自殺関連行動		39.3	40.8	39.8
若年妊娠		20.0	31.3	12.8
いじめ		16.6	25.9	15.8
スマホ・ネット依存		24.4	23.8	13.5
その他		0.7	2.0	2.3



児童・思春期の親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要としますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
思う	60.9	79.0		75.2
思わない	4.3	3.1		3.0
わからない	34.8	15.6		20.3

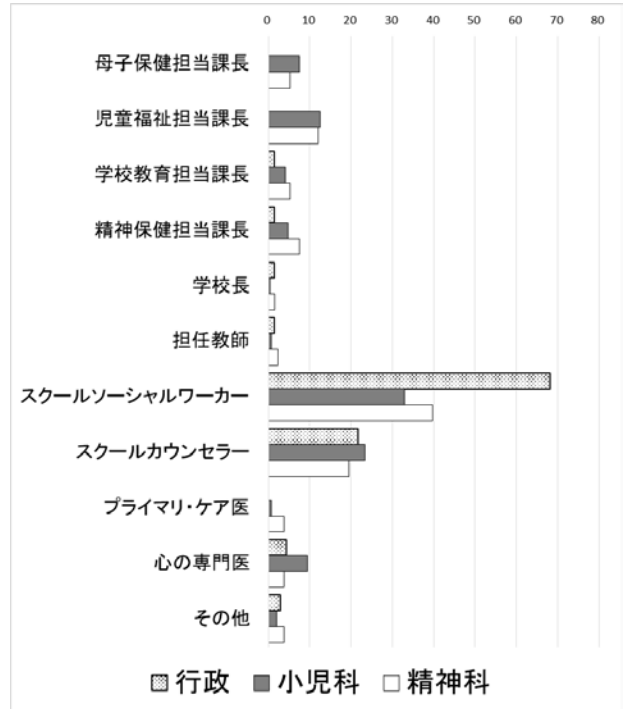
値は%を示す



コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？ 1つ選んでください。

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
母子保健担当課長	0.0	7.5		5.3
児童福祉担当課長	0.0	12.5		12.0
学校教育担当課長	1.4	4.1		5.3
精神保健担当課長	1.4	4.7		7.5
学校長	1.4	0.3		1.5
担任教師	1.4	0.7		2.3
スクールソーシャルワーカー	68.1	32.9		39.8
スクールカウンセラー	21.7	23.4		19.5
プライマリ・ケア医	0.0	0.7		3.8
心の専門医	4.3	9.5		3.8
その他	2.9	2.0		3.8

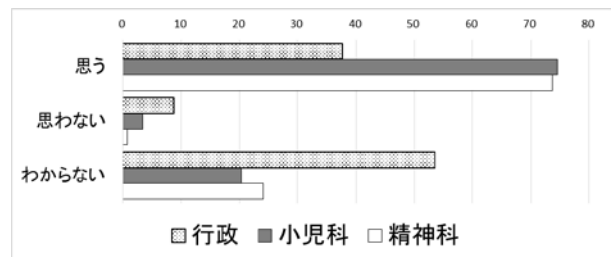
値は%を示す



コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思いませんか？

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
思う	37.7	74.6		73.7
思わない	8.7	3.4		0.8
わからない	53.6	20.3		24.1

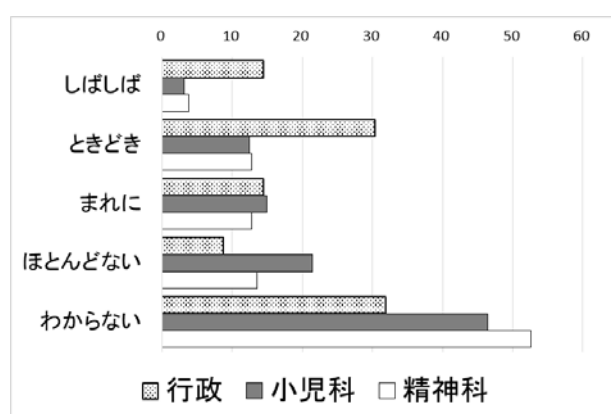
値は%を示す



児童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
しばしば	14.5	3.1		3.8
ときどき	30.4	12.5		12.8
まれに	14.5	14.9		12.8
ほとんどない	8.7	21.4		13.5
わからない	31.9	46.4		52.6

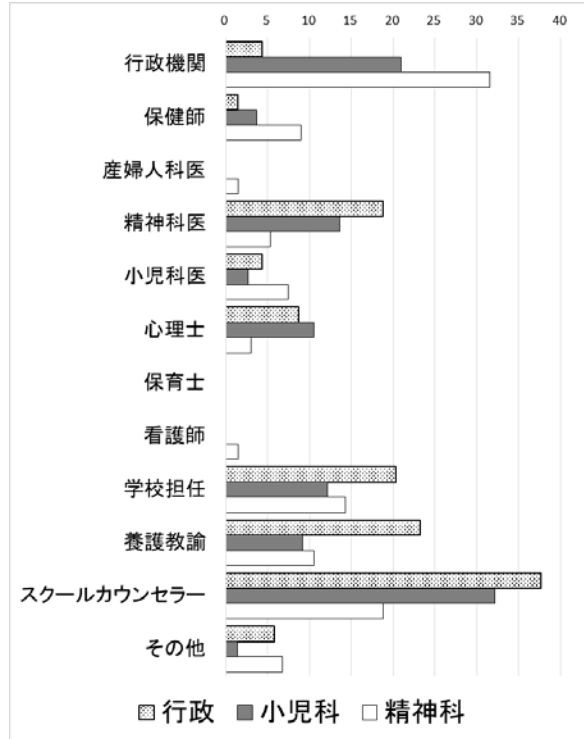
値は%を示す



学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
行政機関	4.3	21.0		31.6
保健師	1.4	3.7		9.0
産婦人科医	0.0	0.0		1.5
精神科医	18.8	13.6		5.3
小児科医	4.3	2.7		7.5
心理士	8.7	10.5		3.0
保育士	0.0	0.0		0.0
看護師	0.0	0.0		1.5
学校担任	20.3	12.2		14.3
養護教諭	23.2	9.2		10.5
スクールカウンセラー	37.7	32.2		18.8
その他	5.8	1.4		6.8

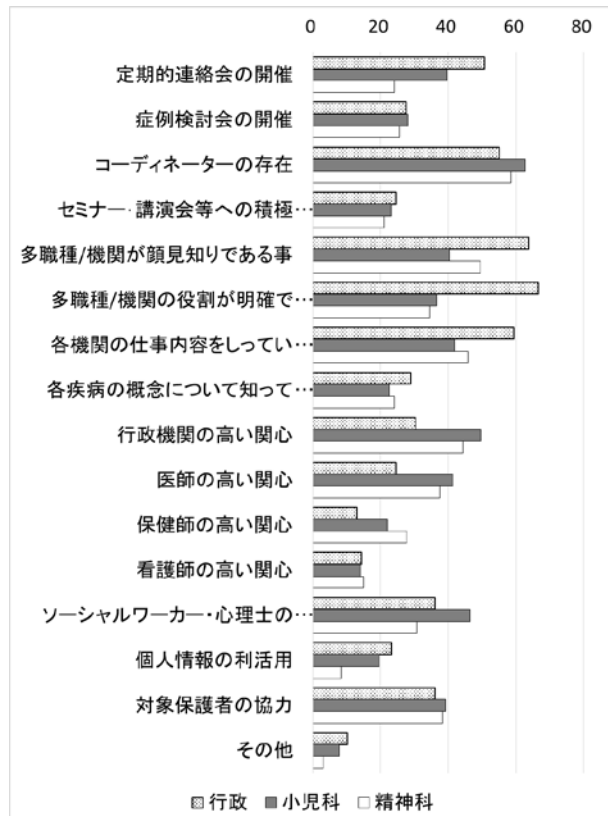
値は%を示す



学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携推進のために大切なことはなにかでしょうか？（複数回答可）

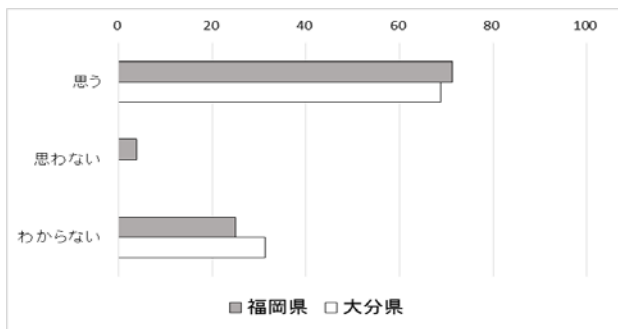
	福岡県・大分県			
	行政機関 (N=69)	小児科 (N=295)	産科 (N=147)	精神科 (N=133)
定期的連絡会の開催	50.7	39.7		24.1
症例検討会の開催	27.5	28.1		25.6
コーディネーターの存在	55.1	62.7		58.6
セミナー・講演会等への積極的参加	24.6	23.1		21.1
多職種/期間が顔見知りである事	63.8	40.3		49.6
多職種/機関の役割が明確であること	66.7	36.6		34.6
各機関の仕事内容を知っている事	59.4	42.0		45.9
各疾病の概念について知っている事	29.0	22.7		24.1
行政機関の高い関心	30.4	49.8		44.4
医師の高い関心	24.6	41.4		37.6
保健師の高い関心	13.0	22.0		27.8
看護師の高い関心	14.5	14.2		15.0
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	36.2	46.4		30.8
個人情報の利活用	23.2	19.7		8.3
対象保護者の協力	36.2	39.3		38.3
その他	10.1	7.8		3.0

値は%を示す



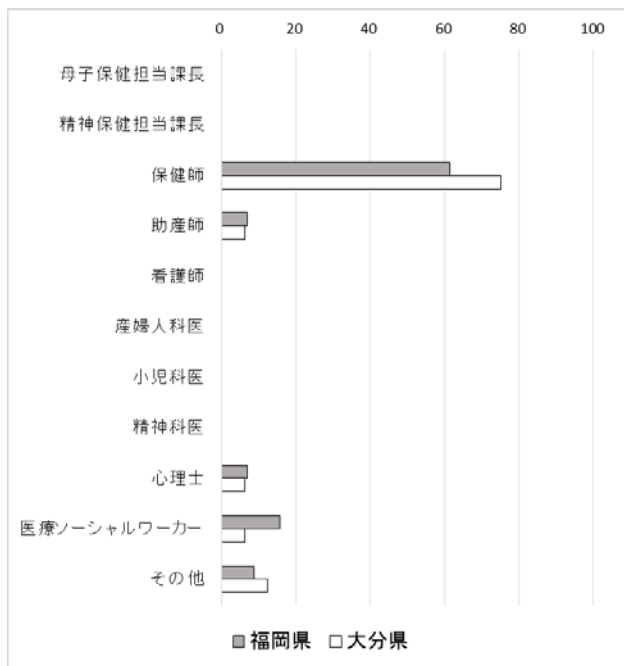
A1 妊娠前から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市町村単位にコーディネーターが必要と思いますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	37	71.2	11	68.8
思わない	2	3.8	0	0.0
わからない	13	25.0	5	31.3



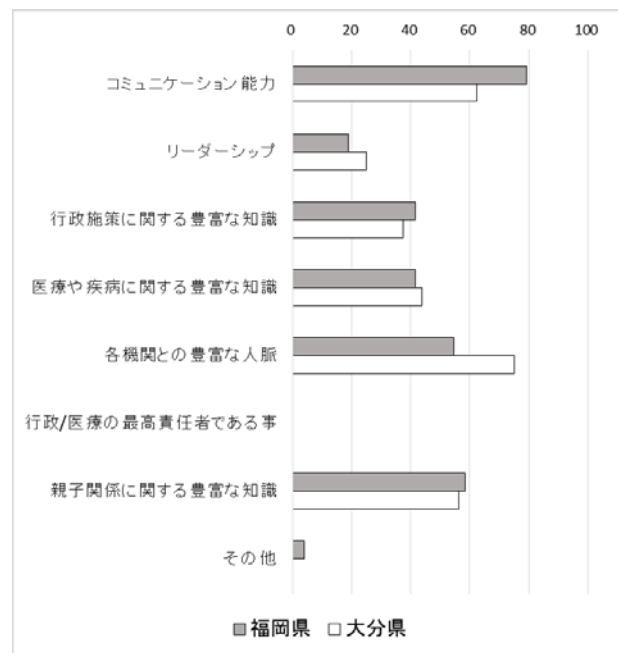
A2 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母子保健担当課長	0	0.0	0	0.0
精神保健担当課長	0	0.0	0	0.0
保健師	35	61.4	12	75.0
助産師	4	7.0	1	6.3
看護師	0	0.0	0	0.0
産婦人科医	0	0.0	0	0.0
小児科医	0	0.0	0	0.0
精神科医	0	0.0	0	0.0
心理士	4	7.0	1	6.3
医療ソーシャルワーカー	9	15.8	1	6.3
その他	5	8.8	2	12.5



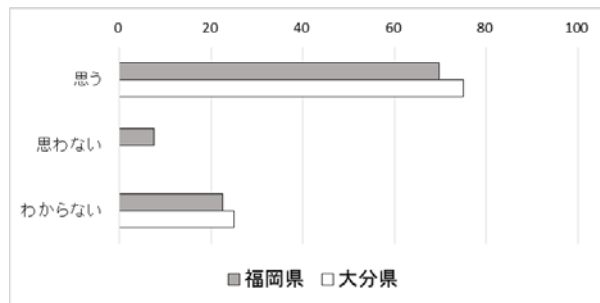
A3 コーディネーターに求められるスキルは何でしょうか？ 3つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
コミュニケーション能力	42	79.2	10	62.5
リーダーシップ	10	18.9	4	25.0
行政施策に関する豊富な知識	22	41.5	6	37.5
医療や疾病に関する豊富な知識	22	41.5	7	43.8
各機関との豊富な人脈	29	54.7	12	75.0
行政/医療の最高責任者である事	0	0.0	0	0.0
親子関係に関する豊富な知識	31	58.5	9	56.3
その他	2	3.8	0	0.0



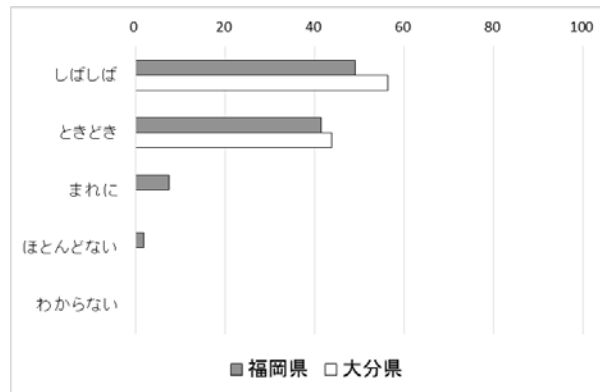
A4 コーディネーターを、将来（現在）設置される（されている）「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	37	69.8	12	75.0
思わない	4	7.5	0	0.0
わからない	12	22.6	4	25.0



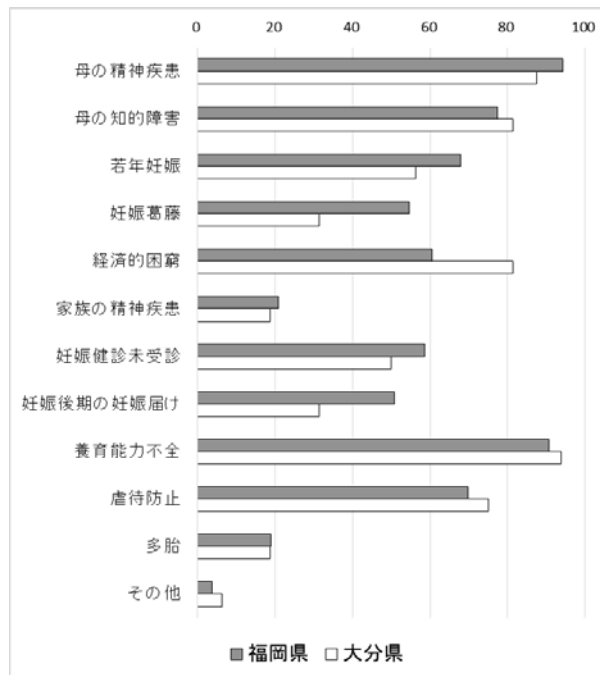
A5 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
しばしば	26	49.1	9	56.3
ときどき	22	41.5	7	43.8
まれに	4	7.5	0	0.0
ほとんどない	1	1.9	0	0.0
わからない	0	0.0	0	0.0



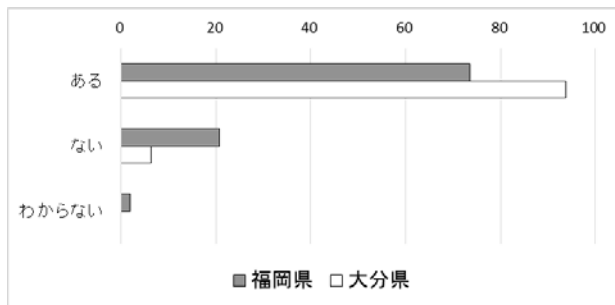
A6 連携が特に必要と思われる主な理由は何ですか？（複数回答可）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母の精神疾患	50	94.3	14	87.5
母の知的障害	41	77.4	13	81.3
若年妊娠	36	67.9	9	56.3
妊娠葛藤	29	54.7	5	31.3
経済的困窮	32	60.4	13	81.3
家族の精神疾患	11	20.8	3	18.8
妊娠健診未受診	31	58.5	8	50.0
妊娠後期の妊娠届け	27	50.9	5	31.3
養育能力不全	48	90.6	15	93.8
虐待防止	37	69.8	12	75.0
多胎	10	18.9	3	18.8
その他	2	3.8	1	6.3



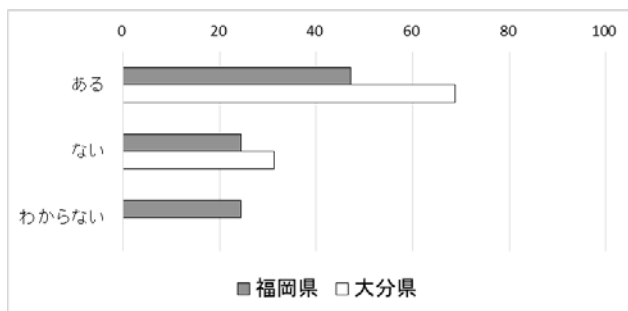
A 7 特定妊婦が転居するときに、市町村単位で情報を共有、申し送りするシステムはありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	39	73.6	15	93.8
ない	11	20.8	1	6.3
わからない	1	1.9	0	0.0



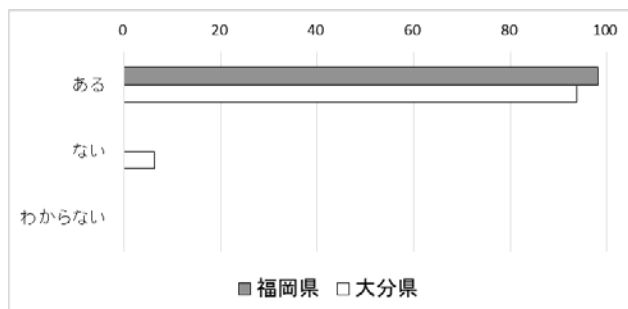
A 8 地域の中で周産期のメンタルヘルスの問題（妊婦の精神疾患等）を診ている精神科はありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	25	47.2	11	68.8
ない	13	24.5	5	31.3
わからない	13	24.5	0	0.0



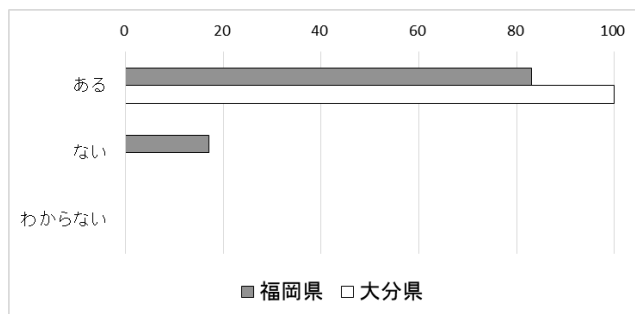
A 9 特定妊婦の情報を何らかの形で、産科医療機関と共有したことはありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	52	98.1	15	93.8
ない	0	0.0	1	6.3
わからない	0	0.0	0	0.0



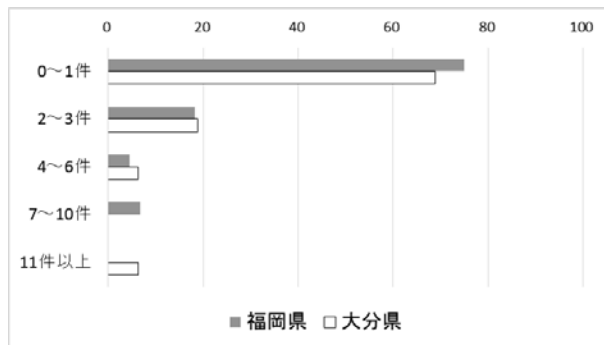
A 10 産科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	44	83.0	16	100.0
ない	9	17.0	0	0.0
わからない	0	0.0	0	0.0



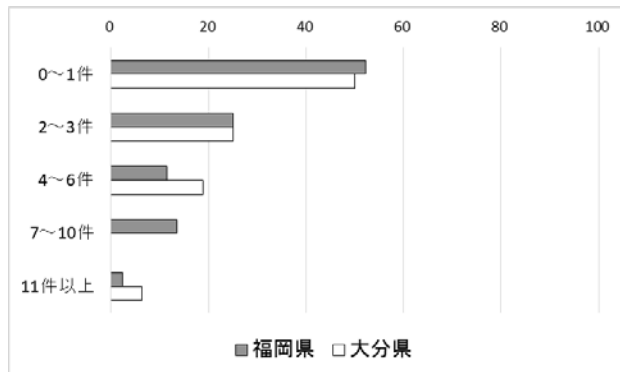
A11 A10であるとお答えの方にお聞きします。1ヶ月で行政→医療機関（産科）への連絡票はおよそ何件ありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
0~1件	33	75.0	11	68.8
2~3件	8	18.2	3	18.8
4~6件	2	4.5	1	6.3
7~10件	3	6.8	0	0.0
11件以上	0	0.0	1	6.3



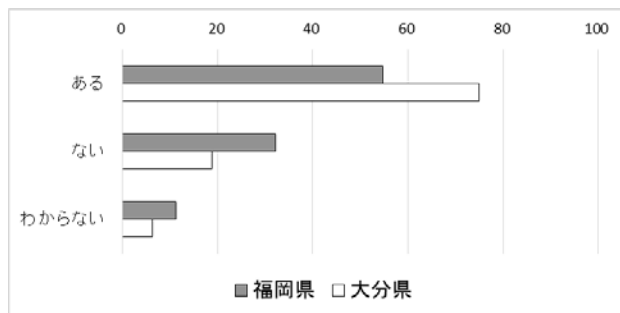
A12 A10であるとお答えの方にお聞きします。1ヶ月で医療機関（産科）→行政への連絡票はおよそ何件ありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
0~1件	23	52.3	8	50.0
2~3件	11	25.0	4	25.0
4~6件	5	11.4	3	18.8
7~10件	6	13.6	0	0.0
11件以上	1	2.3	1	6.3



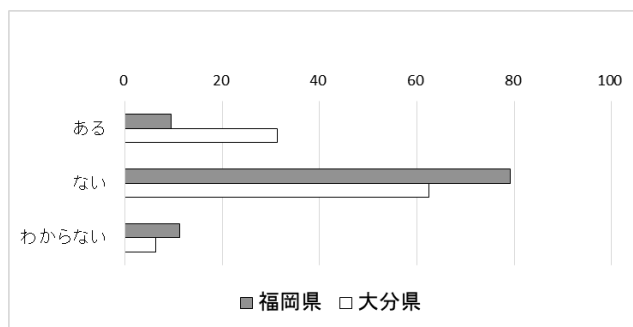
A13 特定妊婦の情報を何らかの形で、精神科医療機関と共有したことはありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	29	54.7	12	75.0
ない	17	32.1	3	18.8
わからない	6	11.3	1	6.3



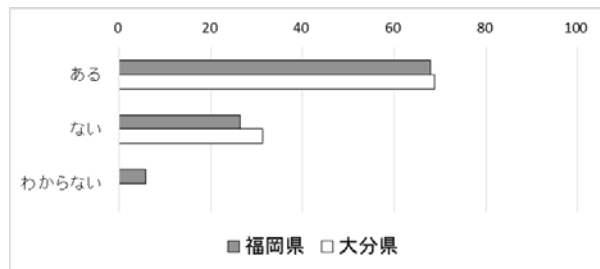
A14 精神科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	5	9.4	5	31.3
ない	42	79.2	10	62.5
わからない	6	11.3	1	6.3



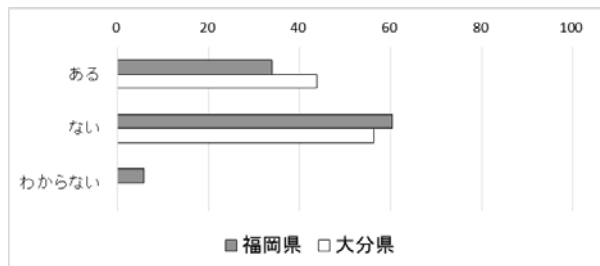
A17 特定妊婦から出生した子どもに関する情報を、何らかの形で小児科医療機関と共有したことはありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	36	67.9	11	68.8
ない	14	26.4	5	31.3
わからない	3	5.7	0	0.0



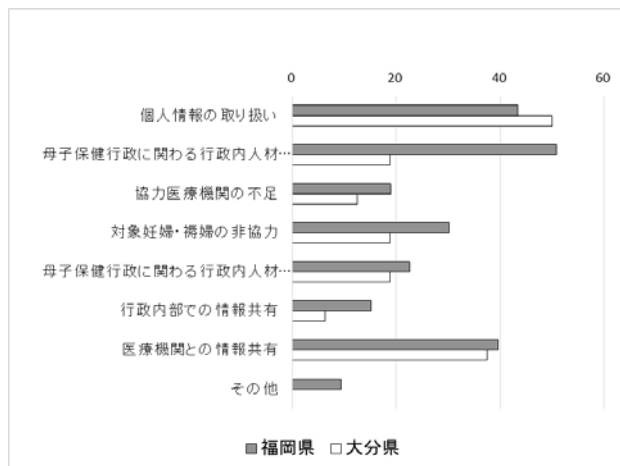
A18 小児科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	18	34.0	7	43.8
ない	32	60.4	9	56.3
わからない	3	5.7	0	0.0



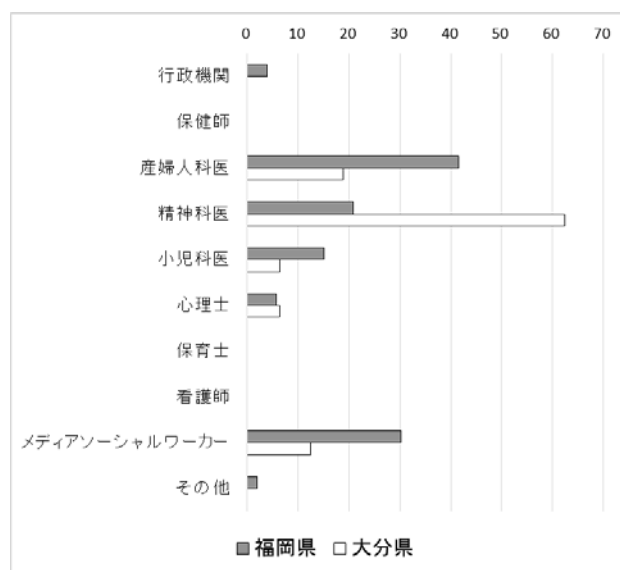
A21 各医療機関との連携のために困っておられることは何ですか？ (複数回答可)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
個人情報の取り扱い	23	43.4	8	50.0
母子保健行政に関わる行政内人材不足	27	50.9	3	18.8
協力医療機関の不足	10	18.9	2	12.5
対象妊婦・褥婦の非協力	16	30.2	3	18.8
母子保健行政に関わる行政内人材育成	12	22.6	3	18.8
行政内部での情報共有	8	15.1	1	6.3
医療機関との情報共有	21	39.6	6	37.5
その他	5	9.4	0	0.0



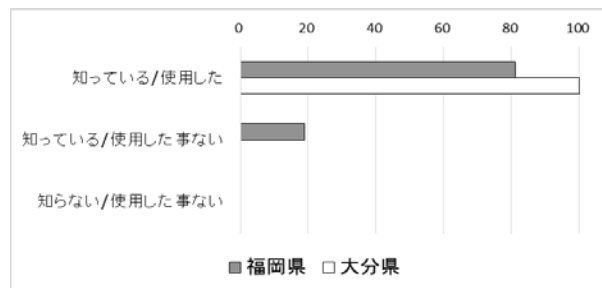
A22 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政機関	2	3.8	0	0.0
保健師	0	0.0	0	0.0
産婦人科医	22	41.5	3	18.8
精神科医	11	20.8	10	62.5
小児科医	8	15.1	1	6.3
心理士	3	5.7	1	6.3
保育士	0	0.0	0	0.0
看護師	0	0.0	0	0.0
メディアソーシャルワーカー	16	30.2	2	12.5
その他	1	1.9	0	0.0



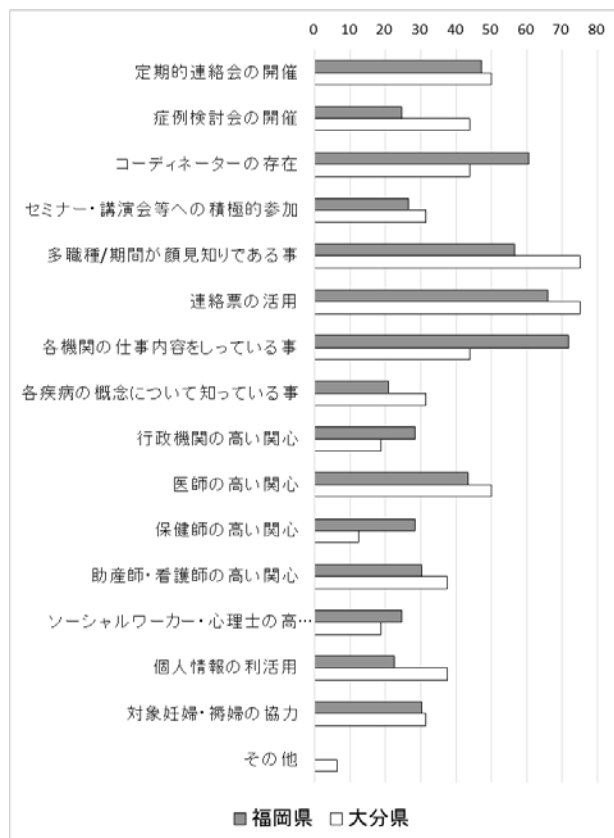
A23 エジンバラ産後うつ病自己尺度(Edinburgh Postnatal Depression Scale; EPDS)をご存知ですか/ご使用されたことありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている/使用した	43	81.1	16	100.0
知っている/使用した事ない	10	18.9	0	0.0
知らない/使用した事ない	0	0.0	0	0.0



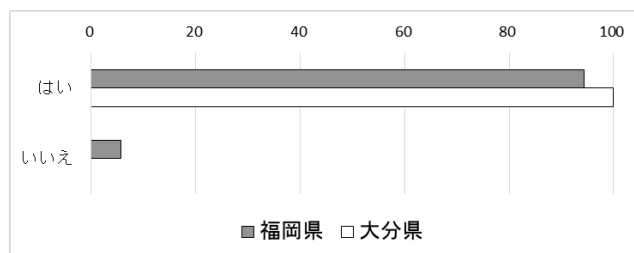
A24 妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなんでしょうか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
定期的連絡会の開催	25	47.2	8	50.0
症例検討会の開催	13	24.5	7	43.8
コーディネーターの存在	32	60.4	7	43.8
セミナー・講演会等への積極的参加	14	26.4	5	31.3
多職種/機関が顔見知りである事	30	56.6	12	75.0
連絡票の活用	35	66.0	12	75.0
各機関の仕事内容を知っている事	38	71.7	7	43.8
各疾病の概念について知っている事	11	20.8	5	31.3
行政機関の高い関心	15	28.3	3	18.8
医師の高い関心	23	43.4	8	50.0
保健師の高い関心	15	28.3	2	12.5
助産師・看護師の高い関心	16	30.2	6	37.5
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	13	24.5	3	18.8
個人情報の利活用	12	22.6	6	37.5
対象妊婦・褥婦の協力	16	30.2	5	31.3
その他	0	0.0	1	6.3



A25 平成28年～29年にかけて一部、児童福祉法が改正されたことをご存知ですか？

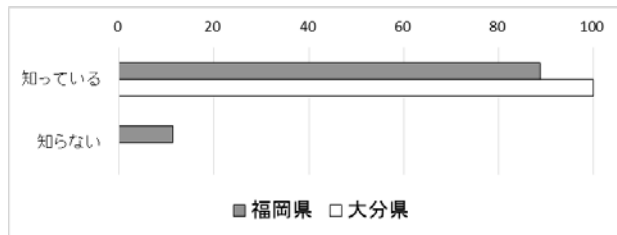
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
はい	50	94.3	16	100.0
いいえ	3	5.7	0	0.0



A26 改正された児童福祉法に下記内容が明記されたことはご存知ですか？

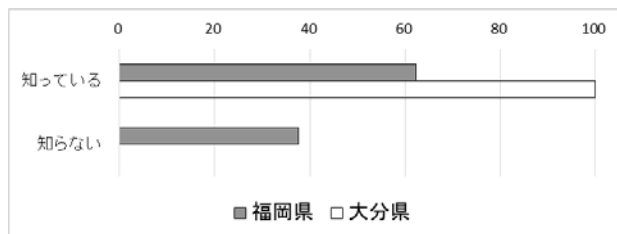
a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供しよう努めること

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	47	88.7	16	100.0
知らない	6	11.3	0	0.0



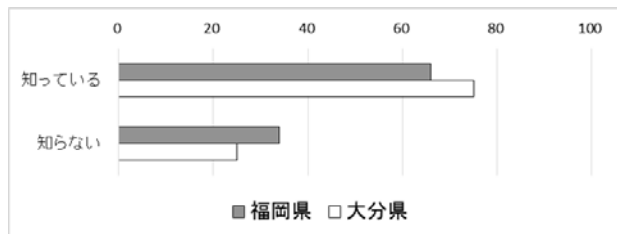
b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職を配備すること

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	33	62.3	16	100.0
知らない	20	37.7	0	0.0



c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

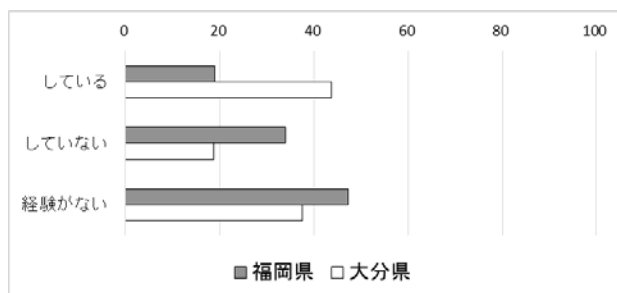
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	35	66.0	12	75.0
知らない	18	34.0	4	25.0



A27 児童虐待のハイリスク妊婦／褥婦に遭遇した場合の対応についてお聞きします。

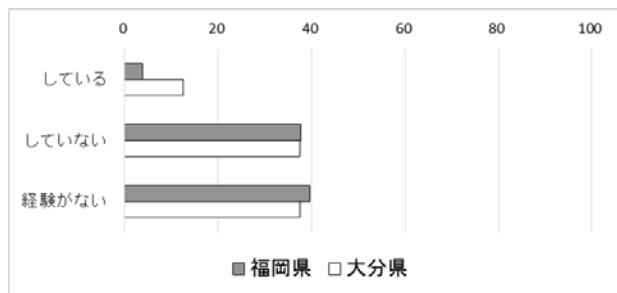
a. 里親制度について母親に情報提供していますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
している	10	18.9	7	43.8
していない	18	34.0	3	18.8
経験がない	25	47.2	6	37.5



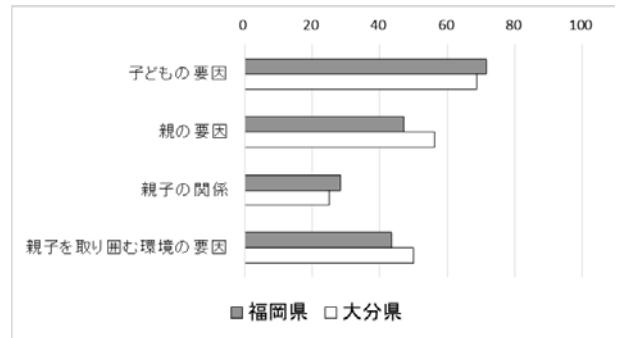
b. その場合、斡旋団体を紹介していますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
している	2	3.8	2	12.5
していない	20	37.7	6	37.5
経験がない	21	39.6	6	37.5



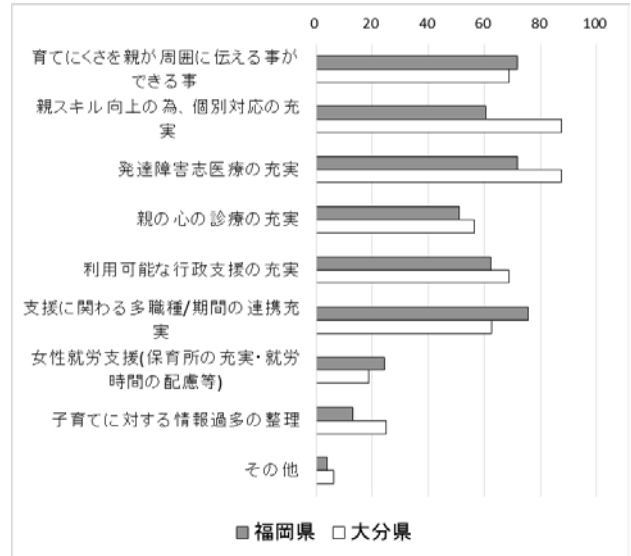
B 1 保護者が感じる「育てにくさ」の主な要因は以下のどれだと思われませんか？ 2つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
子どもの要因	38	71.7	11	68.8
親の要因	25	47.2	9	56.3
親子の関係	15	28.3	4	25.0
親子を取り囲む環境の要因	23	43.4	8	50.0



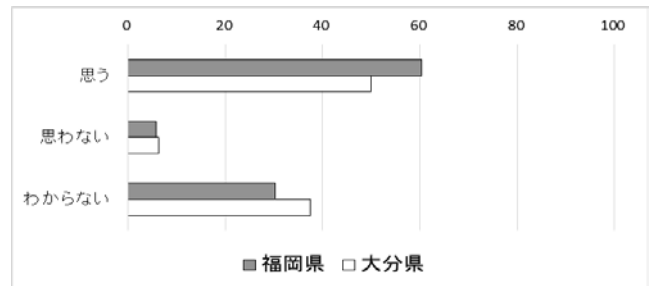
B 2 「育てにくさ」を支援するために何が必要と思われるか？ (複数回答可)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
育てにくさを親が周囲に伝える事ができる事	38	71.7	11	68.8
親スキル向上の為、個別対応の充実	32	60.4	14	87.5
発達障害志医療の充実	38	71.7	14	87.5
親の心の診療の充実	27	50.9	9	56.3
利用可能な行政支援の充実	33	62.3	11	68.8
支援に関わる多職種/機関の連携充実	40	75.5	10	62.5
女性就労支援(保育所の充実・就労時間の配	13	24.5	3	18.8
子育てに対する情報過多の整理	7	13.2	4	25.0
その他	2	3.8	1	6.3



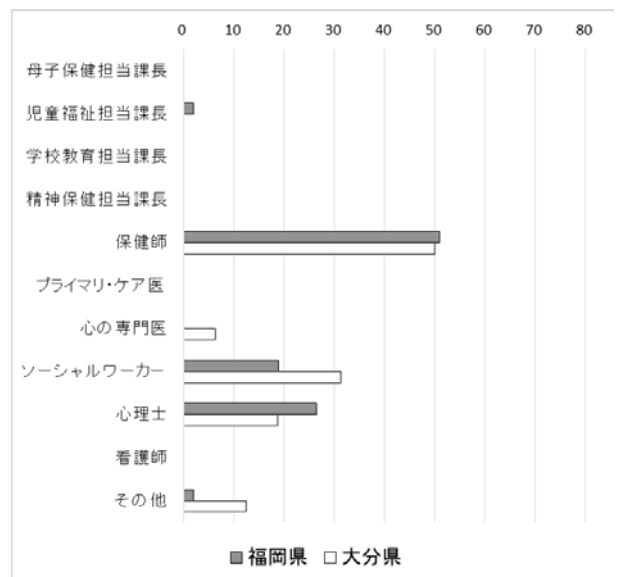
B 3 育てにくさを感じる親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	32	60.4	8	50.0
思わない	3	5.7	1	6.3
わからない	16	30.2	6	37.5



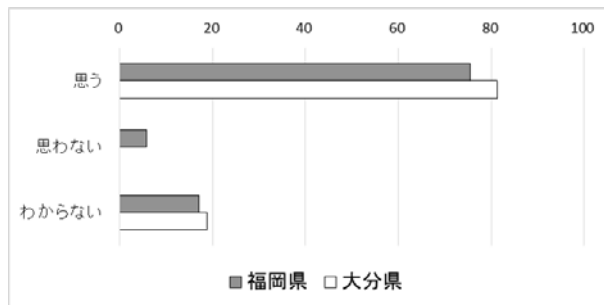
B 4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？ 1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母子保健担当課長	0	0.0	0	0.0
児童福祉担当課長	1	1.9	0	0.0
学校教育担当課長	0	0.0	0	0.0
精神保健担当課長	0	0.0	0	0.0
保健師	27	50.9	8	50.0
プライマリ・ケア医	0	0.0	0	0.0
心の専門医	0	0.0	1	6.3
ソーシャルワーカー	10	18.9	5	31.3
心理士	14	26.4	3	18.8
看護師	0	0.0	0	0.0
その他	1	1.9	2	12.5



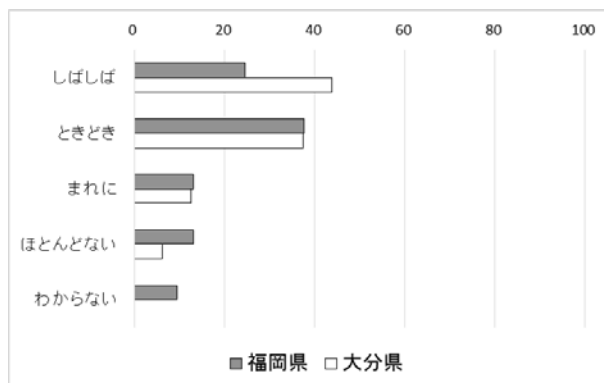
B 5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われ
ますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	40	75.5	13	81.3
思わない	3	5.7	0	0.0
わからない	9	17.0	3	18.8



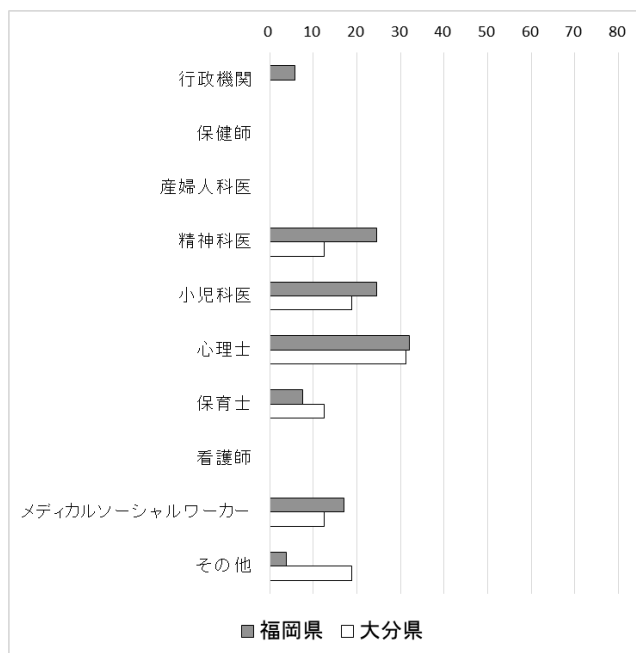
B 6 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施さ
れていますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
しばしば	13	24.5	7	43.8
ときどき	20	37.7	6	37.5
まれに	7	13.2	2	12.5
ほとんどない	7	13.2	1	6.3
わからない	5	9.4	0	0.0



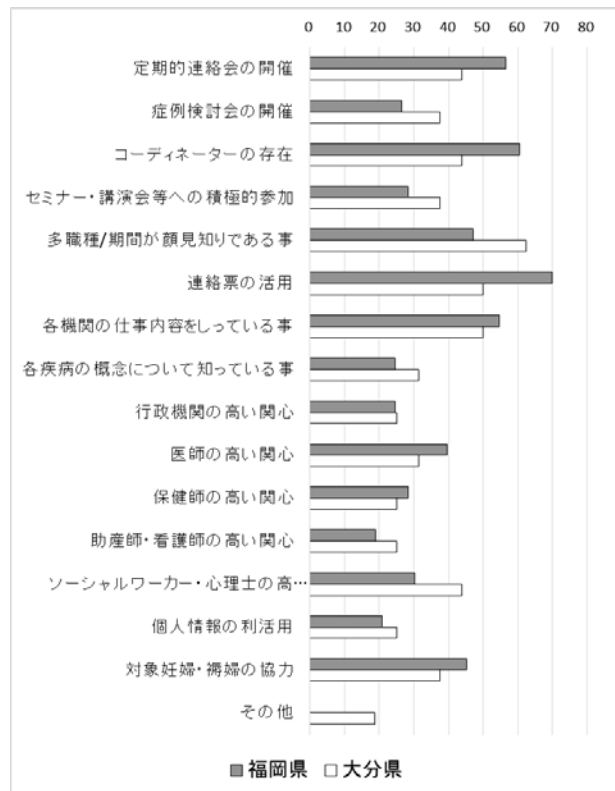
B 7 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携のために今後もっとも連携を強化
したい機関/職種を1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政機関	3	5.7	0	0.0
保健師	0	0.0	0	0.0
産婦人科医	0	0.0	0	0.0
精神科医	13	24.5	2	12.5
小児科医	13	24.5	3	18.8
心理士	17	32.1	5	31.3
保育士	4	7.5	2	12.5
看護師	0	0.0	0	0.0
メディカルソーシャルワーカー	9	17.0	2	12.5
その他	2	3.8	3	18.8



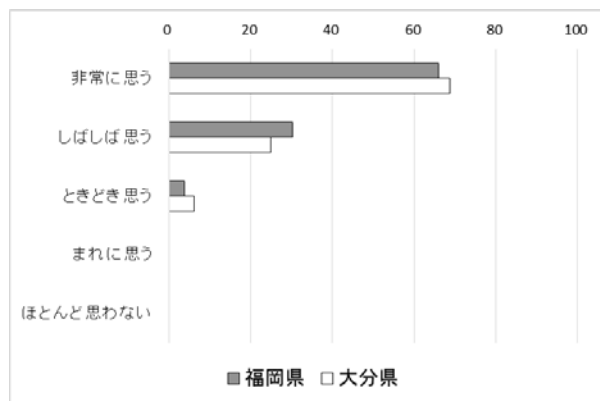
B8 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなんでしょうか？ (複数回答可)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
定期的連絡会の開催	30	56.6	7	43.8
症例検討会の開催	14	26.4	6	37.5
コーディネーターの存在	32	60.4	7	43.8
セミナー・講演会等への積極的参加	15	28.3	6	37.5
多職種/機関が顔見知りである事	25	47.2	10	62.5
連絡票の活用	37	69.8	8	50.0
各機関の仕事内容を知っている事	29	54.7	8	50.0
各疾病の概念について知っている事	13	24.5	5	31.3
行政機関の高い関心	13	24.5	4	25.0
医師の高い関心	21	39.6	5	31.3
保健師の高い関心	15	28.3	4	25.0
助産師・看護師の高い関心	10	18.9	4	25.0
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	16	30.2	7	43.8
個人情報の利活用	11	20.8	4	25.0
対象妊婦・褥婦の協力	24	45.3	6	37.5
その他	0	0.0	3	18.8



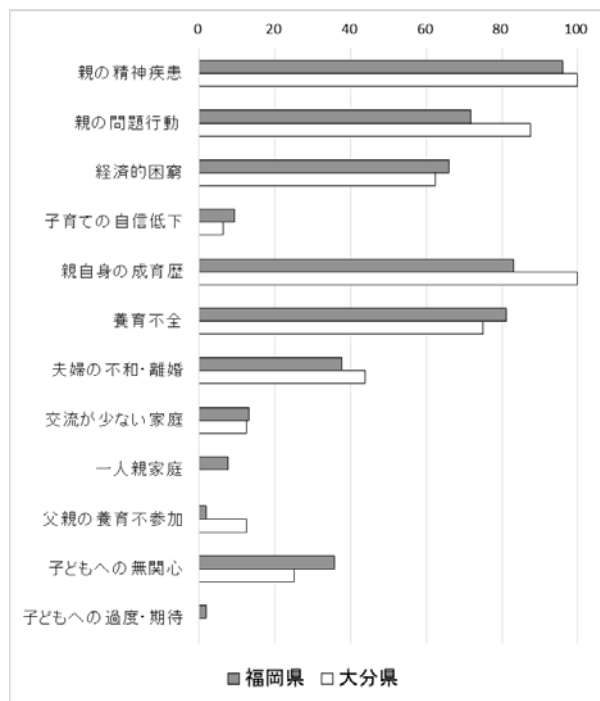
C 1 子どもの心の問題は、親の心の問題（親子関係、親の病気等）が関係していると思いますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
非常に思う	35	66.0	11	68.8
しばしば思う	16	30.2	4	25.0
ときどき思う	2	3.8	1	6.3
まれに思う	0	0.0	0	0.0
ほとんど思わない	0	0.0	0	0.0



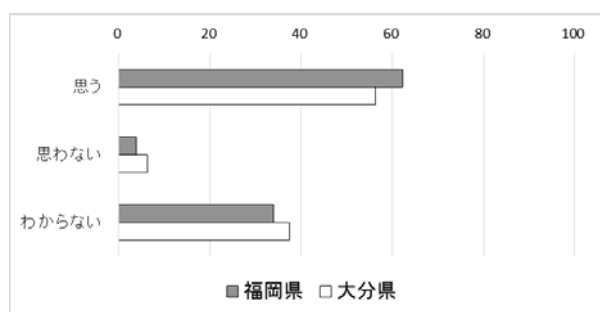
C 2 親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？ 5つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
親の精神疾患	51	96.2	16	100.0
親の問題行動	38	71.7	14	87.5
経済的困窮	35	66.0	10	62.5
子育ての自信低下	5	9.4	1	6.3
親自身の成育歴	44	83.0	16	100.0
養育不全	43	81.1	12	75.0
夫婦の不和・離婚	20	37.7	7	43.8
交流が少ない家庭	7	13.2	2	12.5
一人親家庭	4	7.5	0	0.0
父親の養育不参加	1	1.9	2	12.5
子どもへの無関心	19	35.8	4	25.0
子どもへの過度・期待	1	1.9	0	0.0



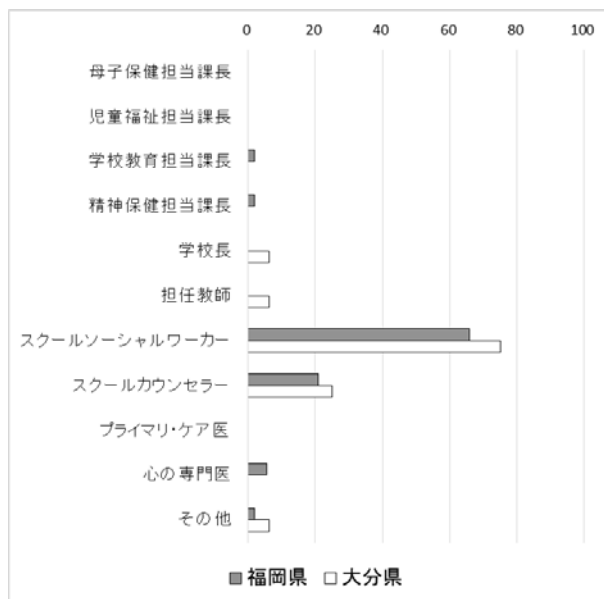
C 3 学童・思春期の親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	33	62.3	9	56.3
思わない	2	3.8	1	6.3
わからない	18	34.0	6	37.5



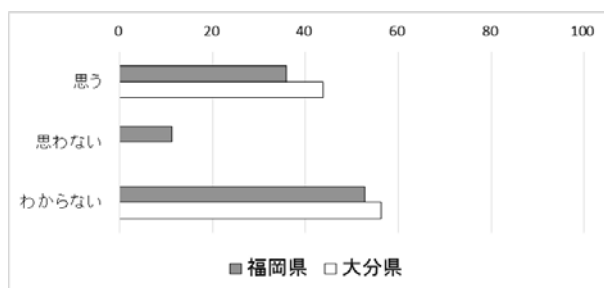
C4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母子保健担当課長	0	0.0	0	0.0
児童福祉担当課長	0	0.0	0	0.0
学校教育担当課長	1	1.9	0	0.0
精神保健担当課長	1	1.9	0	0.0
学校長	0	0.0	1	6.3
担任教師	0	0.0	1	6.3
スクールソーシャルワーカー	35	66.0	12	75.0
スクールカウンセラー	11	20.8	4	25.0
プライマリ・ケア医	0	0.0	0	0.0
心の専門医	3	5.7	0	0.0
その他	1	1.9	1	6.3



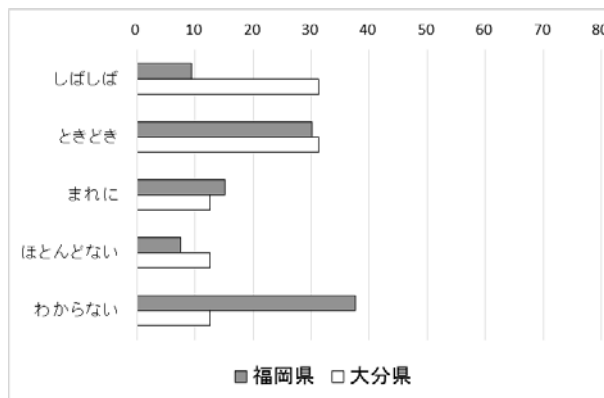
C5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センターに配置することを必要と思われますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	19	35.8	7	43.8
思わない	6	11.3	0	0.0
わからない	28	52.8	9	56.3



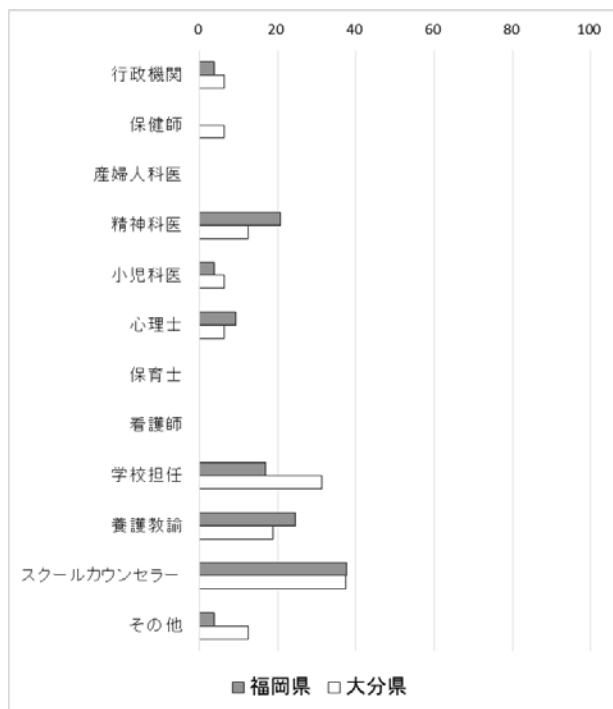
C6 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
しばしば	5	9.4	5	31.3
ときどき	16	30.2	5	31.3
まれに	8	15.1	2	12.5
ほとんどない	4	7.5	2	12.5
わからない	20	37.7	2	12.5



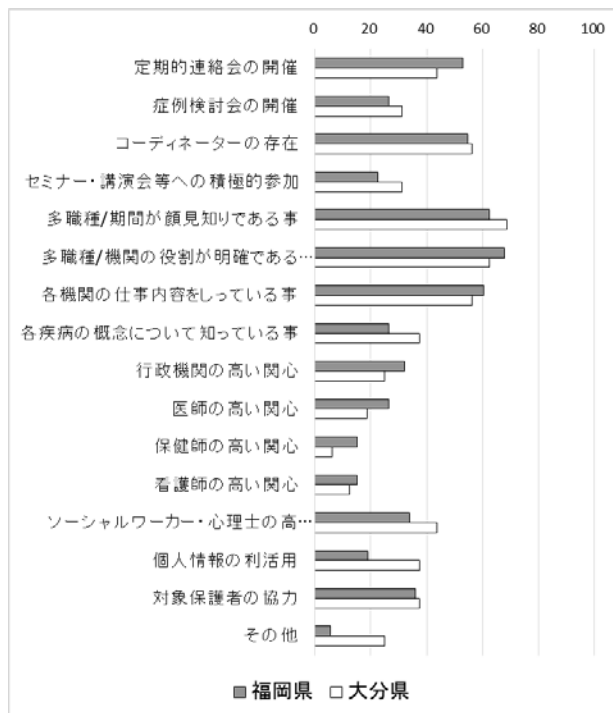
C7 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政機関	2	3.8	1	6.3
保健師	0	0.0	1	6.3
産婦人科医	0	0.0	0	0.0
精神科医	11	20.8	2	12.5
小児科医	2	3.8	1	6.3
心理士	5	9.4	1	6.3
保育士	0	0.0	0	0.0
看護師	0	0.0	0	0.0
学校担任	9	17.0	5	31.3
養護教諭	13	24.5	3	18.8
スクールカウンセラー	20	37.7	6	37.5
その他	2	3.8	2	12.5



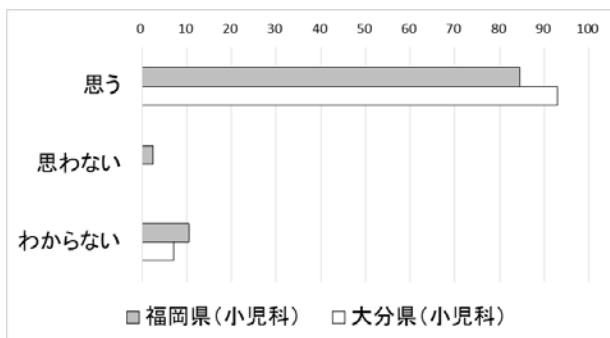
C8 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携推進のために大切なことはなにしてでしょうか？ (複数回答可)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
定期的連絡会の開催	28	52.8	7	43.8
症例検討会の開催	14	26.4	5	31.3
コーディネーターの存在	29	54.7	9	56.3
セミナー・講演会等への積極的参加	12	22.6	5	31.3
多職種/機関が顔見知りである事	33	62.3	11	68.8
多職種/機関の役割が明確であること	36	67.9	10	62.5
各機関の仕事内容を知っている事	32	60.4	9	56.3
各疾病の概念について知っている事	14	26.4	6	37.5
行政機関の高い関心	17	32.1	4	25.0
医師の高い関心	14	26.4	3	18.8
保健師の高い関心	8	15.1	1	6.3
看護師の高い関心	8	15.1	2	12.5
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	18	34.0	7	43.8
個人情報の利活用	10	18.9	6	37.5
対象保護者の協力	19	35.8	6	37.5
その他	3	5.7	4	25.0



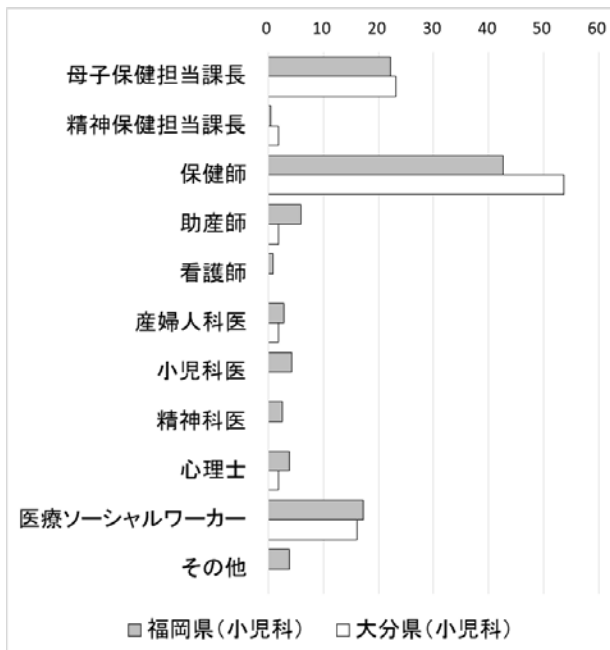
A 1 妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市区町村単位にコーディネーターが必要と思いますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	202	84.5	52	92.9
思わない	6	2.5	0	0.0
わからない	25	10.5	4	7.1



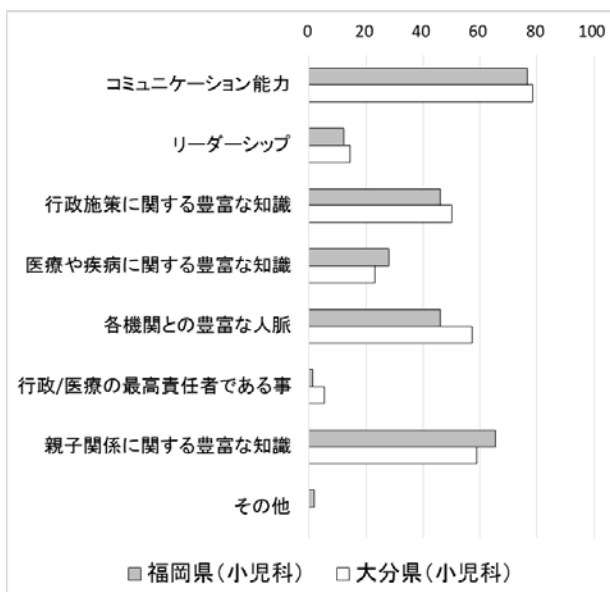
A 2 コーディネーターが必要となった場合、各市区町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母子保健担当課長	53	22.2	13	23.2
精神保健担当課長	1	0.4	1	1.8
保健師	102	42.7	30	53.6
助産師	14	5.9	1	1.8
看護師	2	0.8	0	0.0
産婦人科医	7	2.9	1	1.8
小児科医	10	4.2	0	0.0
精神科医	6	2.5	0	0.0
心理士	9	3.8	1	1.8
医療ソーシャルワーカー	41	17.2	9	16.1
その他	9	3.8	0	0.0
その他の場合入力内容	0	0.0	0	0.0



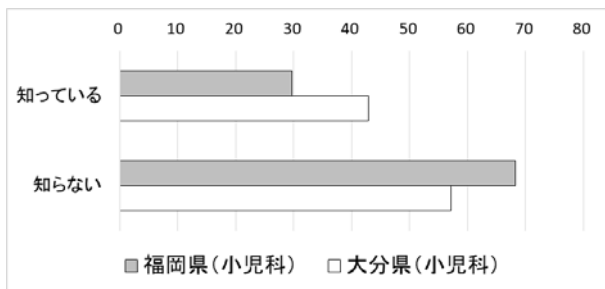
A 3 コーディネーターに求められるスキルは何でしょうか？3つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
コミュニケーション能力	183	76.6	44	78.6
リーダーシップ	29	12.1	8	14.3
行政施策に関する豊富な知識	110	46.0	28	50.0
医療や疾病に関する豊富な知識	67	28.0	13	23.2
各機関との豊富な人脈	110	46.0	32	57.1
行政/医療の最高責任者である事	3	1.3	3	5.4
親子関係に関する豊富な知識	156	65.3	33	58.9
その他	4	1.7	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



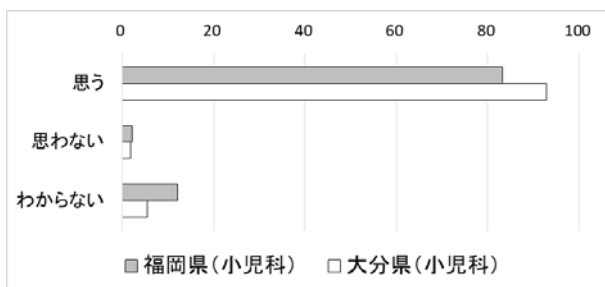
A 4 妊娠期から乳児期までの様々なニーズに対して切れ目ないワンストップ総合的相談支援を提供する

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	71	29.7	24	42.9
知らない	163	68.2	32	57.1



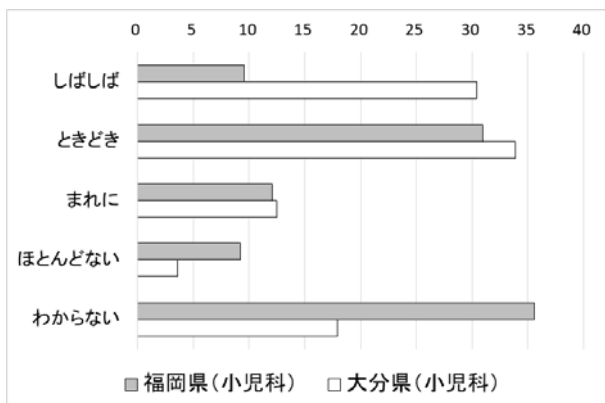
A 5 コーディネーターを、将来（現在）設置される（されている）「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	199	83.3	52	92.9
思わない	5	2.1	1	1.8
わからない	29	12.1	3	5.4



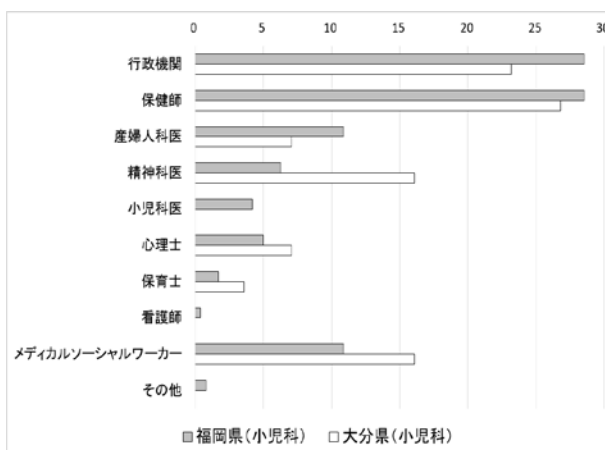
A 6 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
しばしば	23	9.6	17	30.4
ときどき	74	31.0	19	33.9
まれに	29	12.1	7	12.5
ほとんどない	22	9.2	2	3.6
わからない	85	35.6	10	17.9



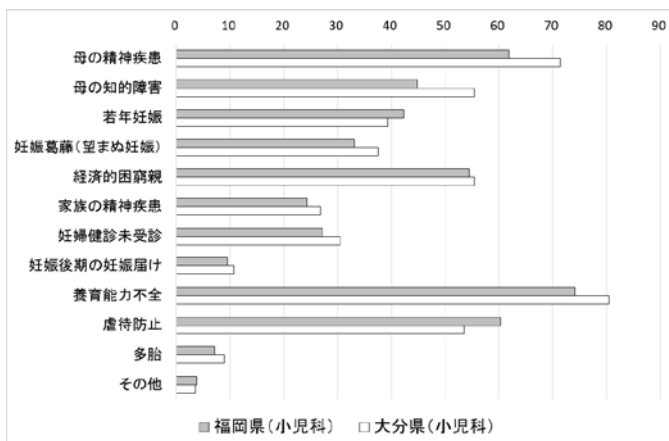
A 7 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政機関	68	28.5	13	23.2
保健師	68	28.5	15	26.8
産婦人科医	26	10.9	4	7.1
精神科医	15	6.3	9	16.1
小児科医	10	4.2	0	0.0
心理士	12	5.0	4	7.1
保育士	4	1.7	2	3.6
看護師	1	0.4	0	0.0
メディカルソーシャルワーカー	26	10.9	9	16.1
その他	2	0.8	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



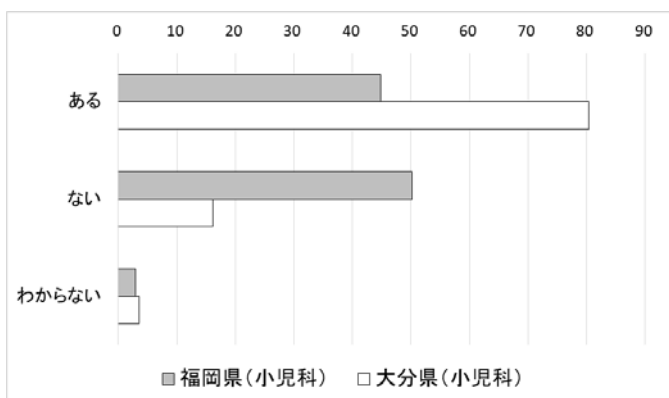
A 8 連携が特に必要と思われる主な理由は何ですか？ (複数回答可)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母の精神疾患	148	61.9	40	71.4
母の知的障害	107	44.8	31	55.4
若年妊娠	101	42.3	22	39.3
妊娠葛藤(望まぬ妊娠)	79	33.1	21	37.5
経済的困窮親	130	54.4	31	55.4
家族の精神疾患	58	24.3	15	26.8
妊婦健診未受診	65	27.2	17	30.4
妊娠後期の妊娠届け	23	9.6	6	10.7
養育能力不全	177	74.1	45	80.4
虐待防止	144	60.3	30	53.6
多胎	17	7.1	5	8.9
その他	9	3.8	2	3.6
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



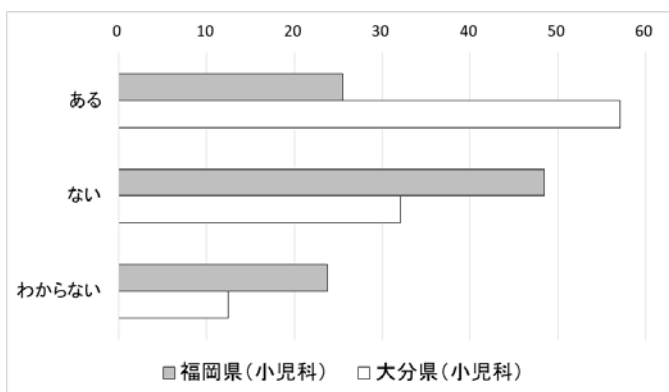
A 9 特定妊婦から出生した子どもに関する情報を、何らかの形で行政機関と共有したことはありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	107	44.8	45	80.4
ない	120	50.2	9	16.1
わからない	7	2.9	2	3.6



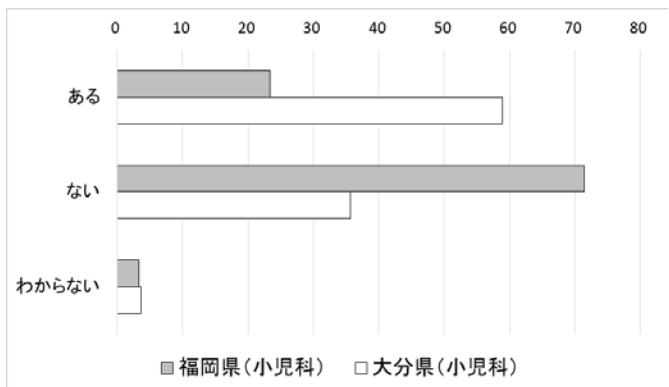
A 10 行政機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	61	25.5	32	57.1
ない	116	48.5	18	32.1
わからない	57	23.8	7	12.5



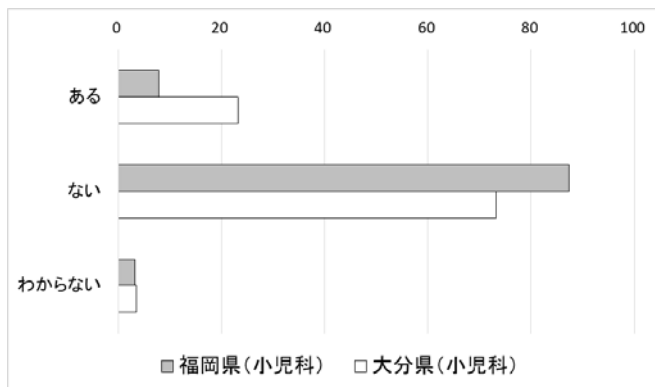
A 13 特定妊婦の情報を何らかの形で、産科医療機関と共有したことはありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	56	23.4	33	58.9
ない	171	71.5	20	35.7
わからない	8	3.3	2	3.6



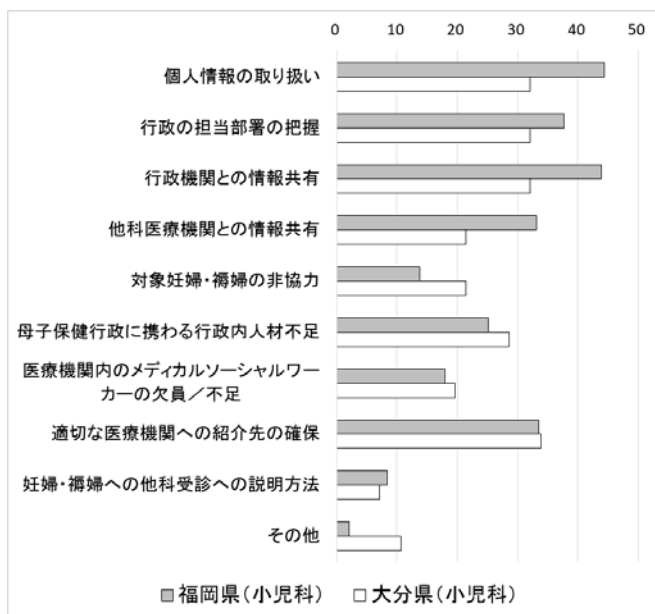
A 14 特定妊婦の情報を何らかの形で、精神科医療機関と共有したことはありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	19	7.9	13	23.2
ない	209	87.4	41	73.2
わからない	8	3.3	2	3.6



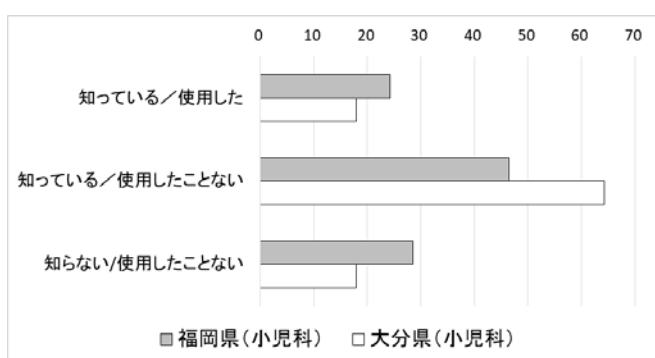
A 15 行政機関・他科医療機関との連携のために困っておられることは何ですか？ (複数回答可)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
個人情報の取り扱い	106	44.4	18	32.1
行政の担当部署の把握	90	37.7	18	32.1
行政機関との情報共有	105	43.9	18	32.1
他科医療機関との情報共有	79	33.1	12	21.4
対象妊婦・褥婦の非協力	33	13.8	12	21.4
母子保健行政に携わる行政内人材不足	60	25.1	16	28.6
医療機関内のメディカルソーシャルワーカーの欠員	43	18.0	11	19.6
適切な医療機関への紹介先の確保	80	33.5	19	33.9
妊婦・褥婦への他科受診への説明方法	20	8.4	4	7.1
その他	5	2.1	6	10.7
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



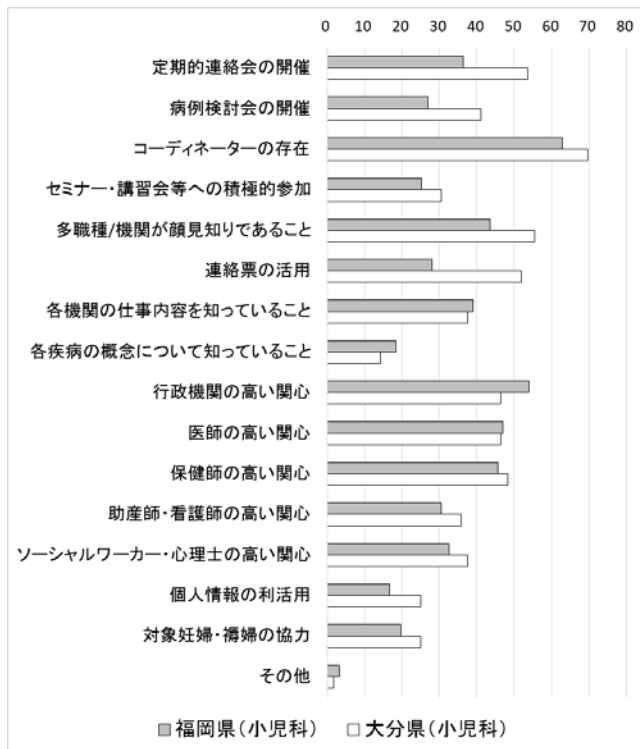
A 16 エジンバラ産後うつ病自己尺度(Edinburgh Postnatal Depression Scale; EPDS) をご存知ですか/ご使用されたことありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている/使用した	58	24.3	10	17.9
知っている/使用したことない	111	46.4	36	64.3
知らない/使用したことない	68	28.5	10	17.9



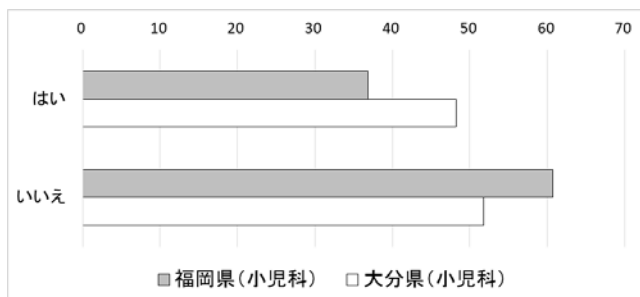
A 17 妊娠前から乳児期の親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなんでしょうか？（複数回答可）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
定期的連絡会の開催	87	36.4	30	53.6
病例検討会の開催	64	26.8	23	41.1
コーディネーターの存在	150	62.8	39	69.6
セミナー・講習会等への積極的参加	60	25.1	17	30.4
多職種/機関が顔見知りであること	104	43.5	31	55.4
連絡票の活用	67	28.0	29	51.8
各機関の仕事内容を知っていること	93	38.9	21	37.5
各疾病の概念について知っていること	44	18.4	8	14.3
行政機関の高い関心	129	54.0	26	46.4
医師の高い関心	112	46.9	26	46.4
保健師の高い関心	109	45.6	27	48.2
助産師・看護師の高い関心	73	30.5	20	35.7
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	78	32.6	21	37.5
個人情報の利活用	40	16.7	14	25.0
対象妊婦・褥婦の協力	47	19.7	14	25.0
その他	8	3.3	1	1.8
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



A 18 平成28年～29年にかけて一部、児童福祉法が改正されたことはご存知ですか？

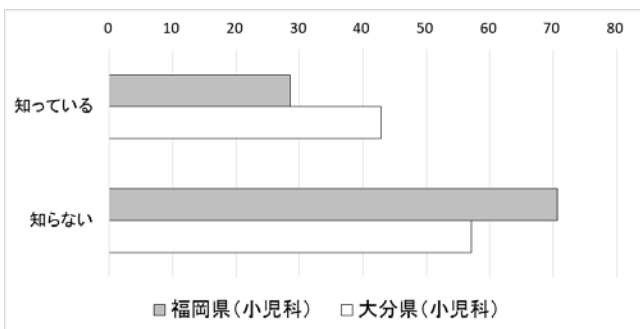
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
はい	88	36.8	27	48.2
いいえ	145	60.7	29	51.8



A 19 改正された児童福祉法に下記内容が明記されたことはご存知ですか？

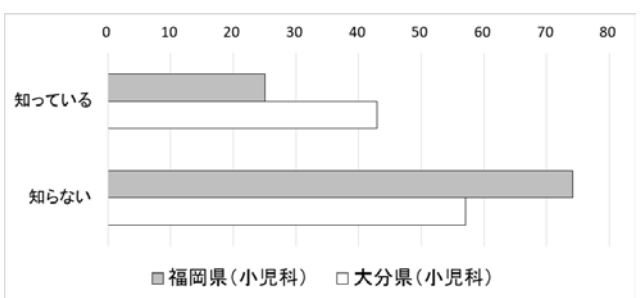
a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供するよう努めること

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	68	28.5	24	42.9
知らない	169	70.7	32	57.1



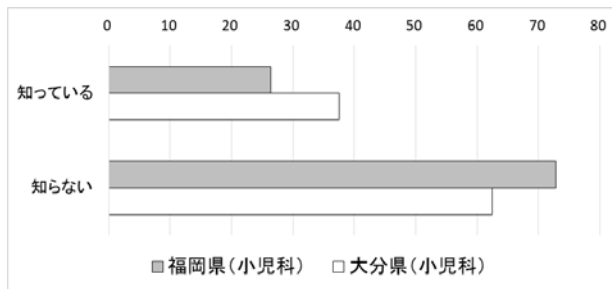
b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職を配備すること

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	60	25.1	24	42.9
知らない	177	74.1	32	57.1



c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

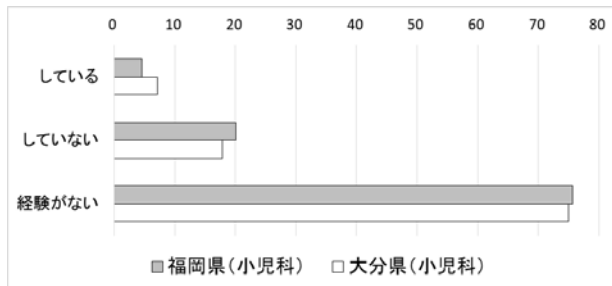
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	63	26.4	21	37.5
知らない	174	72.8	35	62.5



A20 児童虐待のハイリスク妊婦/褥婦に遭遇した場合の対応についてお聞きします。

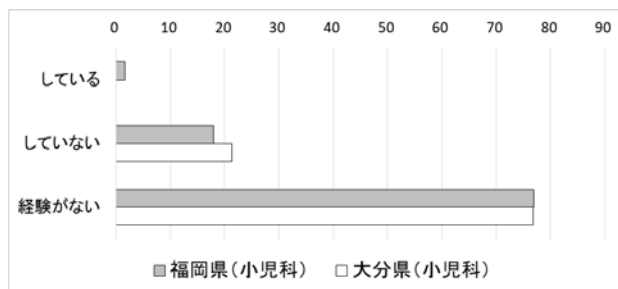
a. 里親制度について母親に情報提供していますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
している	11	4.6	4	7.1
していない	48	20.1	10	17.9
経験がない	181	75.7	42	75.0



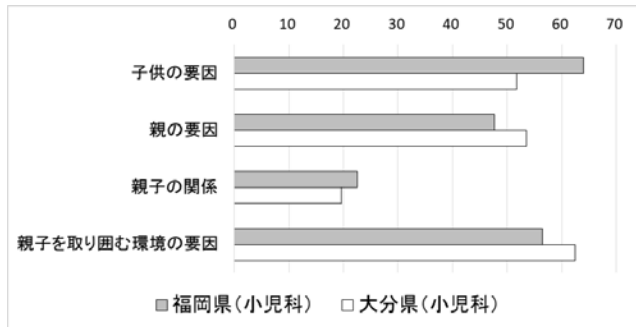
b. その場合、斡旋団体を紹介していますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
している	4	1.7	0	0.0
していない	43	18.0	12	21.4
経験がない	184	77.0	43	76.8



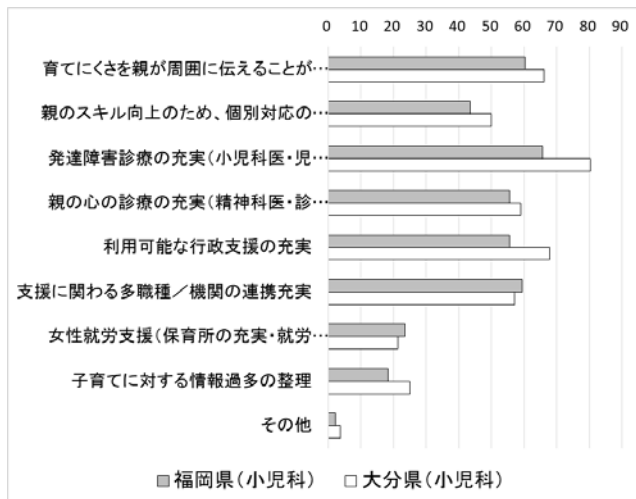
B 1 保護者が感じる「育てにくさ」の主な要因は以下のどれだと思われますか？ 2つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
子供の要因	153	64.0	29	51.8
親の要因	114	47.7	30	53.6
親子の関係	54	22.6	11	19.6
親子を取り囲む環境の要因	135	56.5	35	62.5



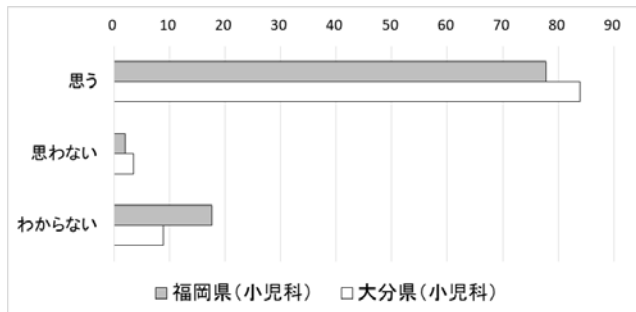
B 2 「育てにくさ」を支援するために何が必要と思われますか？ (複数回答可)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
育てにくさを親が周囲に伝えることができること	144	60.3	37	66.1
親のスキル向上のため、個別対応の充実	104	43.5	28	50.0
発達障害診療の充実 (小児科医・児童精神科)	157	65.7	45	80.4
親の心の診療の充実 (精神科医・診療内科医)	133	55.6	33	58.9
利用可能な行政支援の充実	133	55.6	38	67.9
支援に関わる多職種/機関の連携充実	142	59.4	32	57.1
女性就労支援 (保育所の充実・就労時間の配慮等)	56	23.4	12	21.4
子育てに対する情報過多の整理	44	18.4	14	25.0
その他	5	2.1	2	3.6
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



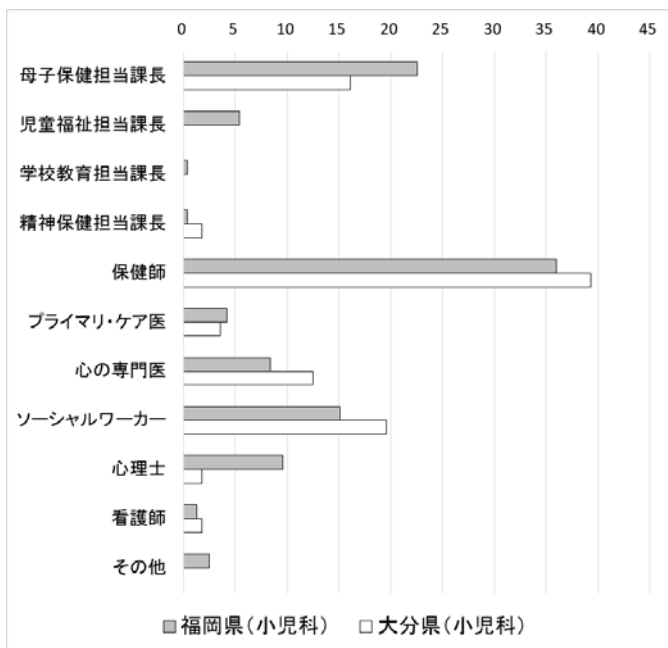
B 3 育てにくさを感じる親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	186	77.8	47	83.9
思わない	5	2.1	2	3.6
わからない	42	17.6	5	8.9



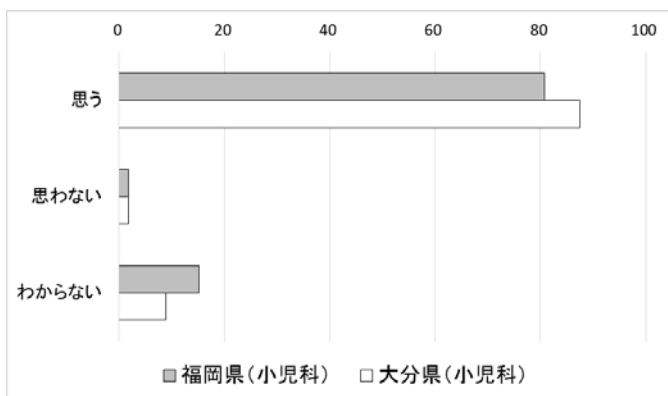
B 4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母子保健担当課長	54	22.6	9	16.1
児童福祉担当課長	13	5.4	0	0.0
学校教育担当課長	1	0.4	0	0.0
精神保健担当課長	1	0.4	1	1.8
保健師	86	36.0	22	39.3
プライマリ・ケア医	10	4.2	2	3.6
心の専門医	20	8.4	7	12.5
ソーシャルワーカー	36	15.1	11	19.6
心理士	23	9.6	1	1.8
看護師	3	1.3	1	1.8
その他	6	2.5	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



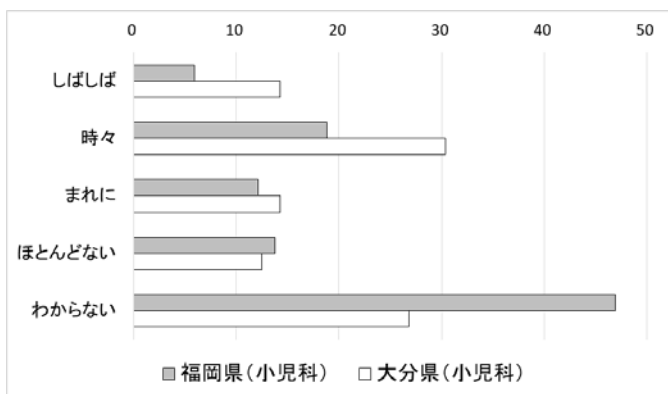
B 5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われるか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	193	80.8	49	87.5
思わない	4	1.7	1	1.8
わからない	36	15.1	5	8.9



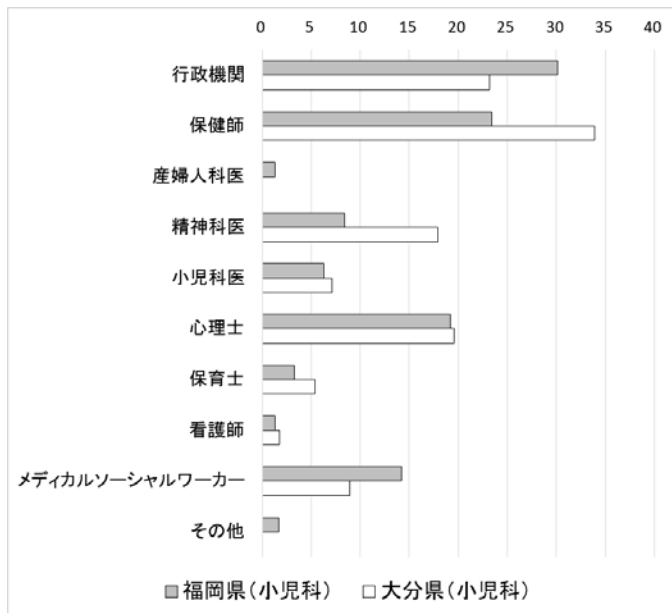
B 6 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
しばしば	14	5.9	8	14.3
時々	45	18.8	17	30.4
まれに	29	12.1	8	14.3
ほとんどない	33	13.8	7	12.5
わからない	112	46.9	15	26.8



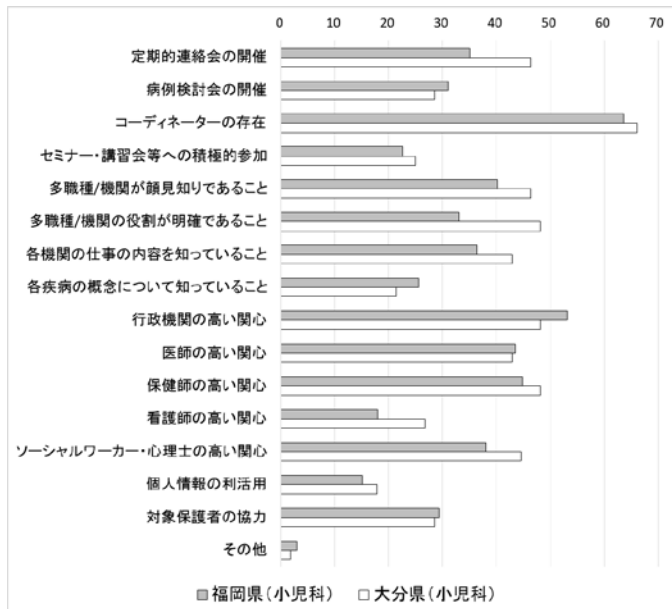
B 7 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政機関	72	30.1	13	23.2
保健師	56	23.4	19	33.9
産婦人科医	3	1.3	0	0.0
精神科医	20	8.4	10	17.9
小児科医	15	6.3	4	7.1
心理士	46	19.2	11	19.6
保育士	8	3.3	3	5.4
看護師	3	1.3	1	1.8
メディカルソーシャルワーカー	34	14.2	5	8.9
その他	4	1.7	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



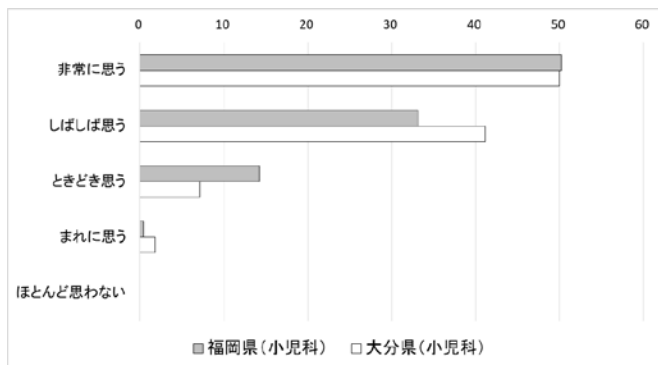
B 8 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなんでしょうか？ (複数回答可)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
定期的連絡会の開催	84	35.1	26	46.4
病例検討会の開催	74	31.0	16	28.6
コーディネーターの存在	152	63.6	37	66.1
セミナー・講習会等への積極的参加	54	22.6	14	25.0
多職種/機関が顔見知りであること	96	40.2	26	46.4
多職種/機関の役割が明確であること	79	33.1	27	48.2
各機関の仕事の内容を知っていること	87	36.4	24	42.9
各疾病の概念について知っていること	61	25.5	12	21.4
行政機関の高い関心	127	53.1	27	48.2
医師の高い関心	104	43.5	24	42.9
保健師の高い関心	107	44.8	27	48.2
看護師の高い関心	43	18.0	15	26.8
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	91	38.1	25	44.6
個人情報の利活用	36	15.1	10	17.9
対象保護者の協力	70	29.3	16	28.6
その他	7	2.9	1	1.8
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



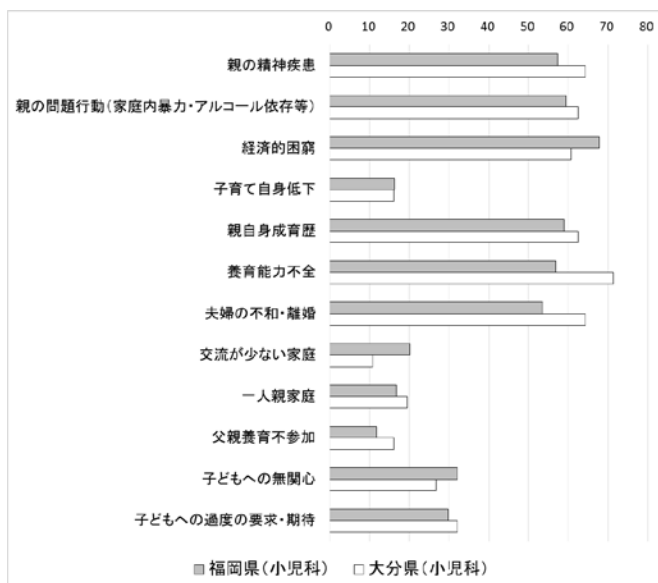
C1 子どもの心の問題は、親の心の問題（親子関係、親の病気等）が関係していると思いますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
非常に思う	120	50.2	28	50.0
しばしば思う	79	33.1	23	41.1
ときどき思う	34	14.2	4	7.1
まれに思う	1	0.4	1	1.8
ほとんど思わない	0	0.0	0	0.0



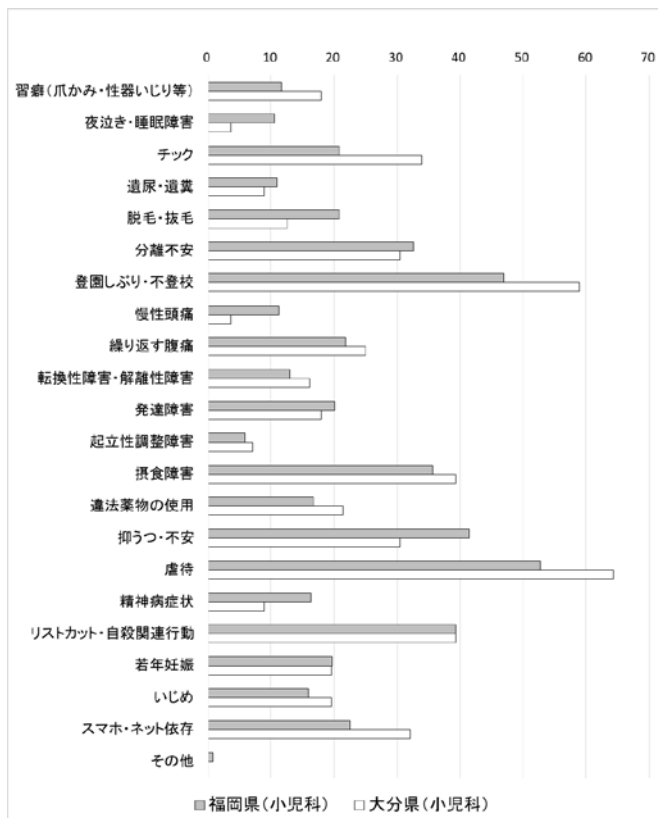
C2 親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？ 5つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
親の精神疾患	137	57.3	36	64.3
親の問題行動 (家庭内暴力・アルコール依存等)	142	59.4	35	62.5
経済的困窮	162	67.8	34	60.7
子育て自身低下	39	16.3	9	16.1
親自身成育歴	141	59.0	35	62.5
養育能力不全	136	56.9	40	71.4
夫婦の不和・離婚	128	53.6	36	64.3
交流が少ない家庭	48	20.1	6	10.7
一人親家庭	40	16.7	11	19.6
父親養育不参加	28	11.7	9	16.1
子どもへの無関心	77	32.2	15	26.8
子どもへの過度の要求・期待	71	29.7	18	32.1



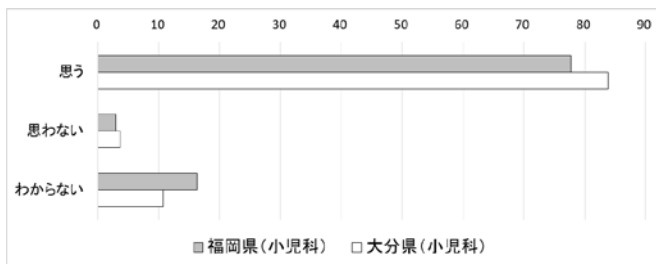
C3 下記の子どもの疾患や心の問題で、親を含めた家族の心の問題の関与が強いと思われるものはどれでしょうか？ 5つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
習癖 (爪かみ・性器いじり等)	28	11.7	10	17.9
夜泣き・睡眠障害	25	10.5	2	3.6
チック	50	20.9	19	33.9
遺尿・遺糞	26	10.9	5	8.9
脱毛・抜毛	50	20.9	7	12.5
分離不安	78	32.6	17	30.4
登園しぶり・不登校	112	46.9	33	58.9
慢性頭痛	27	11.3	2	3.6
繰り返す腹痛	52	21.8	14	25.0
転換性障害・解離性障害	31	13.0	9	16.1
発達障害	48	20.1	10	17.9
起立性調整障害	14	5.9	4	7.1
摂食障害	85	35.6	22	39.3
違法薬物の使用	40	16.7	12	21.4
抑うつ・不安	99	41.4	17	30.4
虐待	126	52.7	36	64.3
精神病症状	39	16.3	5	8.9
リストカット・自殺関連行動	94	39.3	22	39.3
若年妊娠	47	19.7	11	19.6
いじめ	38	15.9	11	19.6
スマホ・ネット依存	54	22.6	18	32.1
その他	2	0.8	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



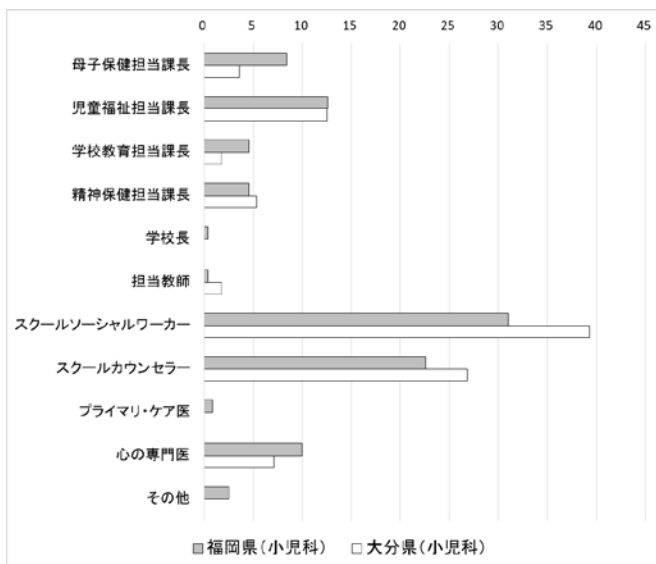
C4 学童・思春期の親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	186	77.8	47	83.9
思わない	7	2.9	2	3.6
わからない	39	16.3	6	10.7



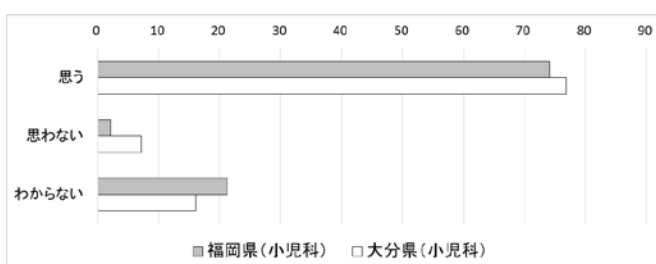
C5 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母子保健担当課長	20	8.4	2	3.6
児童福祉担当課長	30	12.6	7	12.5
学校教育担当課長	11	4.6	1	1.8
精神保健担当課長	11	4.6	3	5.4
学校長	1	0.4	0	0.0
担当教師	1	0.4	1	1.8
スクールソーシャルワーカー	74	31.0	22	39.3
スクールカウンセラー	54	22.6	15	26.8
プライマリ・ケア医	2	0.8	0	0.0
心の専門医	24	10.0	4	7.1
その他	6	2.5	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



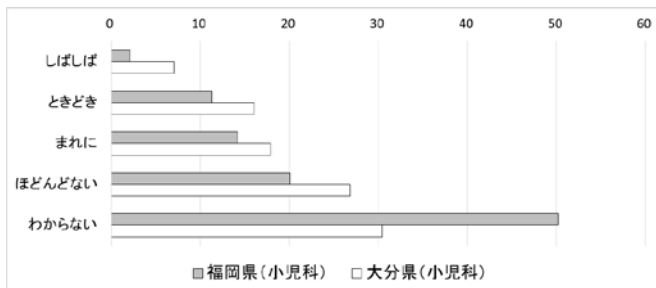
C6 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われるますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	177	74.1	43	76.8
思わない	5	2.1	4	7.1
わからない	51	21.3	9	16.1



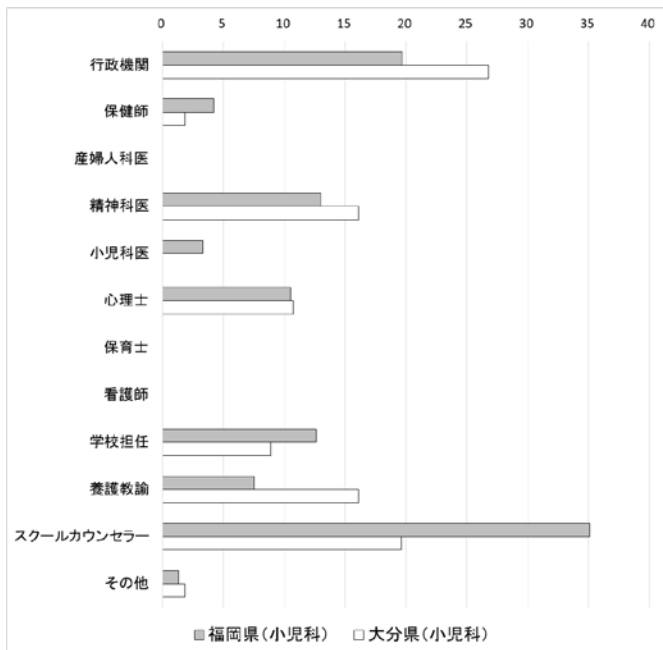
C7 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
しばしば	5	2.1	4	7.1
ときどき	27	11.3	9	16.1
まれに	34	14.2	10	17.9
ほとんどない	48	20.1	15	26.8
わからない	120	50.2	17	30.4



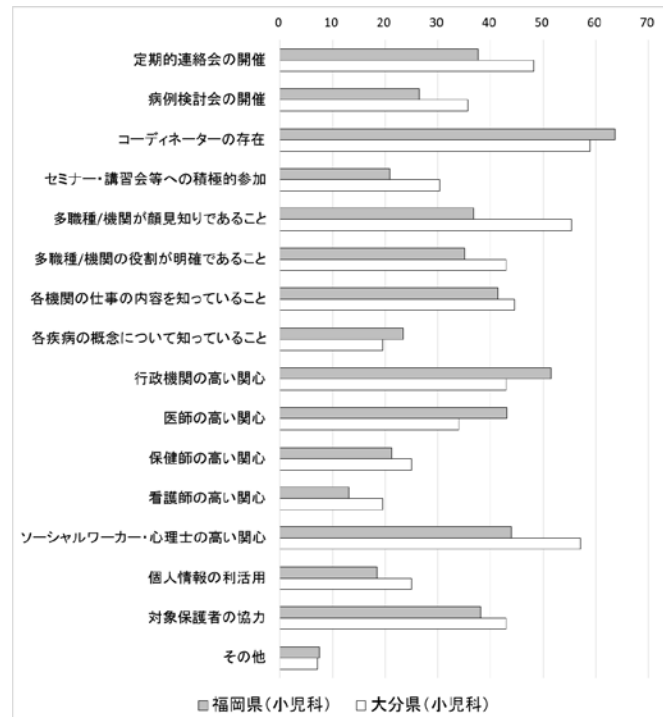
C 8 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政機関	47	19.7	15	26.8
保健師	10	4.2	1	1.8
産婦人科医	0	0.0	0	0.0
精神科医	31	13.0	9	16.1
小児科医	8	3.3	0	0.0
心理士	25	10.5	6	10.7
保育士	0	0.0	0	0.0
看護師	0	0.0	0	0.0
学校担任	30	12.6	5	8.9
養護教諭	18	7.5	9	16.1
スクールカウンセラー	84	35.1	11	19.6
その他	3	1.3	1	1.8
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



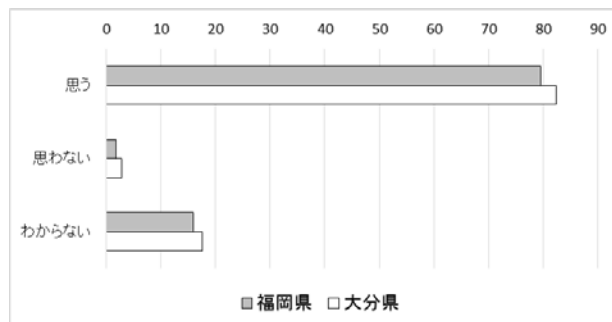
C 9 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携推進のために大切なことはなにか？ (複数回答可)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
定期的連絡会の開催	90	37.7	27	48.2
病例検討会の開催	63	26.4	20	35.7
コーディネーターの存在	152	63.6	33	58.9
セミナー・講習会等への積極的参加	50	20.9	17	30.4
多職種/機関が顔見知りであること	88	36.8	31	55.4
多職種/機関の役割が明確であること	84	35.1	24	42.9
各機関の仕事の内容を知っていること	99	41.4	25	44.6
各疾病の概念について知っていること	56	23.4	11	19.6
行政機関の高い関心	123	51.5	24	42.9
医師の高い関心	103	43.1	19	33.9
保健師の高い関心	51	21.3	14	25.0
看護師の高い関心	31	13.0	11	19.6
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	105	43.9	32	57.1
個人情報の利活用	44	18.4	14	25.0
対象保護者の協力	91	38.1	24	42.9
その他	18	7.5	4	7.1
その他の場合の入力内容				



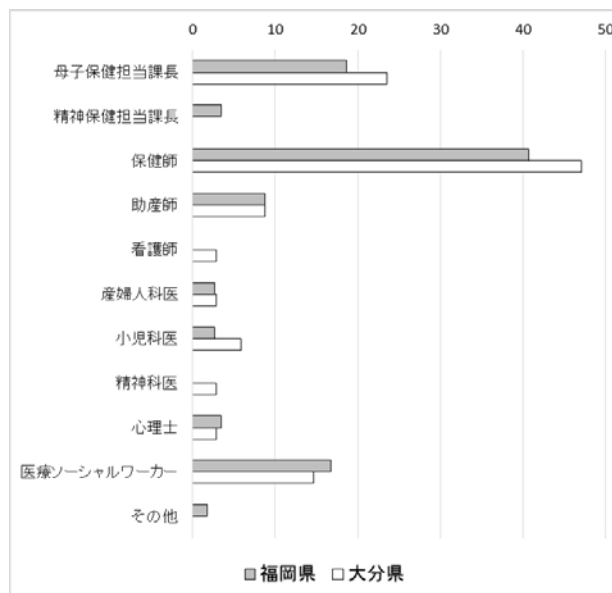
A 1 妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市区町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	90	79.6	28	82.4
思わない	2	1.8	1	2.9
わからない	18	15.9	6	17.6



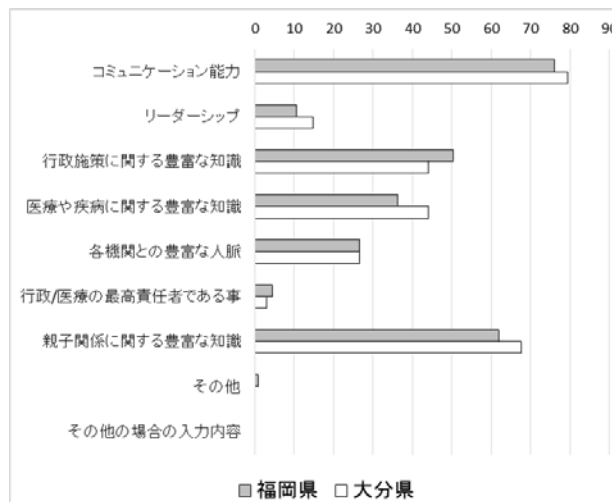
A 2 コーディネーターが必要となった場合、各市区町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？ 1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母子保健担当課長	21	18.6	8	23.5
精神保健担当課長	4	3.5	0	0.0
保健師	46	40.7	16	47.1
助産師	10	8.8	3	8.8
看護師	0	0.0	1	2.9
産婦人科医	3	2.7	1	2.9
小児科医	3	2.7	2	5.9
精神科医	0	0.0	1	2.9
心理士	4	3.5	1	2.9
医療ソーシャルワーカー	19	16.8	5	14.7
その他	2	1.8	0	0.0
その他の手書きの場合	0	0.0	0	0.0



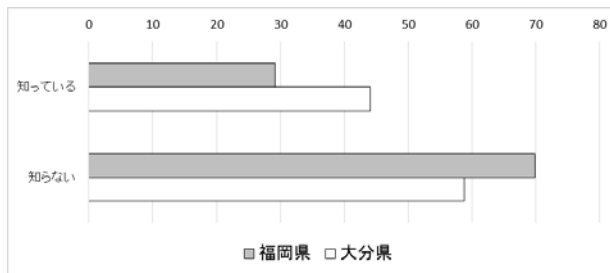
A 3 コーディネーターに求められるスキルは何でしょうか？ 3つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
コミュニケーション能力	86	76.1	27	79.4
リーダーシップ	12	10.6	5	14.7
行政施策に関する豊富な知識	57	50.4	15	44.1
医療や疾病に関する豊富な知識	41	36.3	15	44.1
各機関との豊富な人脈	30	26.5	9	26.5
行政/医療の最高責任者である事	5	4.4	1	2.9
親子関係に関する豊富な知識	70	61.9	23	67.6
その他	1	0.9	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



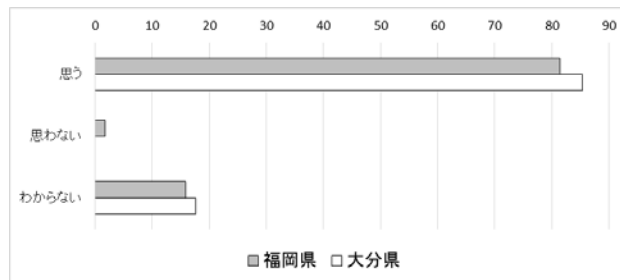
A 4 妊娠期から乳児期までの様々なニーズに対して切れ目ないワンストップ総合的相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」が全国市区町村に設置される予定があるのをご存知ですか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	33	29.2	15	44.1
知らない	79	69.9	20	58.8



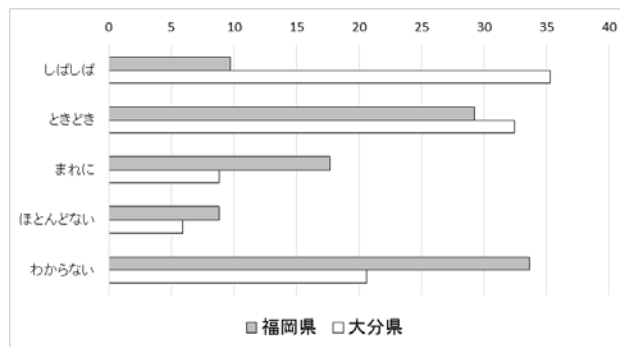
A 5 コーディネーターを、将来（現在）設置される（されている）「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	92	81.4	29	85.3
思わない	2	1.8	0	0.0
わからない	18	15.9	6	17.6



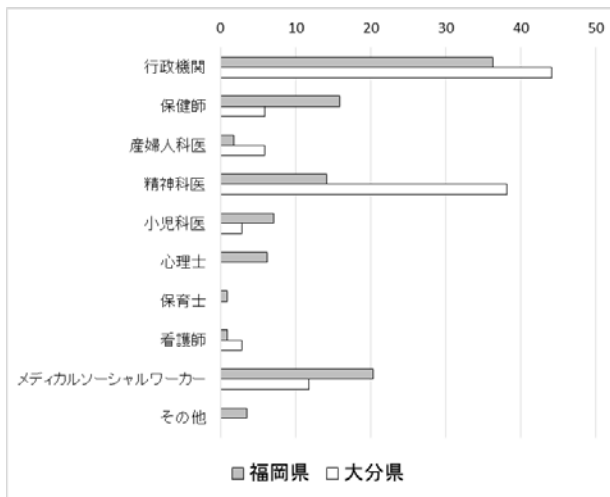
A 6 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
しばしば	11	9.7	12	35.3
ときどき	33	29.2	11	32.4
まれに	20	17.7	3	8.8
ほとんどない	10	8.8	2	5.9
わからない	38	33.6	7	20.6



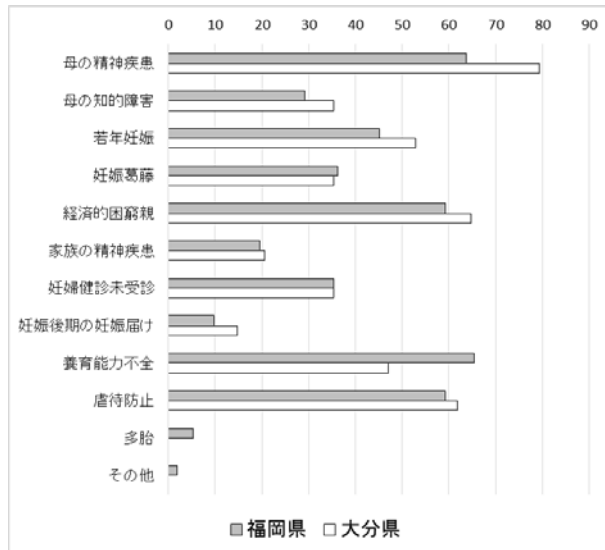
A 7 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政機関	41	36.3	15	44.1
保健師	18	15.9	2	5.9
産婦人科医	2	1.8	2	5.9
精神科医	16	14.2	13	38.2
小児科医	8	7.1	1	2.9
心理士	7	6.2	0	0.0
保育士	1	0.9	0	0.0
看護師	1	0.9	1	2.9
メディカルソーシャルワーカー	23	20.4	4	11.8
その他	4	3.5	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



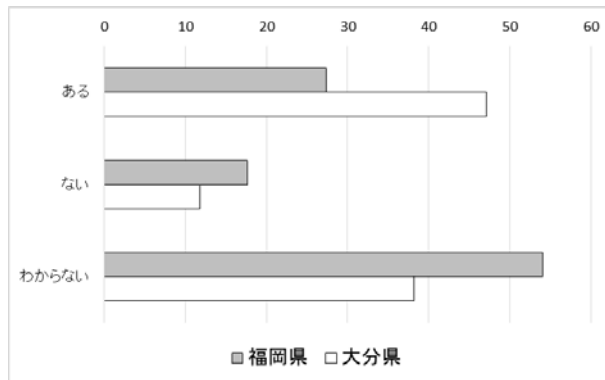
A 8 連携が特に必要と思われる主な理由は何ですか？（複数回答可）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母の精神疾患	72	63.7	27	79.4
母の知的障害	33	29.2	12	35.3
若年妊娠	51	45.1	18	52.9
妊娠葛藤	41	36.3	12	35.3
経済的困窮親	67	59.3	22	64.7
家族の精神疾患	22	19.5	7	20.6
妊婦健診未受診	40	35.4	12	35.3
妊娠後期の妊娠届け	11	9.7	5	14.7
養育能力不全	74	65.5	16	47.1
虐待防止	67	59.3	21	61.8
多胎	6	5.3	0	0.0
その他	2	1.8	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



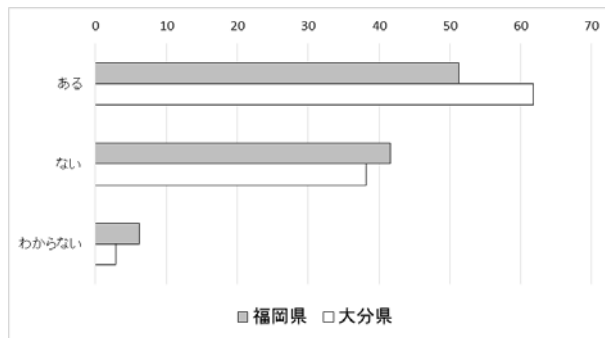
A 9 地域の中で周産期のメンタルヘルスの問題（妊婦・産婦の精神疾患等）を診ている精神科はありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	31	27.4	16	47.1
ない	20	17.7	4	11.8
わからない	61	54.0	13	38.2



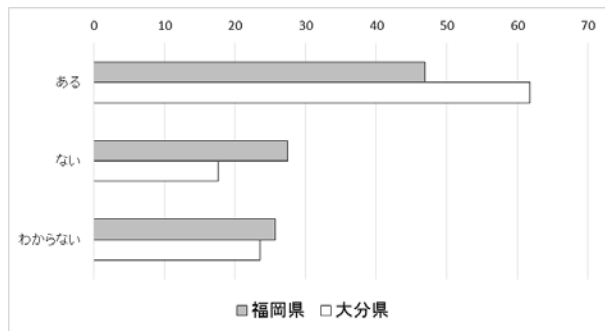
A 10 特定妊婦の情報を何らかの形で、行政機関と共有または提供したことはありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	58	51.3	21	61.8
ない	47	41.6	13	38.2
わからない	7	6.2	1	2.9



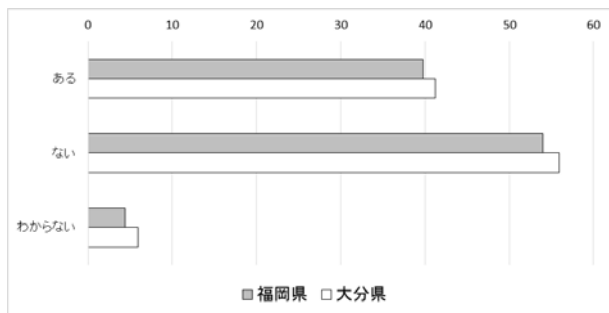
A 11 行政機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	53	46.9	21	61.8
ない	31	27.4	6	17.6
わからない	29	25.7	8	23.5



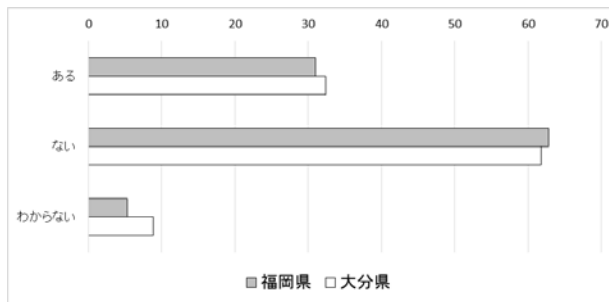
A 14 特定妊婦の情報を何らかの形で、精神科医療機関と共有したことはありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	45	39.8	14	41.2
ない	61	54.0	19	55.9
わからない	5	4.4	2	5.9



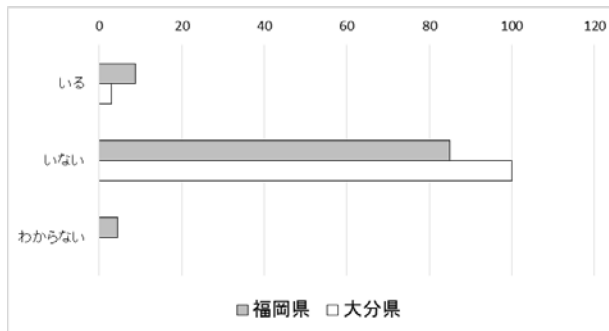
A 15 特定妊婦の情報を何らかの形で、小児科医療機関と共有したことはありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	35	31.0	11	32.4
ない	71	62.8	21	61.8
わからない	6	5.3	3	8.8



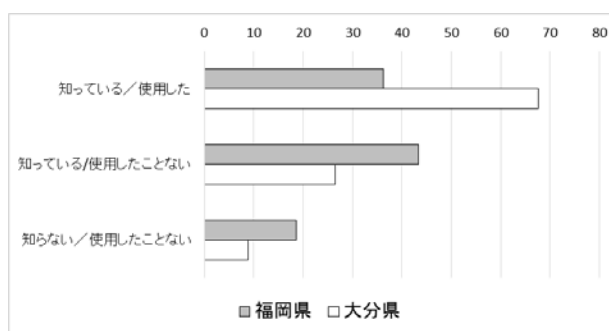
A 16 貴医療機関には周産期医療を担当されるメディカルソーシャルワーカーはおられますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
いる	10	8.8	1	2.9
ない	96	85.0	34	100.0
わからない	5	4.4	0	0.0



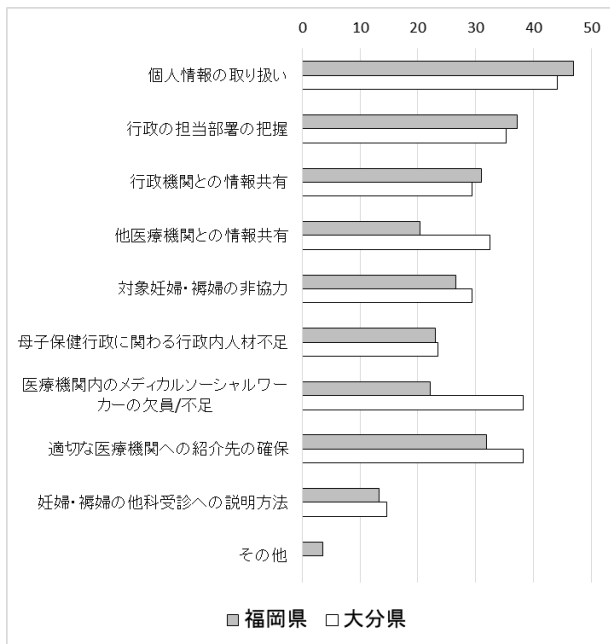
A 17 エジンバラ産後うつ病自己尺度(Edinburgh Postnatal Depression Scale; EPDS)をご存知ですか/ご使用されたことありますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている/使用した	41	36.3	23	67.6
知っている/使用したことない	49	43.4	9	26.5
知らない/使用したことない	21	18.6	3	8.8



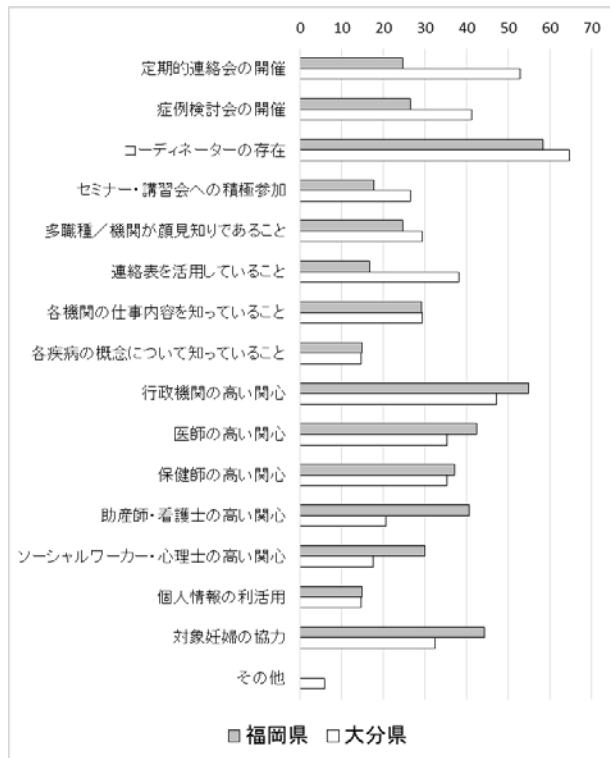
A 18 行政機関・他科医療機関との連携のために困っておられることは何ですか？（複数回答可）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
個人情報の取り扱い	53	46.9	15	44.1
行政の担当部署の把握	42	37.2	12	35.3
行政機関との情報共有	35	31.0	10	29.4
他医療機関との情報共有	23	20.4	11	32.4
対象妊婦・褥婦の非協力	30	26.5	10	29.4
母子保健行政に関わる行政内人材不足	26	23.0	8	23.5
医療機関内のメディカルソーシャルワーカーの欠員/不足	25	22.1	13	38.2
適切な医療機関への紹介先の確保	36	31.9	13	38.2
妊婦・褥婦の他科受診への説明方法	15	13.3	5	14.7
その他	4	3.5	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



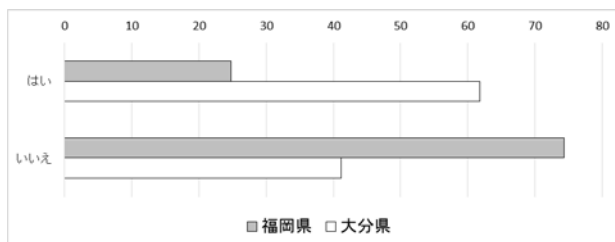
A 19 妊産婦から乳児期の親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなにかでしょうか？（複数回答可）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
定期的連絡会の開催	28	24.8	18	52.9
症例検討会の開催	30	26.5	14	41.2
コーディネーターの存在	66	58.4	22	64.7
セミナー・講習会への積極参加	20	17.7	9	26.5
多職種／機関が顔見知りであること	28	24.8	10	29.4
連絡表を活用していること	19	16.8	13	38.2
各機関の仕事内容を知っていること	33	29.2	10	29.4
各疾病の概念について知っていること	17	15.0	5	14.7
行政機関の高い関心	62	54.9	16	47.1
医師の高い関心	48	42.5	12	35.3
保健師の高い関心	42	37.2	12	35.3
助産師・看護師の高い関心	46	40.7	7	20.6
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	34	30.1	6	17.6
個人情報の利活用	17	15.0	5	14.7
対象妊婦の協力	50	44.2	11	32.4
その他	0	0.0	2	5.9
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



A 20 平成28年～29年にかけて一部、児童福祉法が改正されたことはご存知ですか？

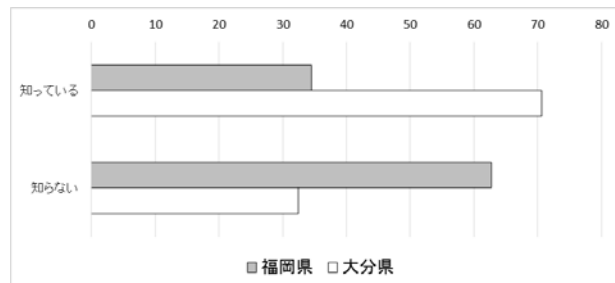
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
はい	28	24.8	21	61.8
いいえ	84	74.3	14	41.2



A 21 改正された児童福祉法に下記内容が明記されたことはご存知ですか？

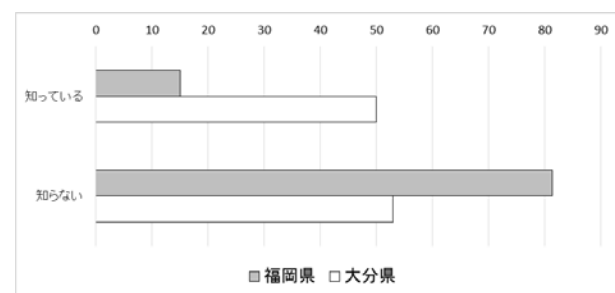
a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供するように努めること

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	39	34.5	24	70.6
知らない	71	62.8	11	32.4



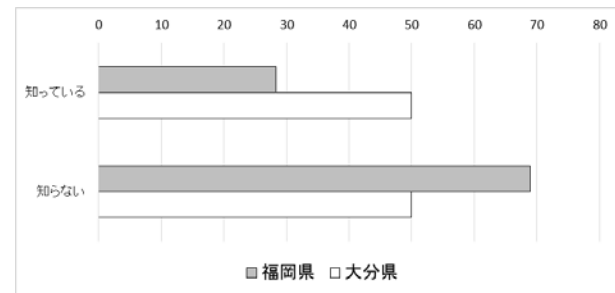
b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職を配備すること

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	17	15.0	17	50.0
知らない	92	81.4	18	52.9



c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

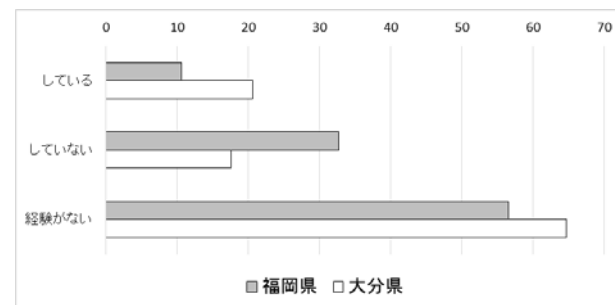
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	32	28.3	17	50.0
知らない	78	69.0	17	50.0



A 22 児童虐待のハイリスク妊婦／褥婦に遭遇した場合の対応についてお聞きします。

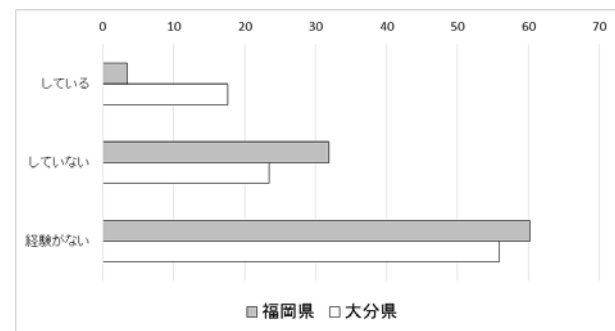
a. 里親制度について母親に情報提供していますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
している	12	10.6	7	20.6
していない	37	32.7	6	17.6
経験がない	64	56.6	22	64.7



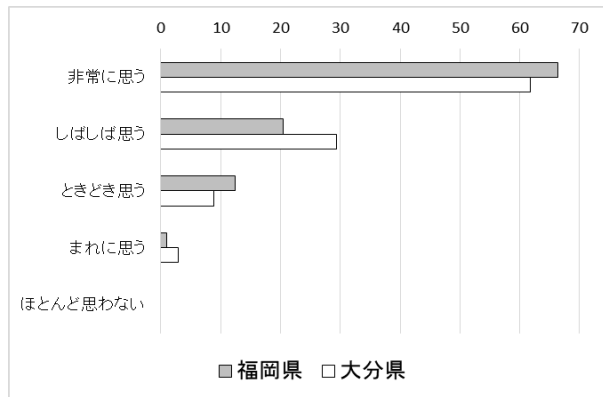
b. その場合、斡旋団体を紹介していますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
している	4	3.5	6	17.6
していない	36	31.9	8	23.5
経験がない	68	60.2	19	55.9



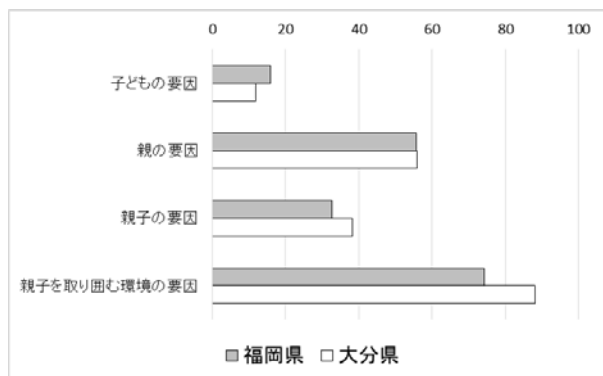
C 1 子どもの心の問題は、親の心の問題（親子関係、親の病気等）が関係していると思いますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
非常に思う	75	66.4	21	61.8
しばしば思う	23	20.4	10	29.4
ときどき思う	14	12.4	3	8.8
まれに思う	1	0.9	1	2.9
ほとんど思わない	0	0.0	0	0.0



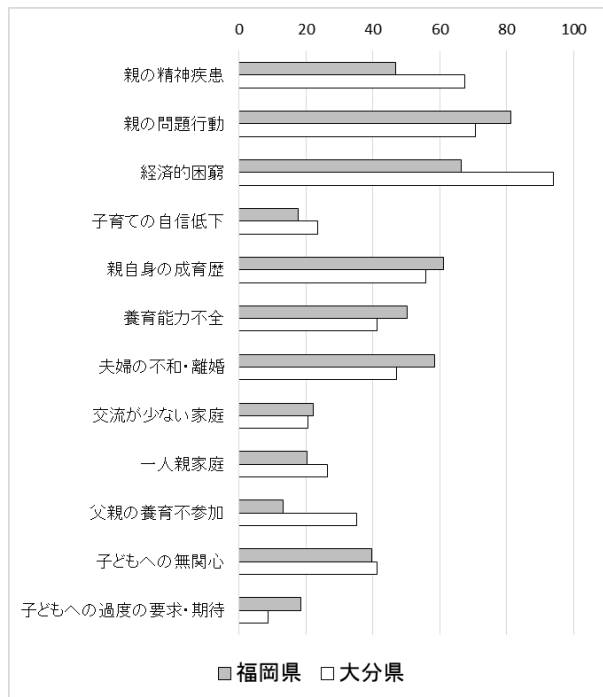
C 2 保護者が感じる「育てにくさ」の主な要因は以下のどれだと思われますか？ 2つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
子どもの要因	18	15.9	4	11.8
親の要因	63	55.8	19	55.9
親子の要因	37	32.7	13	38.2
親子を取り囲む環境の要因	84	74.3	30	88.2



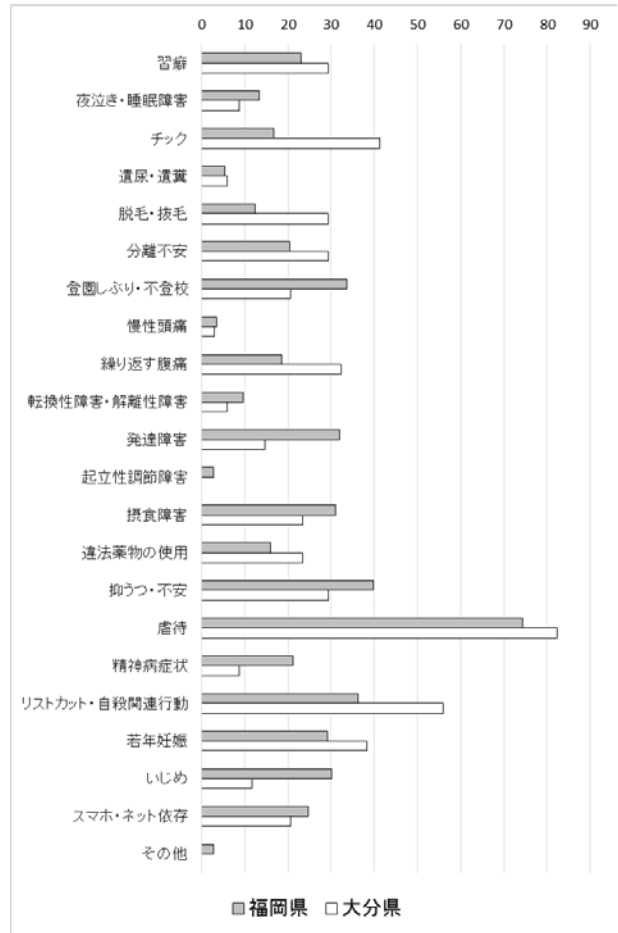
C 3 親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？ 5つを選択して、() に○をつけてください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
親の精神疾患	53	46.9	23	67.6
親の問題行動	92	81.4	24	70.6
経済的困窮	75	66.4	32	94.1
子育ての自信低下	20	17.7	8	23.5
親自身の成育歴	69	61.1	19	55.9
養育能力不全	57	50.4	14	41.2
夫婦の不和・離婚	66	58.4	16	47.1
交流が少ない家庭	25	22.1	7	20.6
一人親家庭	23	20.4	9	26.5
父親の養育不参加	15	13.3	12	35.3
子どもへの無関心	45	39.8	14	41.2
子どもへの過度の要求・期待	21	18.6	3	8.8



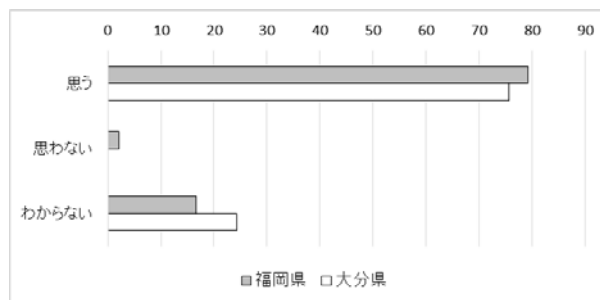
C4 下記の子どもの疾患や心の問題で、親を含めた家族の心の問題の関与が強いと思われるものはどれでしょうか？ 5つ選んでください。

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
習癖	26	23.0	10	29.4
夜泣き・睡眠障害	15	13.3	3	8.8
チック	19	16.8	14	41.2
遺尿・遺糞	6	5.3	2	5.9
脱毛・抜毛	14	12.4	10	29.4
分離不安	23	20.4	10	29.4
登園しぶり・不登校	38	33.6	7	20.6
慢性頭痛	4	3.5	1	2.9
繰り返す腹痛	21	18.6	11	32.4
転換性障害・解離性障害	11	9.7	2	5.9
発達障害	36	31.9	5	14.7
起立性調節障害	3	2.7	0	0.0
摂食障害	35	31.0	8	23.5
違法薬物の使用	18	15.9	8	23.5
抑うつ・不安	45	39.8	10	29.4
虐待	84	74.3	28	82.4
精神病症状	24	21.2	3	8.8
リストカット・自殺関連行動	41	36.3	19	55.9
若年妊娠	33	29.2	13	38.2
いじめ	34	30.1	4	11.8
スマホ・ネット依存	28	24.8	7	20.6
その他	3	2.7	0	0.0
その他の場合の入力内容				



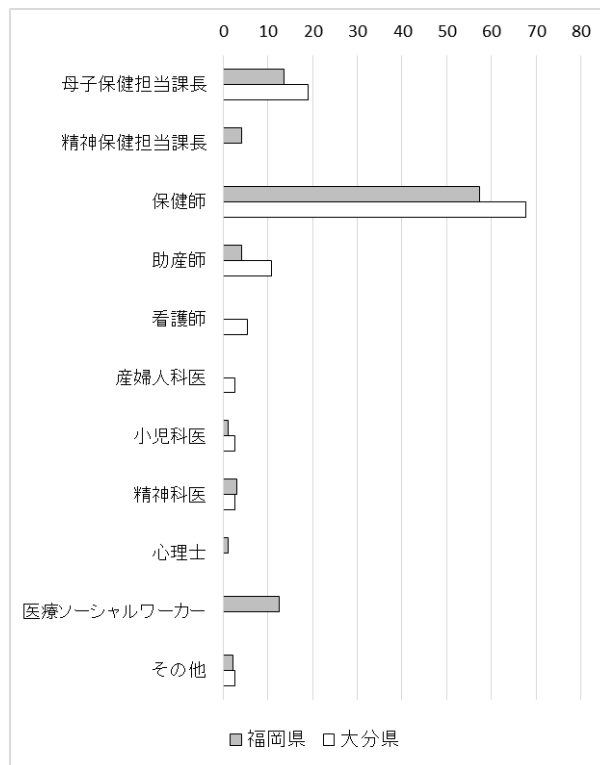
A1 市町村単位にコーディネーターが必要か？（妊娠期～乳児期）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	76	79.2	28	75.7
思わない	2	2.1	0	0.0
わからない	16	16.7	9	24.3



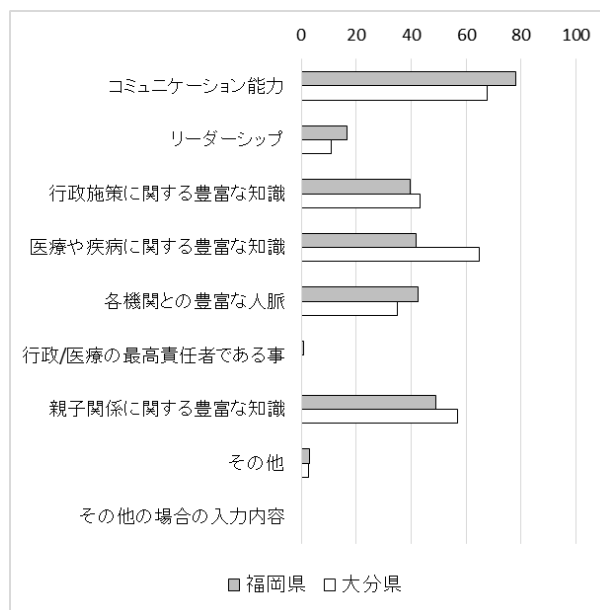
A2 コーディネーターは誰が適任か？（妊娠期～乳児期）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母子保健担当課長	13	13.5	7	18.9
精神保健担当課長	4	4.2	0	0.0
保健師	55	57.3	25	67.6
助産師	4	4.2	4	10.8
看護師	0	0.0	2	5.4
産婦人科医	0	0.0	1	2.7
小児科医	1	1.0	1	2.7
精神科医	3	3.1	1	2.7
心理士	1	1.0	0	0.0
医療ソーシャルワーカー	12	12.5	0	0.0
その他	2	2.1	1	2.7
その他の手書きの場合	0	0.0	0	0.0



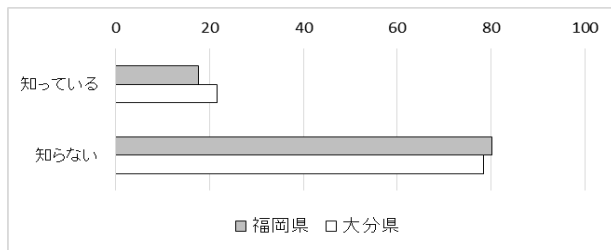
A3 コーディネーターに求められるスキルは？（妊娠期～乳児期） 1つ選択

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
コミュニケーション能力	75	78.1	25	67.6
リーダーシップ	16	16.7	4	10.8
行政施策に関する豊富な知識	38	39.6	16	43.2
医療や疾病に関する豊富な知識	40	41.7	24	64.9
各機関との豊富な人脈	41	42.7	13	35.1
行政/医療の最高責任者である事	1	1.0	0	0.0
親子関係に関する豊富な知識	47	49.0	21	56.8
その他	3	3.1	1	2.7
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



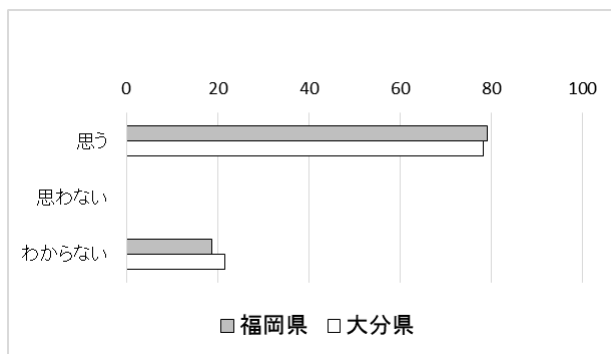
A4 子育て世代包括支援センターの設置は知っているか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	17	17.7	8	21.6
知らない	77	80.2	29	78.4



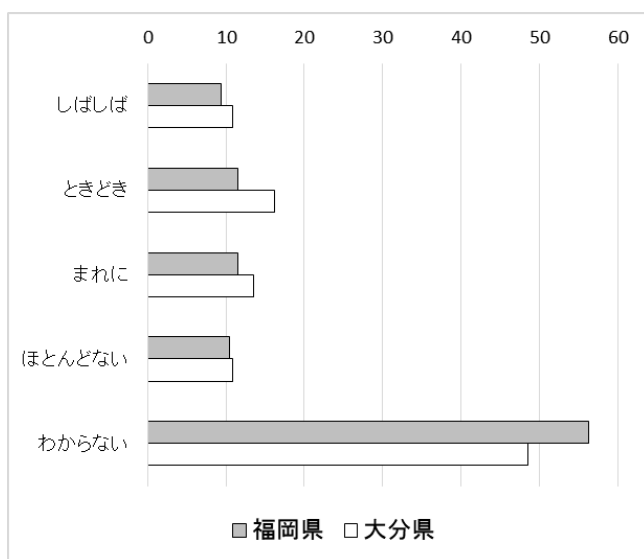
A5 子育て世代包括支援センターにコーディネーター配置は必要か？(妊娠期～乳児期)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	76	79.2	29	78.4
思わない	0	0.0	0	0.0
わからない	18	18.8	8	21.6



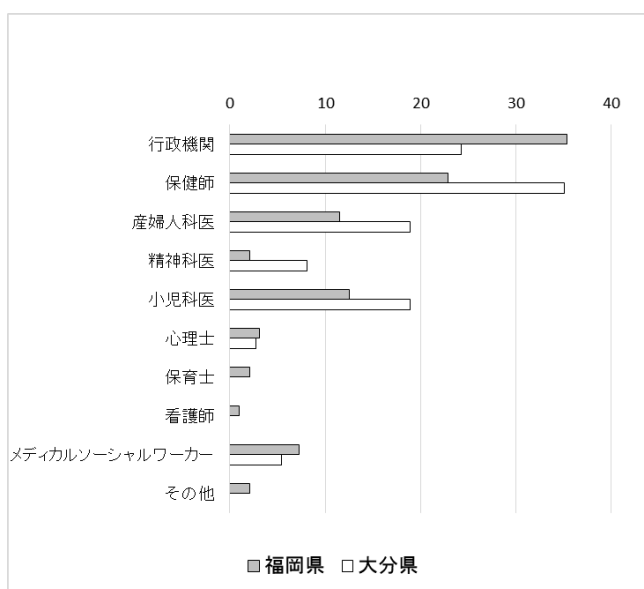
A6 多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施？(妊娠期～乳児期)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
しばしば	9	9.4	4	10.8
ときどき	11	11.5	6	16.2
まれに	11	11.5	5	13.5
ほとんどない	10	10.4	4	10.8
わからない	54	56.3	18	48.6



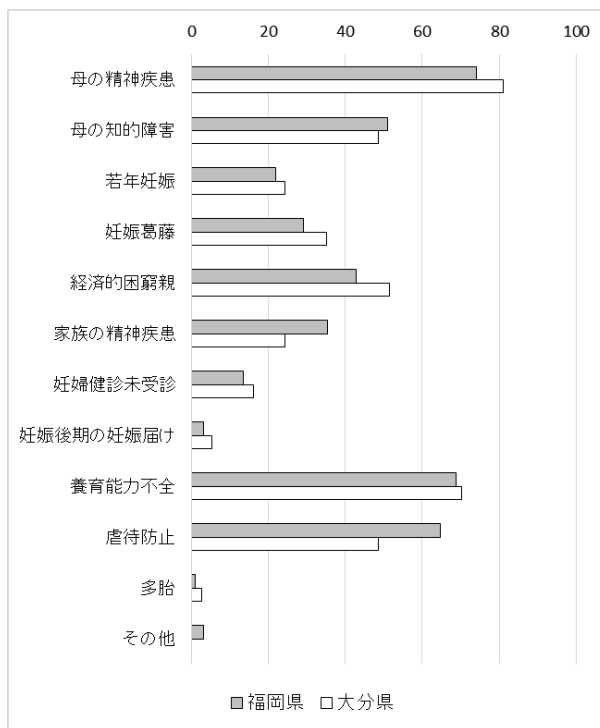
A7 多職種連携のため連携を強化したい機関/職種は？(妊娠期～乳児期) 1つ選択

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政機関	34	35.4	9	24.3
保健師	22	22.9	13	35.1
産婦人科医	11	11.5	7	18.9
精神科医	2	2.1	3	8.1
小児科医	12	12.5	7	18.9
心理士	3	3.1	1	2.7
保育士	2	2.1	0	0.0
看護師	1	1.0	0	0.0
メディカルソーシャルワーカー	7	7.3	2	5.4
その他	2	2.1	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



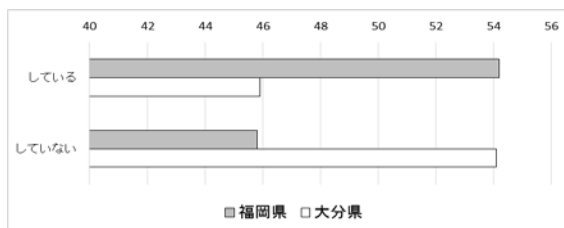
A8 連携が特に必要な理由は？（妊娠期～乳児期）（複数選択）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母の精神疾患	71	74.0	30	81.1
母の知的障害	49	51.0	18	48.6
若年妊娠	21	21.9	9	24.3
妊娠葛藤	28	29.2	13	35.1
経済的困窮親	41	42.7	19	51.4
家族の精神疾患	34	35.4	9	24.3
妊婦健診未受診	13	13.5	6	16.2
妊娠後期の妊娠届け	3	3.1	2	5.4
養育能力不全	66	68.8	26	70.3
虐待防止	62	64.6	18	48.6
多胎	1	1.0	1	2.7
その他	3	3.1	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



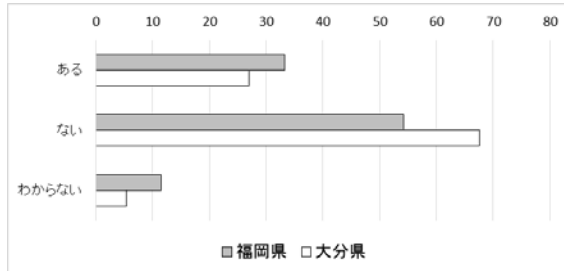
A9 産前産後メンタルヘルスの診療をされていますか？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
している	52	54.2	17	45.9
していない	44	45.8	20	54.1



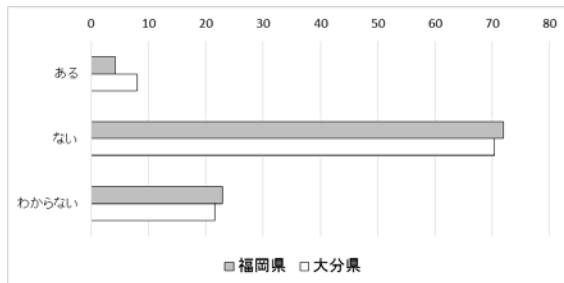
A10 特定妊婦に関する情報を行政機関と共有は？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	32	33.3	10	27.0
ない	52	54.2	25	67.6
わからない	11	11.5	2	5.4

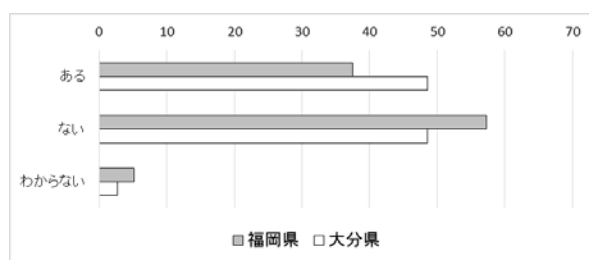


A11 行政機関と母子保健支援に関する連絡票は？

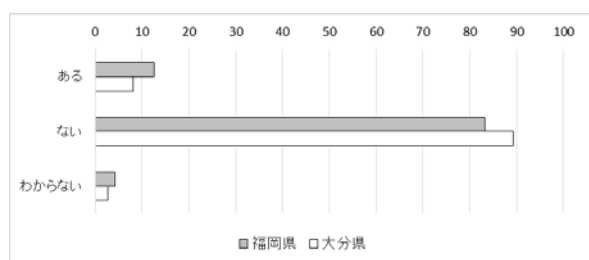
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	4	4.2	3	8.1
ない	69	71.9	26	70.3
わからない	22	22.9	8	21.6



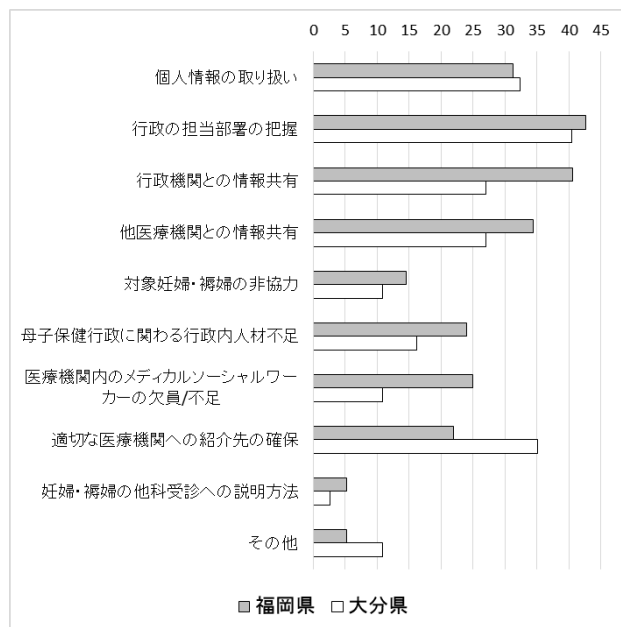
A14 特定妊婦情報、産科医療機関と共有は？				
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	36	37.5	18	48.6
ない	55	57.3	18	48.6
わからない	5	5.2	1	2.7



A15 特定妊婦情報、小児科医療機関と共有は？				
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
ある	12	12.5	3	8.1
ない	80	83.3	33	89.2
わからない	4	4.2	1	2.7

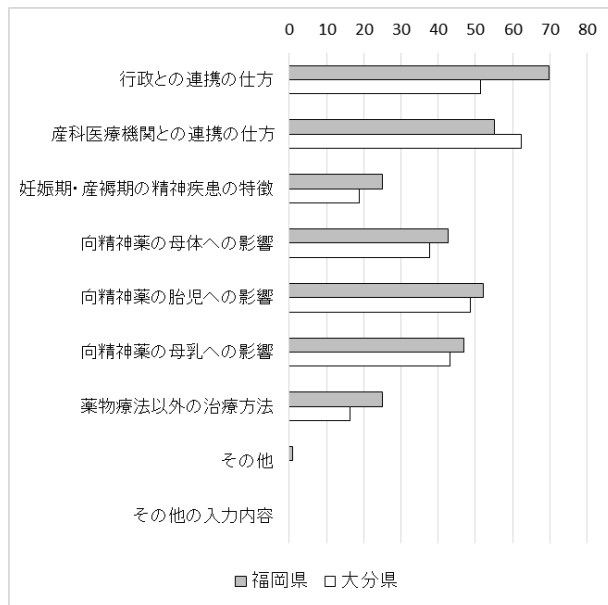


A16 行政機関・医療機関との連携のために困っておられることは？ (複数選択)				
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
個人情報の取り扱い	30	31.3	12	32.4
行政の担当部署の把握	41	42.7	15	40.5
行政機関との情報共有	39	40.6	10	27.0
他医療機関との情報共有	33	34.4	10	27.0
対象妊婦・褥婦の非協力	14	14.6	4	10.8
母子保健行政に関わる行政内人材不足	23	24.0	6	16.2
医療機関内のメディカルソーシャルワーカーの欠員/不足	24	25.0	4	10.8
適切な医療機関への紹介先の確保	21	21.9	13	35.1
妊婦・褥婦の他科受診への説明方法	5	5.2	1	2.7
その他	5	5.2	4	10.8
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



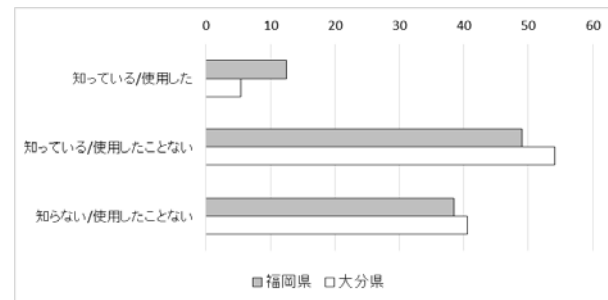
A17 周産期のメンタルヘルス診療で知っておきたいことは？（複数選択）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政との連携の仕方	67	69.8	19	51.4
産科医療機関との連携の仕方	53	55.2	23	62.2
妊娠期・産褥期の精神疾患の特徴	24	25.0	7	18.9
向精神薬の母体への影響	41	42.7	14	37.8
向精神薬の胎児への影響	50	52.1	18	48.6
向精神薬の母乳への影響	45	46.9	16	43.2
薬物療法以外の治療方法	24	25.0	6	16.2
その他	1	1.0	0	0.0
その他の入力内容	0	0.0	0	0.0



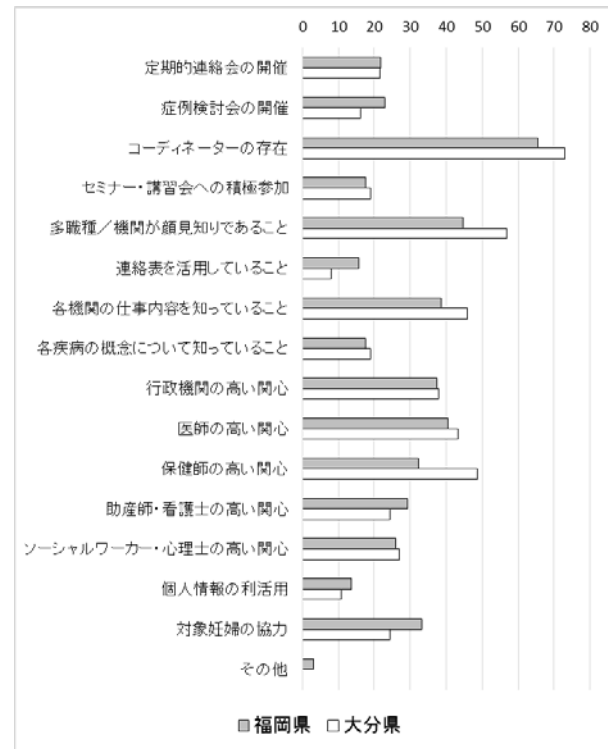
A18 エジンプラ産後うつ病自己尺度(EPDS)を知っている/使用した？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている/使用した	12	12.5	2	5.4
知っている/使用したことない	47	49.0	20	54.1
知らない/使用したことない	37	38.5	15	40.5



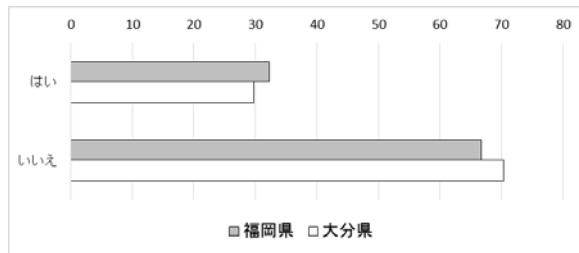
A19 多職種連携推進のため大切なことは？（妊娠期～乳児期）（複数選択）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
定期的連絡会の開催	21	21.9	8	21.6
症例検討会の開催	22	22.9	6	16.2
コーディネーターの存在	63	65.6	27	73.0
セミナー・講習会への積極参加	17	17.7	7	18.9
多職種/機関が顔見知りであること	43	44.8	21	56.8
連絡表を活用していること	15	15.6	3	8.1
各機関の仕事内容を知っていること	37	38.5	17	45.9
各疾病の概念について知っていること	17	17.7	7	18.9
行政機関の高い関心	36	37.5	14	37.8
医師の高い関心	39	40.6	16	43.2
保健師の高い関心	31	32.3	18	48.6
助産師・看護師の高い関心	28	29.2	9	24.3
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	25	26.0	10	27.0
個人情報の利活用	13	13.5	4	10.8
対象妊婦の協力	32	33.3	9	24.3
その他	3	3.1	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



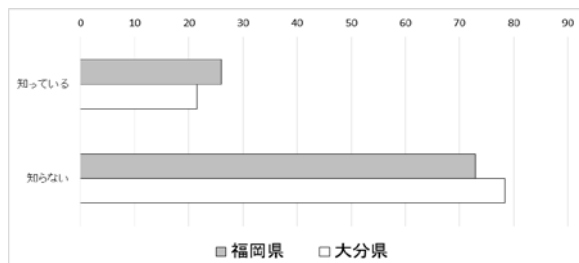
A20 児童福祉法が改正されたことは知っている？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
はい	31	32.3	11	29.7
いいえ	64	66.7	26	70.3



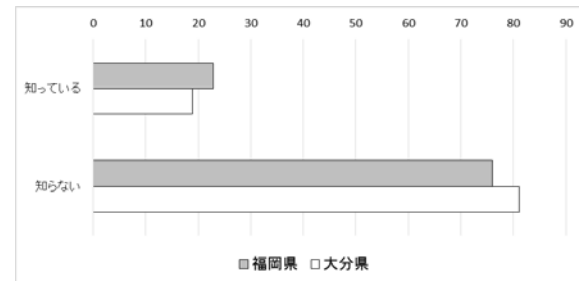
A21 児童福祉法に下記が明記されたことは知っている？
a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供しよう努めること

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	25	26.0	8	21.6
知らない	70	72.9	29	78.4



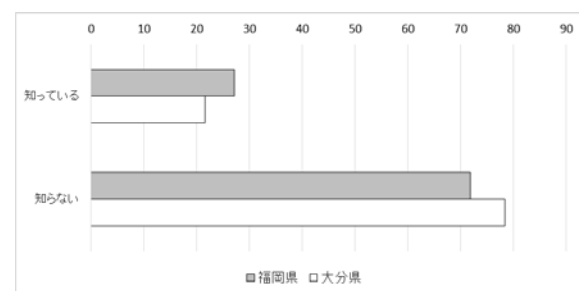
b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職を配備すること

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	22	22.9	7	18.9
知らない	73	76.0	30	81.1



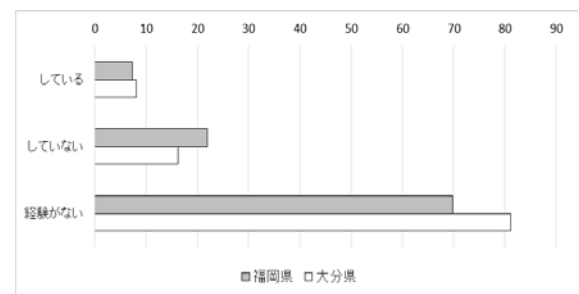
c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
知っている	26	27.1	8	21.6
知らない	69	71.9	29	78.4



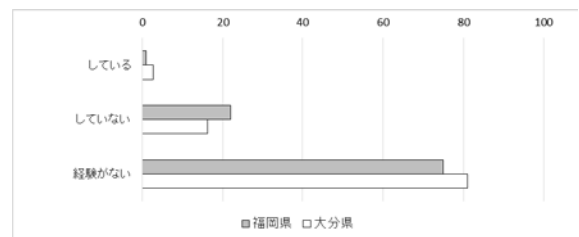
A22 児童虐待のハイリスク妊婦/褥婦に遭遇した場合の対応
a. 里親制度について母親に情報提供は？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
している	7	7.3	3	8.1
していない	21	21.9	6	16.2
経験がない	67	69.8	30	81.1



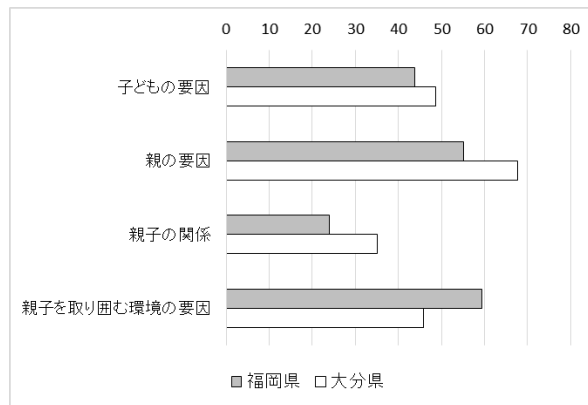
b. その場合、斡旋団体を紹介は？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
している	1	1.0	1	2.7
していない	21	21.9	6	16.2
経験がない	72	75.0	30	81.1



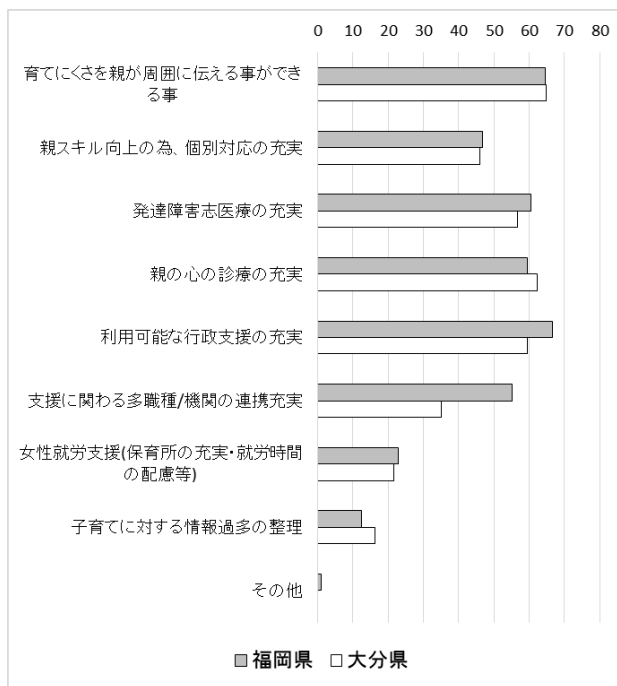
B1 「育てにくさ」の主な要因は？ (乳幼児期) 2つ選択

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
子どもの要因	42	43.8	18	48.6
親の要因	53	55.2	25	67.6
親子の関係	23	24.0	13	35.1
親子を取り囲む環境の要因	57	59.4	17	45.9



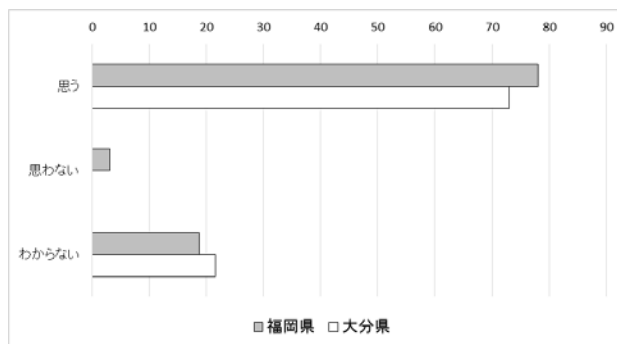
B2 「育てにくさ」の支援のため何が必要？ (乳幼児期) (複数選択)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
育てにくさを親が周囲に伝える事ができる事	62	64.6	24	64.9
親スキル向上の為、個別対応の充実	45	46.9	17	45.9
発達障害志医療の充実	58	60.4	21	56.8
親の心の診療の充実	57	59.4	23	62.2
利用可能な行政支援の充実	64	66.7	22	59.5
支援に関わる多職種/期間の連携充実	53	55.2	13	35.1
女性就労支援(保育所の充実・就労時間の配慮等)	22	22.9	8	21.6
子育てに対する情報過多の整理	12	12.5	6	16.2
その他	1	1.0	0	0.0
その他の入力内容	0	0.0	0	0.0



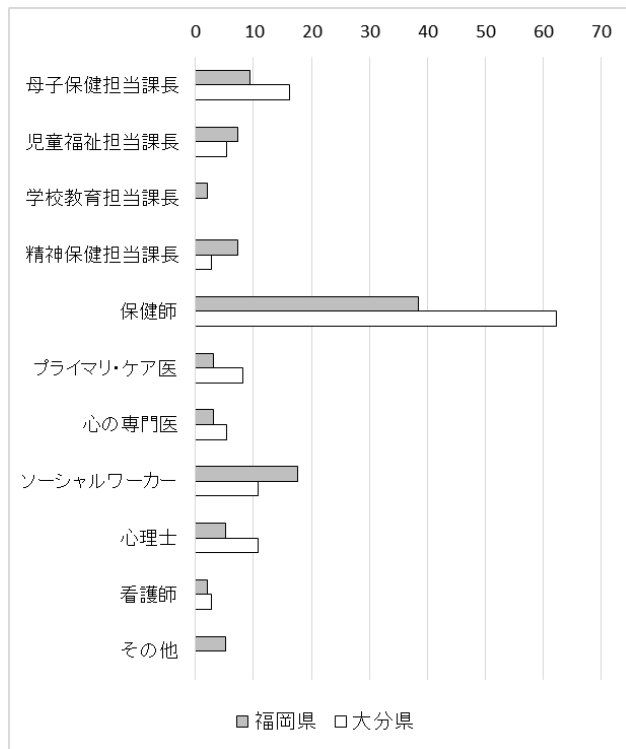
B3 育てにくさを感じる親子の心の診療に、市町村単位にコーディネーターが必要か？ (乳幼児期)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	75	78.1	27	73.0
思わない	3	3.1	0	0.0
わからない	18	18.8	8	21.6



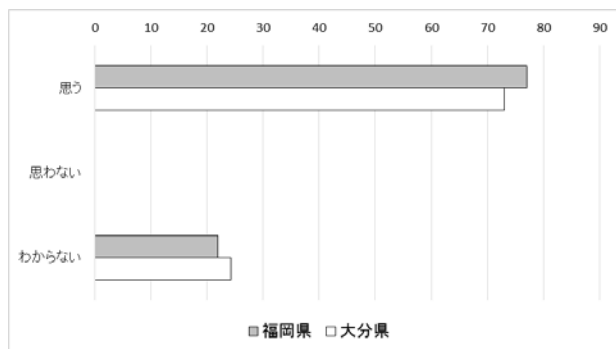
B4 コーディネーターは誰が適任か？（乳幼児期）（1つ選択）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母子保健担当課長	9	9.4	6	16.2
児童福祉担当課長	7	7.3	2	5.4
学校教育担当課長	2	2.1	0	0.0
精神保健担当課長	7	7.3	1	2.7
保健師	37	38.5	23	62.2
プライマリ・ケア医	3	3.1	3	8.1
心の専門医	3	3.1	2	5.4
ソーシャルワーカー	17	17.7	4	10.8
心理士	5	5.2	4	10.8
看護師	2	2.1	1	2.7
その他	5	5.2	0	0.0
その他の入力内容	0	0.0	0	0.0



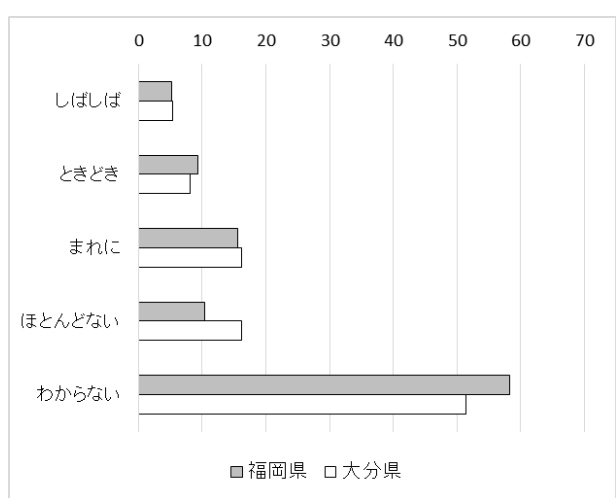
B5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置が必要？（乳幼児期）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	74	77.1	27	73.0
思わない	0	0.0	0	0.0
わからない	21	21.9	9	24.3



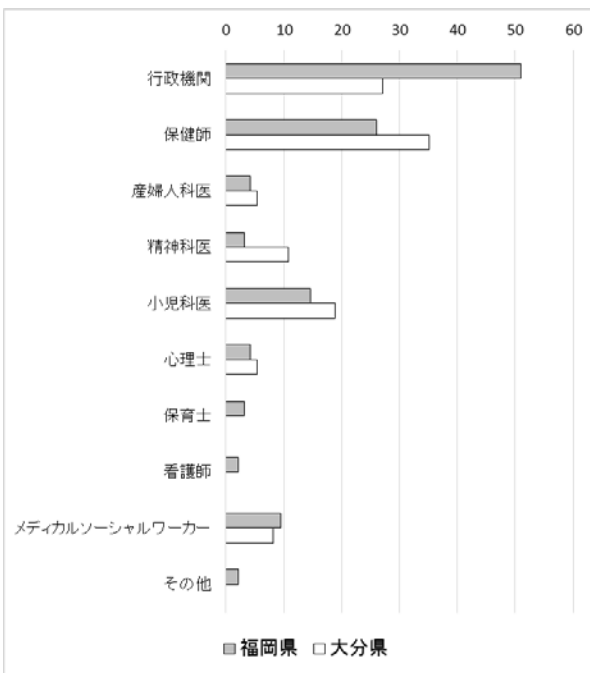
B6 多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施？（乳幼児期）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
しばしば	5	5.2	2	5.4
ときどき	9	9.4	3	8.1
まれに	15	15.6	6	16.2
ほとんどない	10	10.4	6	16.2
わからない	56	58.3	19	51.4



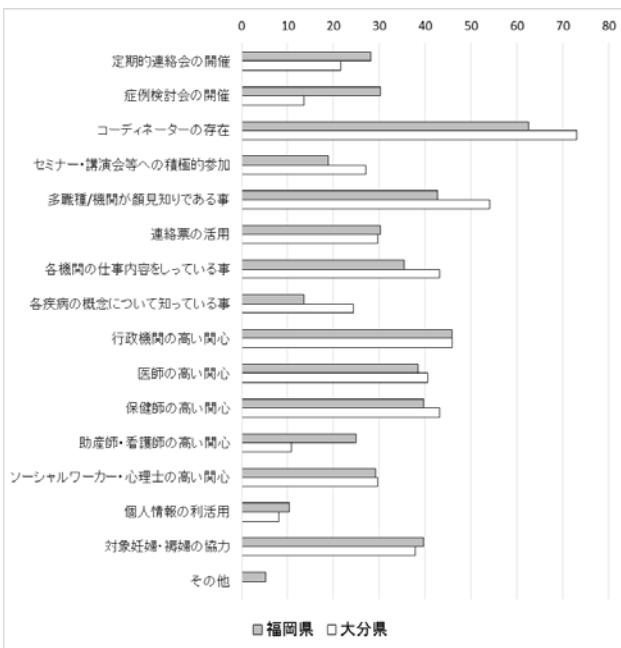
B7 多職種連携のため連携を強化したい機関/職種は？（乳幼児期）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政機関	49	51.0	10	27.0
保健師	25	26.0	13	35.1
産婦人科医	4	4.2	2	5.4
精神科医	3	3.1	4	10.8
小児科医	14	14.6	7	18.9
心理士	4	4.2	2	5.4
保育士	3	3.1	0	0.0
看護師	2	2.1	0	0.0
メディカルソーシャルワーカー	9	9.4	3	8.1
その他	2	2.1	0	0.0
その他の入力内容	0	0.0	0	0.0



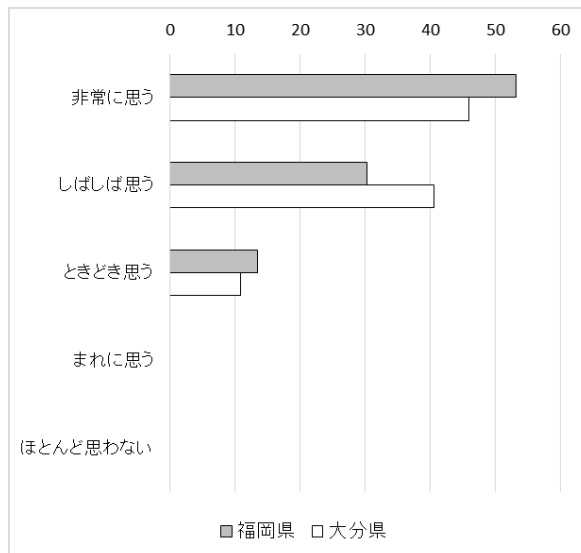
B8 多職種連携推進のため大切なことは？（乳幼児期）（複数選択）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
定期的連絡会の開催	27	28.1	8	21.6
症例検討会の開催	29	30.2	5	13.5
コーディネーターの存在	60	62.5	27	73.0
セミナー・講演会等への積極的参加	18	18.8	10	27.0
多職種/期間が顔見知りである事	41	42.7	20	54.1
連絡票の活用	29	30.2	11	29.7
各機関の仕事内容を知っている事	34	35.4	16	43.2
各疾病の概念について知っている事	13	13.5	9	24.3
行政機関の高い関心	44	45.8	17	45.9
医師の高い関心	37	38.5	15	40.5
保健師の高い関心	38	39.6	16	43.2
助産師・看護師の高い関心	24	25.0	4	10.8
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	28	29.2	11	29.7
個人情報の利活用	10	10.4	3	8.1
対象妊婦・褥婦の協力	38	39.6	14	37.8
その他	5	5.2	0	0.0
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



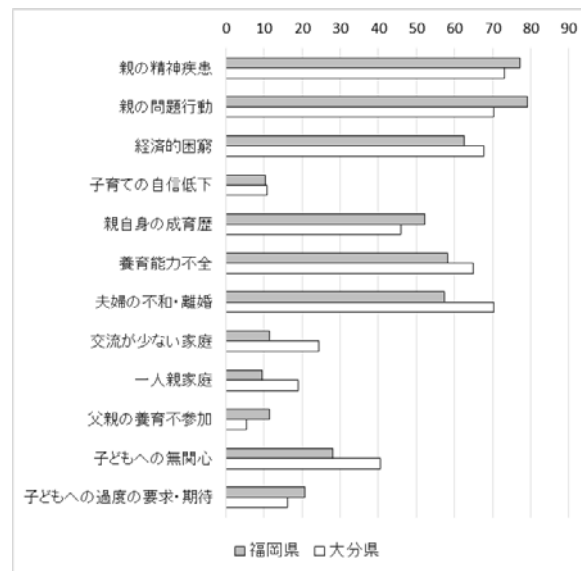
C1 子どもの心の問題は、親の心の問題が関係？（学童～思春期）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
非常に思う	51	53.1	17	45.9
しばしば思う	29	30.2	15	40.5
ときどき思う	13	13.5	4	10.8
まれに思う	0	0.0	0	0.0
ほとんど思わない	0	0.0	0	0.0



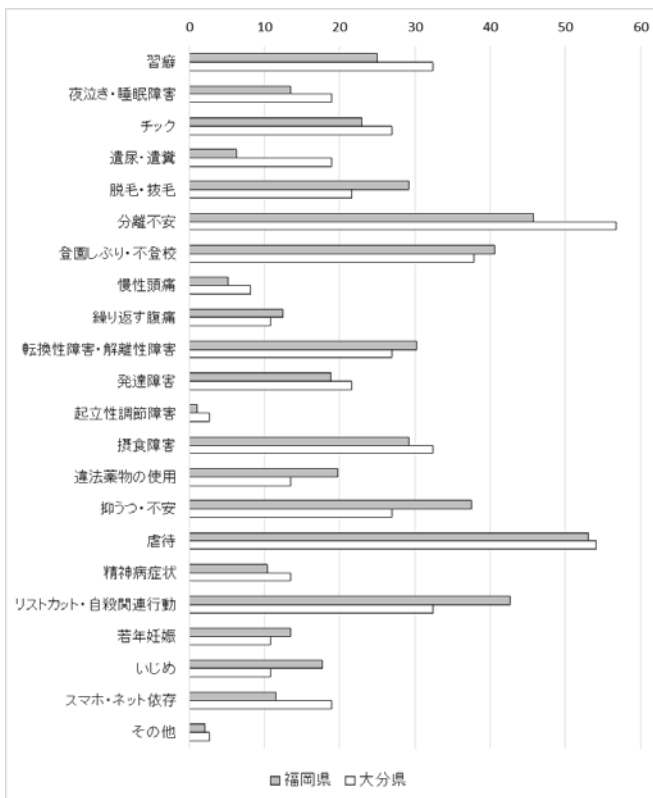
C2 親の心の問題、その問題の背景は？（学童～思春期）（5つ選択）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
親の精神疾患	74	77.1	27	73.0
親の問題行動	76	79.2	26	70.3
経済的困窮	60	62.5	25	67.6
子育ての自信低下	10	10.4	4	10.8
親自身の成育歴	50	52.1	17	45.9
養育能力不全	56	58.3	24	64.9
夫婦の不和・離婚	55	57.3	26	70.3
交流が少ない家庭	11	11.5	9	24.3
一人親家庭	9	9.4	7	18.9
父親の養育不参加	11	11.5	2	5.4
子どもへの無関心	27	28.1	15	40.5
子どもへの過度の要求・期待	20	20.8	6	16.2



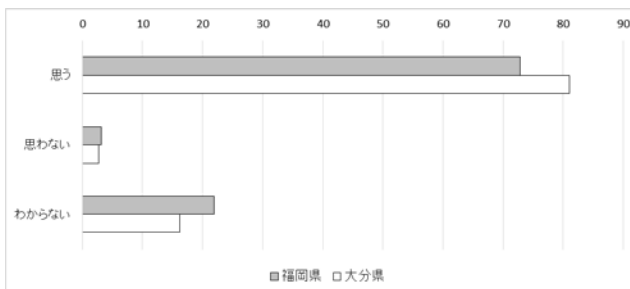
C3 家族の心の問題の関与が強い疾患は？

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
習癖	24	25.0	12	32.4
夜泣き・睡眠障害	13	13.5	7	18.9
チック	22	22.9	10	27.0
遺尿・遺糞	6	6.3	7	18.9
脱毛・抜毛	28	29.2	8	21.6
分離不安	44	45.8	21	56.8
登園しぶり・不登校	39	40.6	14	37.8
慢性頭痛	5	5.2	3	8.1
繰り返す腹痛	12	12.5	4	10.8
転換性障害・解離性障害	29	30.2	10	27.0
発達障害	18	18.8	8	21.6
起立性調節障害	1	1.0	1	2.7
摂食障害	28	29.2	12	32.4
違法薬物の使用	19	19.8	5	13.5
抑うつ・不安	36	37.5	10	27.0
虐待	51	53.1	20	54.1
精神病症状	10	10.4	5	13.5
リストカット・自殺関連行動	41	42.7	12	32.4
若年妊娠	13	13.5	4	10.8
いじめ	17	17.7	4	10.8
スマホ・ネット依存	11	11.5	7	18.9
その他	2	2.1	1	2.7
その他の場合の入力内容	0	0.0	0	0.0



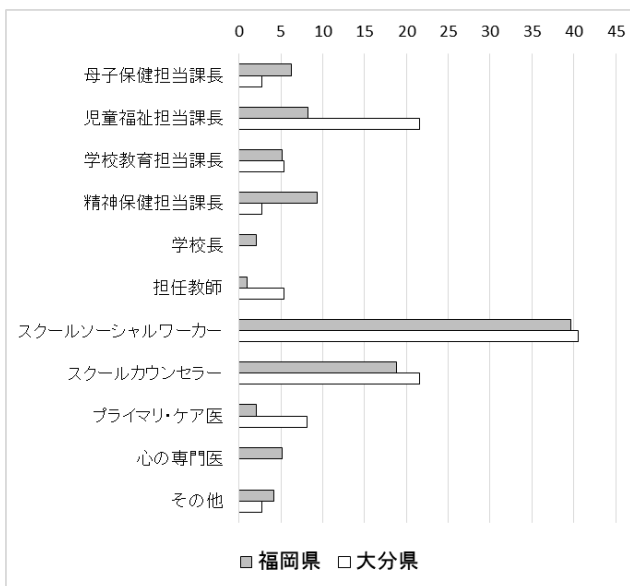
C4 親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要か？ (学童～思春期)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	70	72.9	30	81.1
思わない	3	3.1	1	2.7
わからない	21	21.9	6	16.2



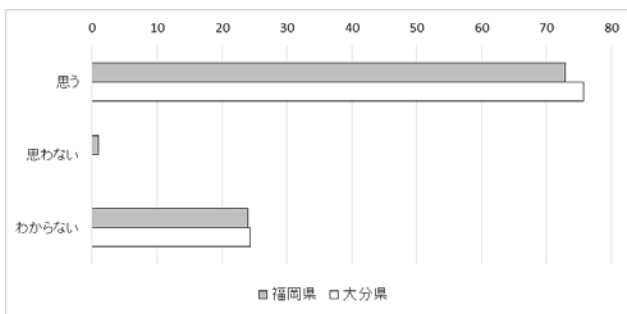
C5 コーディネーターとして誰が適任か？ (学童～思春期)

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
母子保健担当課長	6	6.3	1	2.7
児童福祉担当課長	8	8.3	8	21.6
学校教育担当課長	5	5.2	2	5.4
精神保健担当課長	9	9.4	1	2.7
学校長	2	2.1	0	0.0
担任教師	1	1.0	2	5.4
スクールソーシャルワーカー	38	39.6	15	40.5
スクールカウンセラー	18	18.8	8	21.6
プライマリ・ケア医	2	2.1	3	8.1
心の専門医	5	5.2	0	0.0
その他	4	4.2	1	2.7
その他の入力内容	0	0.0	0	0.0



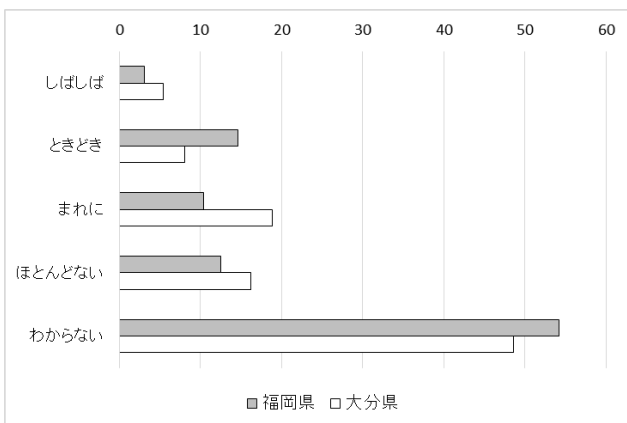
C6 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置は必要？（学童～思春期）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
思う	70	72.9	28	75.7
思わない	1	1.0	0	0.0
わからない	23	24.0	9	24.3



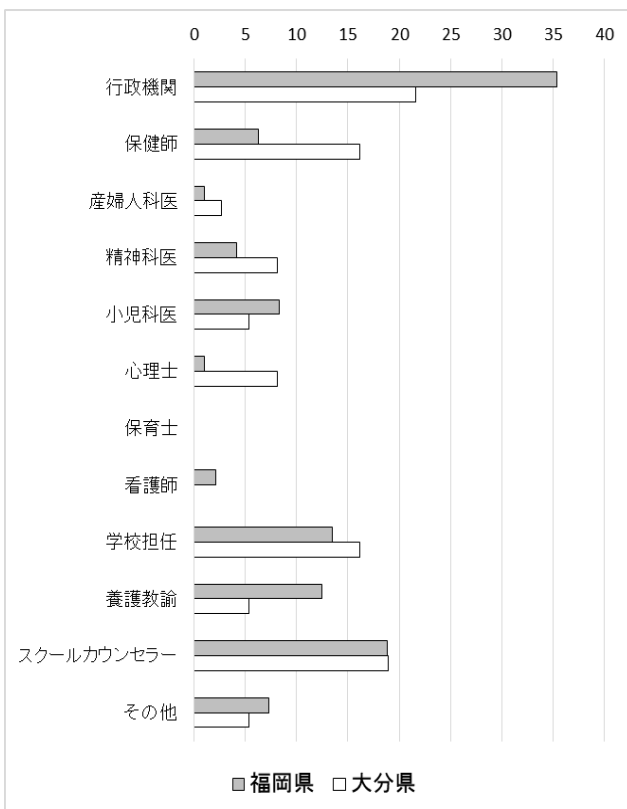
C7 多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施？（学童～思春期）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
しばしば	3	3.1	2	5.4
ときどき	14	14.6	3	8.1
まれに	10	10.4	7	18.9
ほとんどない	12	12.5	6	16.2
わからない	52	54.2	18	48.6



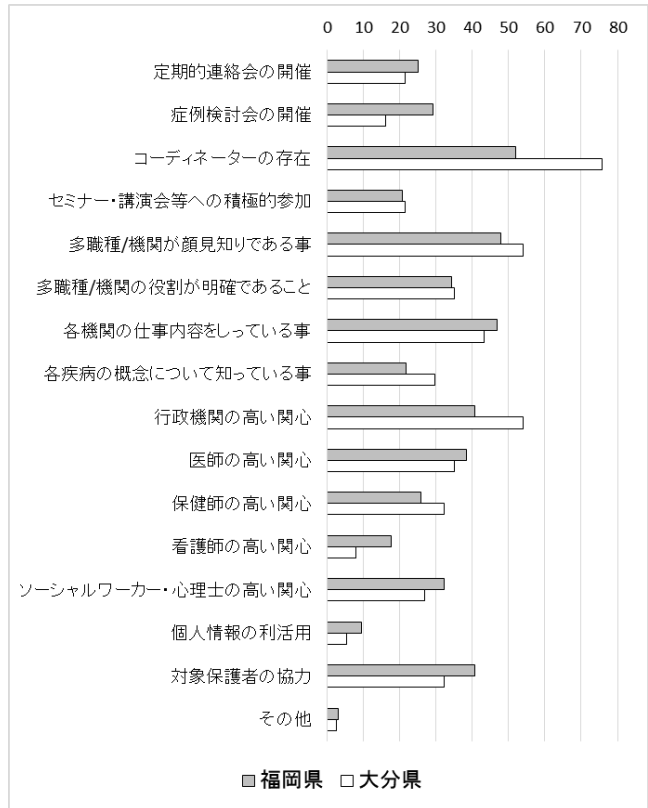
C8 多職種連携のため連携を強化したい機関／職種は？（学童～思春期）

	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
行政機関	34	35.4	8	21.6
保健師	6	6.3	6	16.2
産婦人科医	1	1.0	1	2.7
精神科医	4	4.2	3	8.1
小児科医	8	8.3	2	5.4
心理士	1	1.0	3	8.1
保育士	0	0.0	0	0.0
看護師	2	2.1	0	0.0
学校担任	13	13.5	6	16.2
養護教諭	12	12.5	2	5.4
スクールカウンセラー	18	18.8	7	18.9
その他	7	7.3	2	5.4
その他の入力内容	0	0.0	0	0.0



C9 職種連携推進のため大切なことは？（学童～思春期）（複数選択）

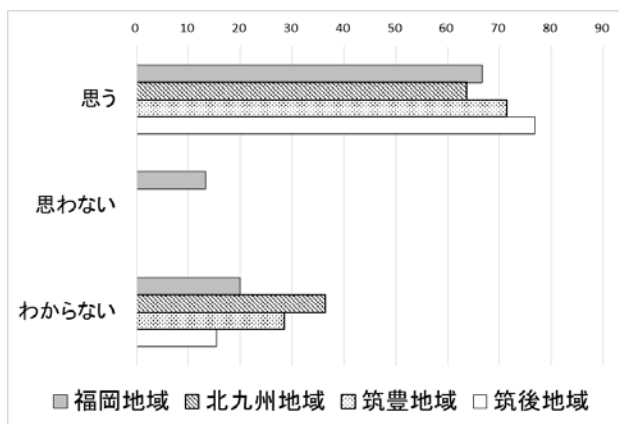
	福岡県		大分県	
	件数	率 (%)	件数	率 (%)
定期的連絡会の開催	24	25.0	8	21.6
症例検討会の開催	28	29.2	6	16.2
コーディネーターの存在	50	52.1	28	75.7
セミナー・講演会等への積極的参加	20	20.8	8	21.6
多職種/機関が顔見知りである事	46	47.9	20	54.1
多職種/機関の役割が明確であること	33	34.4	13	35.1
各機関の仕事内容を知っている事	45	46.9	16	43.2
各疾病の概念について知っている事	21	21.9	11	29.7
行政機関の高い関心	39	40.6	20	54.1
医師の高い関心	37	38.5	13	35.1
保健師の高い関心	25	26.0	12	32.4
看護師の高い関心	17	17.7	3	8.1
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	31	32.3	10	27.0
個人情報の利活用	9	9.4	2	5.4
対象保護者の協力	39	40.6	12	32.4
その他	3	3.1	1	2.7
その他の場合の入力内容				



A1 妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
思う	66.7	63.6	71.4	76.9
思わない	13.3	0.0	0.0	0.0
わからない	20.0	36.4	28.6	15.4

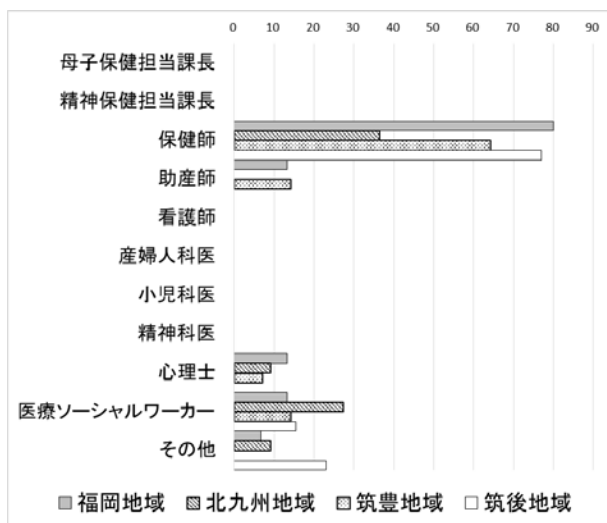
値は%を示す



A2 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
母子保健担当課長	0.0	0.0	0.0	0.0
精神保健担当課長	0.0	0.0	0.0	0.0
保健師	80.0	36.4	64.3	76.9
助産師	13.3	0.0	14.3	0.0
看護師	0.0	0.0	0.0	0.0
産婦人科医	0.0	0.0	0.0	0.0
小児科医	0.0	0.0	0.0	0.0
精神科医	0.0	0.0	0.0	0.0
心理士	13.3	9.1	7.1	0.0
医療ソーシャルワーカー	13.3	27.3	14.3	15.4
その他	6.7	9.1	0.0	23.1

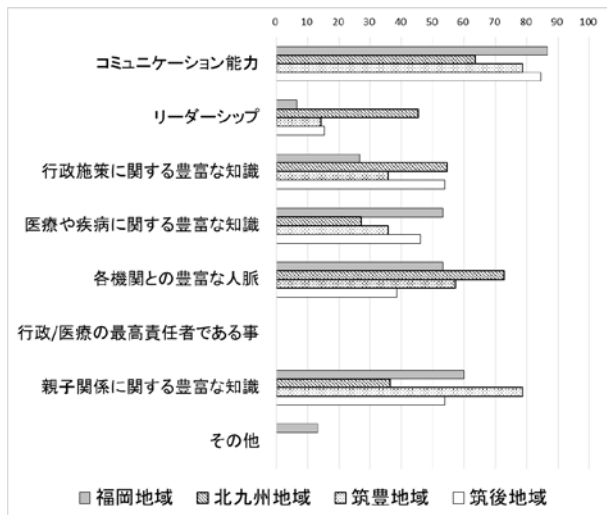
値は%を示す



A3 コーディネーターに求められるスキルは何でしょうか？ 3つ選んでください。

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
コミュニケーション能力	86.7	63.6	78.6	84.6
リーダーシップ	6.7	45.5	14.3	15.4
行政施策に関する豊富な知識	26.7	54.5	35.7	53.8
医療や疾病に関する豊富な知識	53.3	27.3	35.7	46.2
各機関との豊富な人脈	53.3	72.7	57.1	38.5
行政/医療の最高責任者である事	0.0	0.0	0.0	0.0
親子関係に関する豊富な知識	60.0	36.4	78.6	53.8
その他	13.3	0.0	0.0	0.0
その他の場合の入力内容	0.0	0.0	0.0	0.0

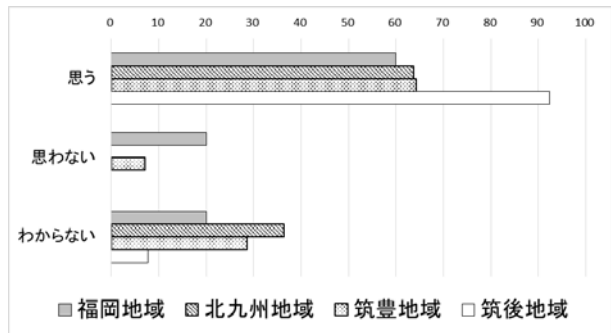
値は%を示す



A4 コーディネーターを、将来（現在）設置される（されている）「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
思う	60.0	63.6	64.3	92.3
思わない	20.0	0.0	7.1	0.0
わからない	20.0	36.4	28.6	7.7

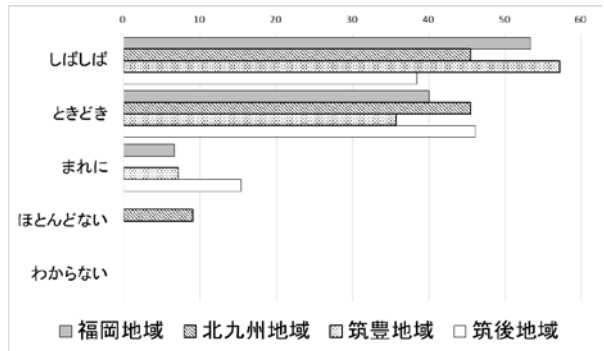
値は%を示す



A5 妊娠から乳児期の様々な課題に対する多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
しばしば	53.3	45.5	57.1	38.5
ときどき	40.0	45.5	35.7	46.2
まれに	6.7	0.0	7.1	15.4
ほとんどない	0.0	9.1	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0

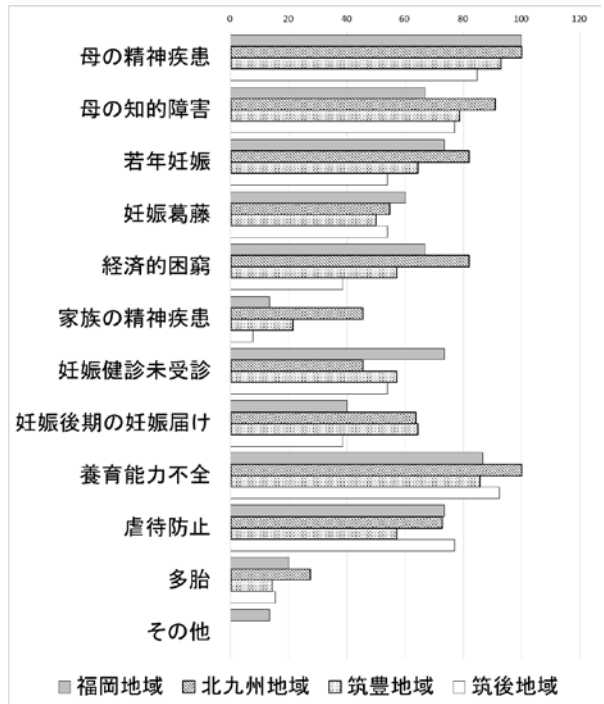
値は%を示す



A6 連携が特に必要と思われる主な理由は何ですか？（複数回答可）

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
母の精神疾患	100.0	100.0	92.9	84.6
母の知的障害	66.7	90.9	78.6	76.9
若年妊娠	73.3	81.8	64.3	53.8
妊娠葛藤	60.0	54.5	50.0	53.8
経済的困窮	66.7	81.8	57.1	38.5
家族の精神疾患	13.3	45.5	21.4	7.7
妊娠健診未受診	73.3	45.5	57.1	53.8
妊娠後期の妊娠届け	40.0	63.6	64.3	38.5
養育能力不全	86.7	100.0	85.7	92.3
虐待防止	73.3	72.7	57.1	76.9
多胎	20.0	27.3	14.3	15.4

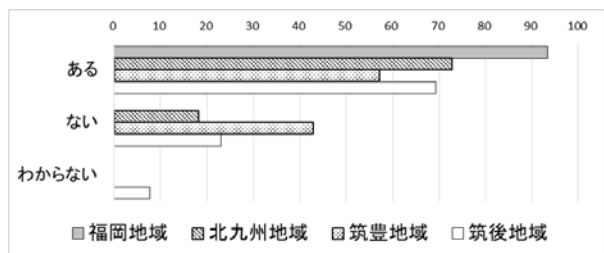
値は%を示す



A7 特定妊婦が転居するときに、市町村単位で情報を共有、申し送りするシステムはありますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
ある	93.3	72.7	57.1	69.2
ない	0.0	18.2	42.9	23.1
わからない	0.0	0.0	0.0	7.7

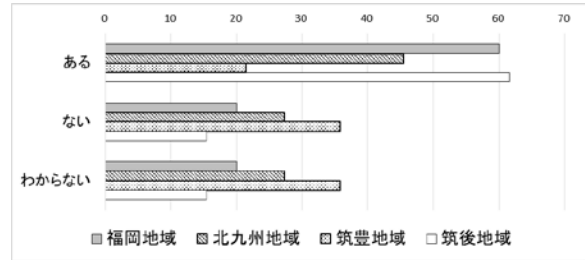
値は%を示す



A8 地域の中で周産期のメンタルヘルスの問題（妊婦の精神疾患等）を診ている精神科はありますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
ある	60.0	45.5	21.4	61.5
ない	20.0	27.3	35.7	15.4
わからない	20.0	27.3	35.7	15.4

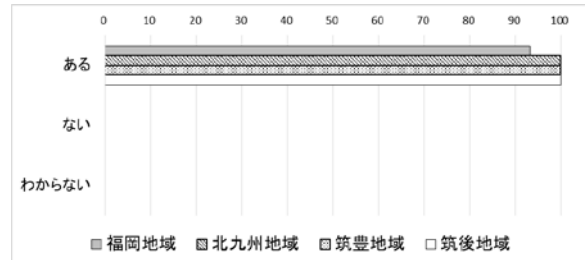
値は%を示す



A9 特定妊婦の情報を何らかの形で、産科医療機関と共有したことはありますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
ある	93.3	100.0	100.0	100.0
ない	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0

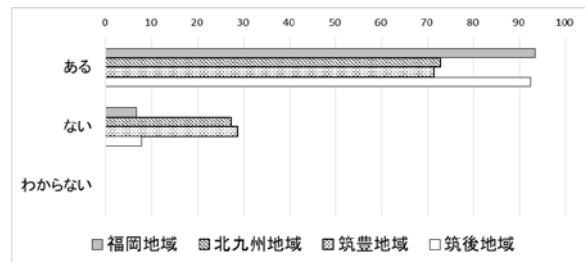
値は%を示す



A10 産科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
ある	93.3	72.7	71.4	92.3
ない	6.7	27.3	28.6	7.7
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0

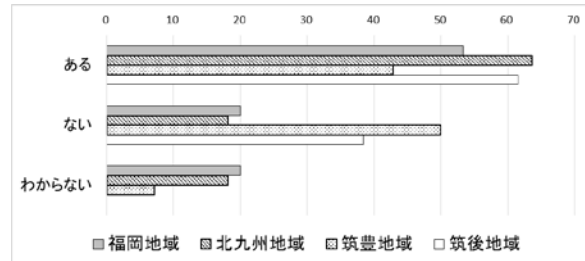
値は%を示す



A13 妊婦の情報を何らかの形で、精神科医療機関と共有したことはありますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
ある	53.3	63.6	42.9	61.5
ない	20.0	18.2	50.0	38.5
わからない	20.0	18.2	7.1	0.0

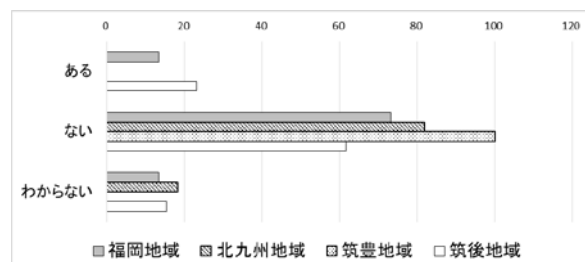
値は%を示す



A14 精神科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
ある	13.3	0.0	0.0	23.1
ない	73.3	81.8	100.0	61.5
わからない	13.3	18.2	0.0	15.4

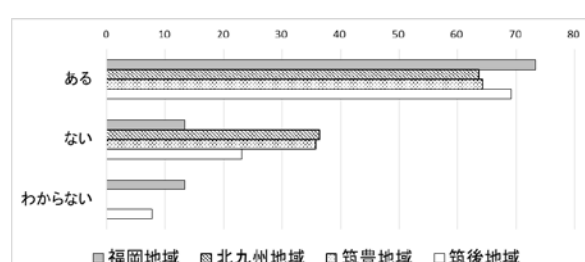
値は%を示す



A17 特定妊婦から出生した子どもに関する情報を、何らかの形で小児科医療機関と共有したことはありますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
ある	73.3	63.6	64.3	69.2
ない	13.3	36.4	35.7	23.1
わからない	13.3	0.0	0.0	7.7

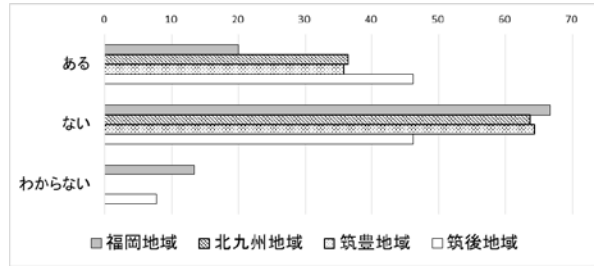
値は%を示す



A18 小児科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
ある	20.0	36.4	35.7	46.2
ない	66.7	63.6	64.3	46.2
わからない	13.3	0.0	0.0	7.7

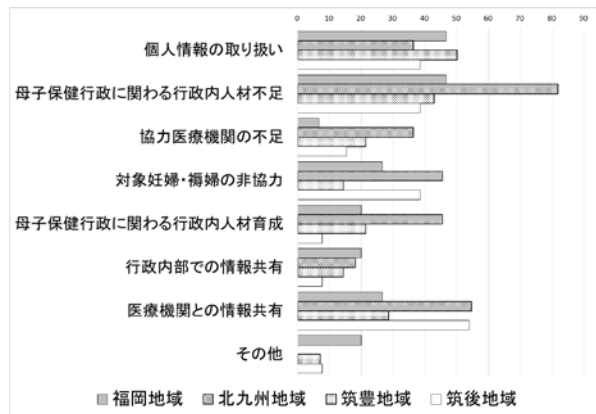
値は%を示す



A21 各医療機関との連携のために困っておられることは何ですか？（複数回答可）

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
個人情報の取り扱い	46.7	36.4	50.0	38.5
母子保健行政に関わる行政内人材不足	46.7	81.8	42.9	38.5
協力医療機関の不足	6.7	36.4	21.4	15.4
対象妊婦・褥婦の非協力	26.7	45.5	14.3	38.5
母子保健行政に関わる行政内人材育成	20.0	45.5	21.4	7.7
行政内部での情報共有	20.0	18.2	14.3	7.7
医療機関との情報共有	26.7	54.5	28.6	53.8
その他	20.0	0.0	7.1	7.7

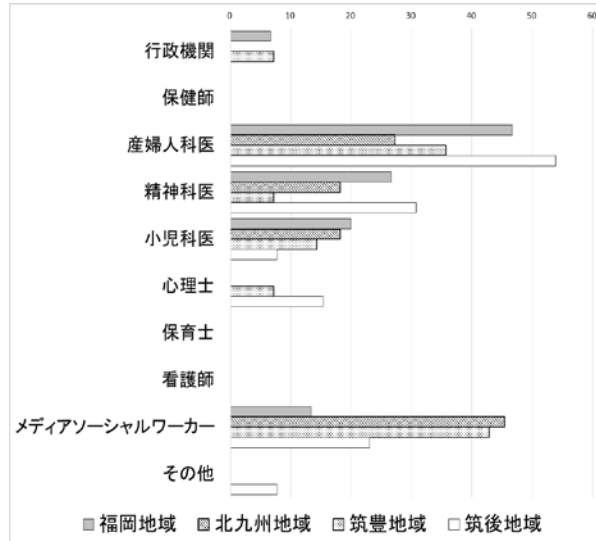
値は%を示す



A22 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
行政機関	6.7	0.0	7.1	0.0
保健師	0.0	0.0	0.0	0.0
産婦人科医	46.7	27.3	35.7	53.8
精神科医	26.7	18.2	7.1	30.8
小児科医	20.0	18.2	14.3	7.7
心理士	0.0	0.0	7.1	15.4
保育士	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	0.0	0.0	0.0	0.0
メディアソーシャルワーカー	13.3	45.5	42.9	23.1
その他	0.0	0.0	0.0	7.7

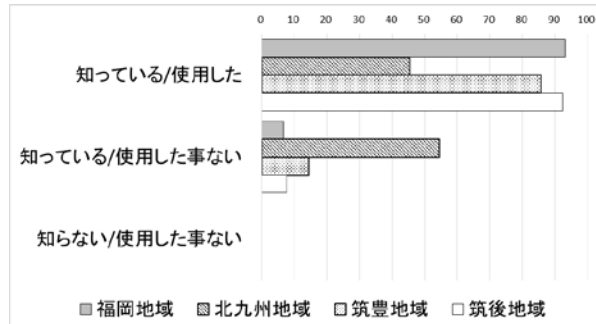
値は%を示す



A23 エジンバラ産後うつ病自己尺度(Edinburgh Postnatal Depression Scale; EPDS)をご存知ですか/ご使用されたことありますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
知っている/使用した	93.3	45.5	85.7	92.3
知っている/使用した事ない	6.7	54.5	14.3	7.7
知らない/使用した事ない	0.0	0.0	0.0	0.0

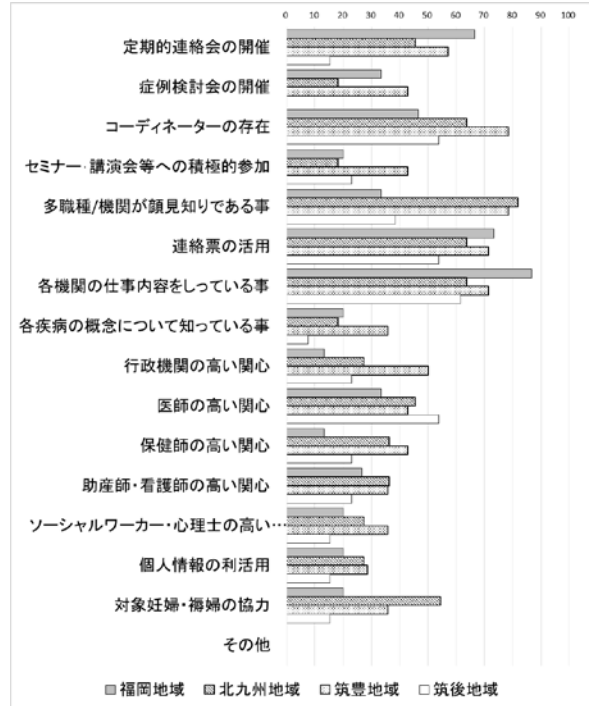
値は%を示す



A24 妊娠前から乳児期の親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなに
 でしょうか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
定期的連絡会の開催	66.7	45.5	57.1	15.4
症例検討会の開催	33.3	18.2	42.9	0.0
コーディネーターの存在	46.7	63.6	78.6	53.8
セミナー・講演会等への積極的参加	20.0	18.2	42.9	23.1
多職種/機関が顔見知りである事	33.3	81.8	78.6	38.5
連絡票の活用	73.3	63.6	71.4	53.8
各機関の仕事内容をしている事	86.7	63.6	71.4	61.5
各疾病の概念について知っている事	20.0	18.2	35.7	7.7
行政機関の高い関心	13.3	27.3	50.0	23.1
医師の高い関心	33.3	45.5	42.9	53.8
保健師の高い関心	13.3	36.4	42.9	23.1
助産師・看護師の高い関心	26.7	36.4	35.7	23.1
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	20.0	27.3	35.7	15.4
個人情報の利活用	20.0	27.3	28.6	15.4
対象妊婦・産婦の協力	20.0	54.5	35.7	15.4
その他	0.0	0.0	0.0	0.0

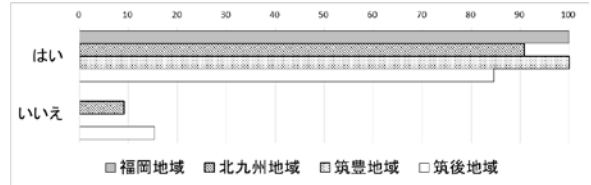
値は%を示す



A25 平成28年～29年にかけて一部、児童福祉法が改正されたことはご存知ですか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
はい	100.0	90.9	100.0	84.6
いいえ	0.0	9.1	0.0	15.4

値は%を示す

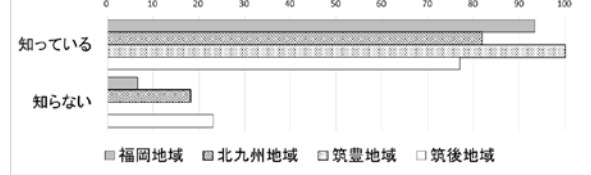


A26 改正された児童福祉法に下記内容が明記されたことはご存知ですか？

a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供するよう努めること

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
知っている	93.3	81.8	100.0	76.9
知らない	6.7	18.2	0.0	23.1

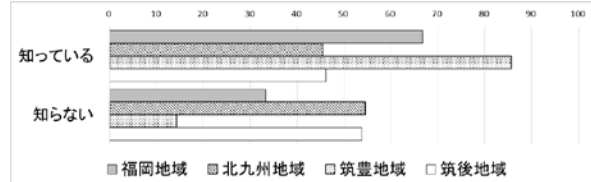
値は%を示す



b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職を配備すること

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
知っている	66.7	45.5	85.7	46.2
知らない	33.3	54.5	14.3	53.8

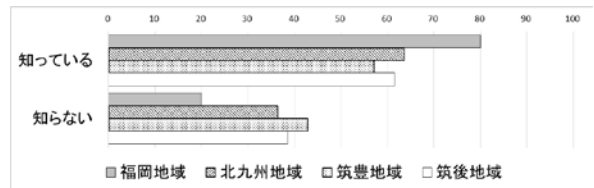
値は%を示す



c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
知っている	80.0	63.6	57.1	61.5
知らない	20.0	36.4	42.9	38.5

値は%を示す

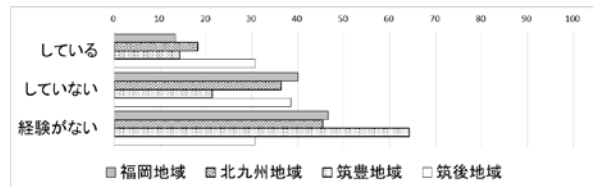


A27 児童虐待のハイリスク妊婦/褥婦に遭遇した場合の対応についてお聞きします。

a. 里親制度について母親に情報提供していますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
している	13.3	18.2	14.3	30.8
していない	40.0	36.4	21.4	38.5
経験がない	46.7	45.5	64.3	30.8

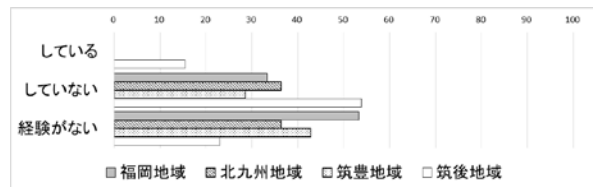
値は%を示す



b. その場合、斡旋団体を紹介していますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
している	0.0	0.0	0.0	15.4
していない	33.3	36.4	28.6	53.8
経験がない	53.3	36.4	42.9	23.1

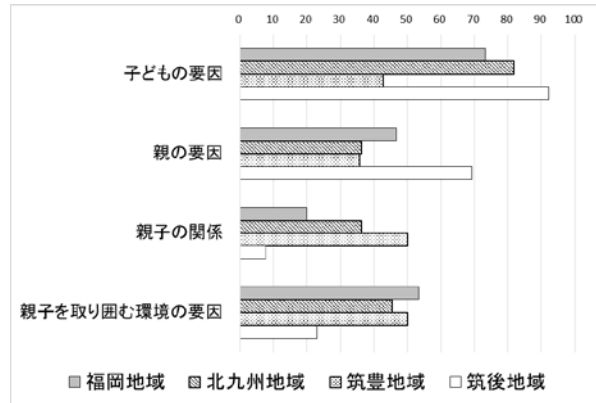
値は%を示す



B1 保護者が感じる「育てにくさ」の主な要因は以下のどれだと思われるか？ 2つ選んでください。

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
子どもの要因	73.3	81.8	42.9	92.3
親の要因	46.7	36.4	35.7	69.2
親子の関係	20.0	36.4	50.0	7.7
親子を取り囲む環境の要因	53.3	45.5	50.0	23.1

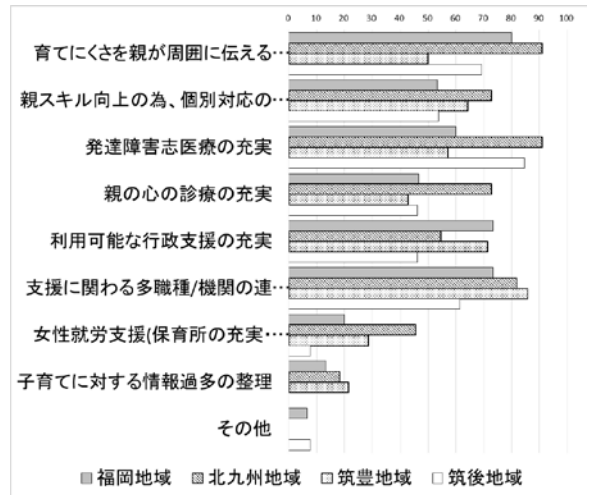
値は%を示す



B2 「育てにくさ」を支援するために何が必要と思われるか？（複数回答可）

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
育てにくさを親が周囲に伝える事ができる事	80.0	90.9	50.0	69.2
親スキル向上の為、個別対応の充実	53.3	72.7	64.3	53.8
発達障害志医療の充実	60.0	90.9	57.1	84.6
親の心の診療の充実	46.7	72.7	42.9	46.2
利用可能な行政支援の充実	73.3	54.5	71.4	46.2
支援に関わる多職種/機関の連携充実	73.3	81.8	85.7	61.5
女性就労支援(保育所の充実・就労時間の配慮等)	20.0	45.5	28.6	7.7
子育てに対する情報過多の整理	13.3	18.2	21.4	0.0
その他	6.7	0.0	0.0	7.7

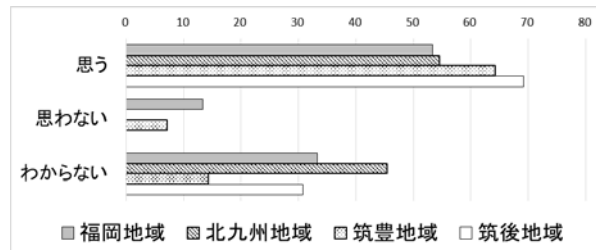
値は%を示す



B3 育てにくさを感じる親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要と思いますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
思う	53.3	54.5	64.3	69.2
思わない	13.3	0.0	7.1	0.0
わからない	33.3	45.5	14.3	30.8

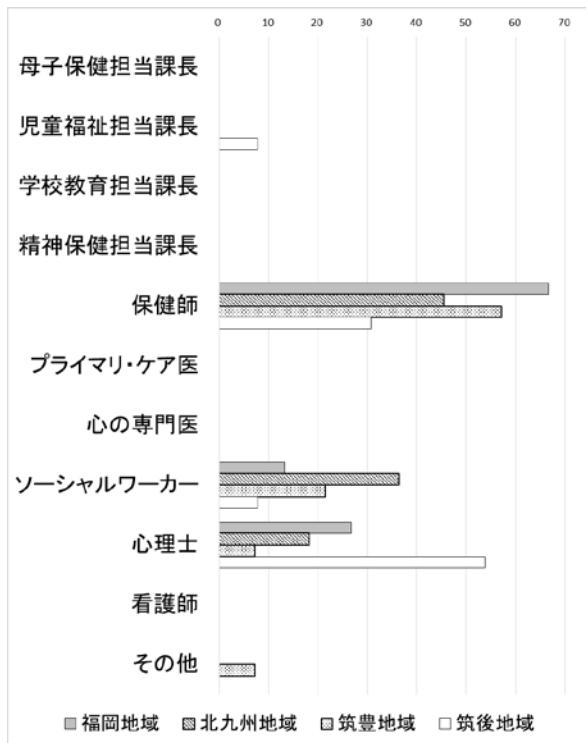
値は%を示す



B4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
母子保健担当課長	0.0	0.0	0.0	0.0
児童福祉担当課長	0.0	0.0	0.0	7.7
学校教育担当課長	0.0	0.0	0.0	0.0
精神保健担当課長	0.0	0.0	0.0	0.0
保健師	66.7	45.5	57.1	30.8
プライマリ・ケア医	0.0	0.0	0.0	0.0
心の専門医	0.0	0.0	0.0	0.0
ソーシャルワーカー	13.3	36.4	21.4	7.7
心理士	26.7	18.2	7.1	53.8
看護師	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	7.1	0.0

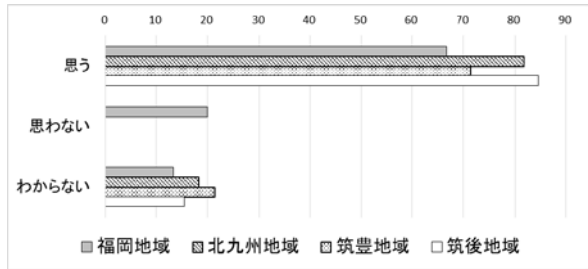
値は%を示す



B5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
思う	66.7	81.8	71.4	84.6
思わない	20.0	0.0	0.0	0.0
わからない	13.3	18.2	21.4	15.4

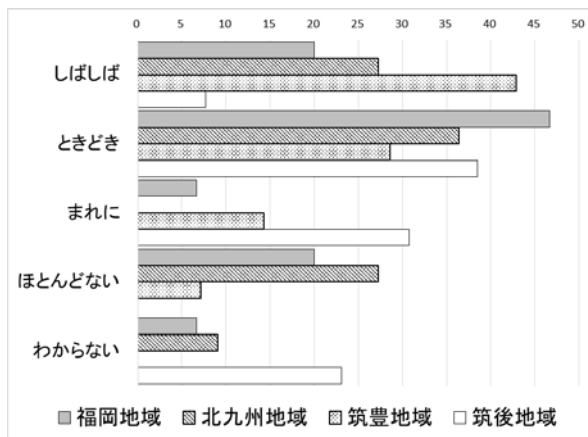
値は%を示す



B6 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
しばしば	20.0	27.3	42.9	7.7
ときどき	46.7	36.4	28.6	38.5
まれに	6.7	0.0	14.3	30.8
ほとんどない	20.0	27.3	7.1	0.0
わからない	6.7	9.1	0.0	23.1

値は%を示す



B7 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
行政機関	6.7	0.0	7.1	7.7
保健師	0.0	0.0	0.0	0.0
産婦人科医	0.0	0.0	0.0	0.0
精神科医	33.3	9.1	14.3	38.5
小児科医	20.0	27.3	28.6	23.1
心理士	26.7	18.2	35.7	46.2
保育士	0.0	27.3	7.1	0.0
看護師	0.0	0.0	0.0	0.0
メディカルソーシャルワーカー	20.0	18.2	21.4	7.7
その他	0.0	0.0	7.1	7.7

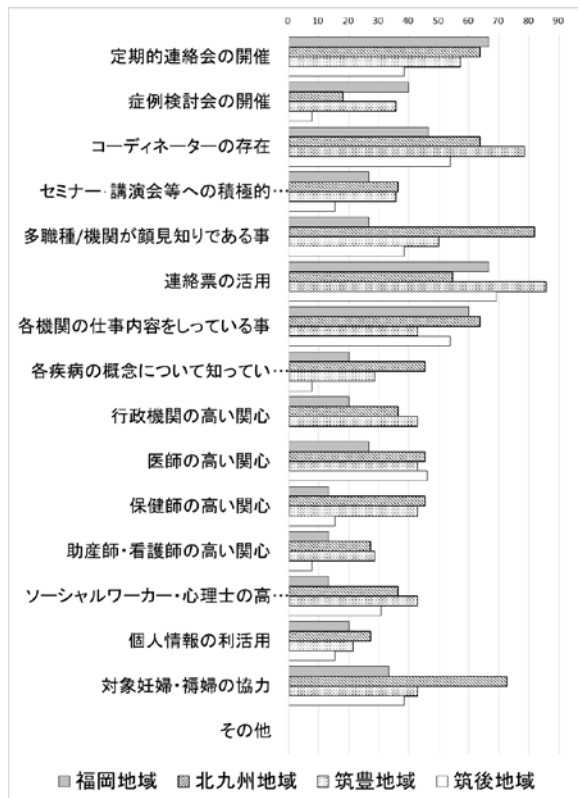
値は%を示す



B8 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか？（複数回答可）

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
定期的連絡会の開催	66.7	63.6	57.1	38.5
症例検討会の開催	40.0	18.2	35.7	7.7
コーディネーターの存在	46.7	63.6	78.6	53.8
セミナー・講演会等への積極的参加	26.7	36.4	35.7	15.4
多職種/機関が顔見知りである事	26.7	81.8	50.0	38.5
連絡票の活用	66.7	54.5	85.7	69.2
各機関の仕事内容をしている事	60.0	63.6	42.9	53.8
各疾病の概念について知っている事	20.0	45.5	28.6	7.7
行政機関の高い関心	20.0	36.4	42.9	0.0
医師の高い関心	26.7	45.5	42.9	46.2
保健師の高い関心	13.3	45.5	42.9	15.4
助産師・看護師の高い関心	13.3	27.3	28.6	7.7
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	13.3	36.4	42.9	30.8
個人情報の利活用	20.0	27.3	21.4	15.4
対象妊婦・褥婦の協力	33.3	72.7	42.9	38.5
その他	0.0	0.0	0.0	0.0

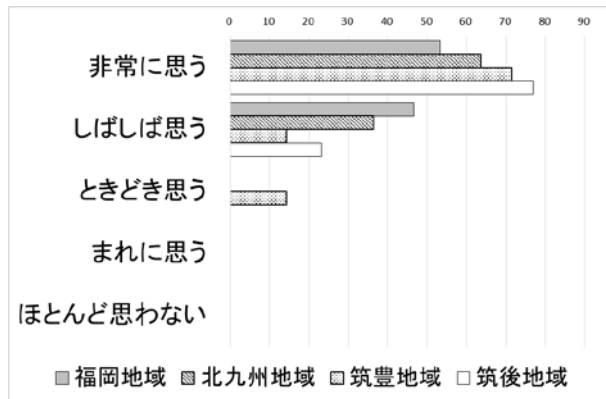
値は%を示す



C1 子どもの心の問題は、親の心の問題（親子関係、親の病気等）が関係していると思いますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
非常に思う	53.3	63.6	71.4	76.9
しばしば思う	46.7	36.4	14.3	23.1
ときどき思う	0.0	0.0	14.3	0.0
まれに思う	0.0	0.0	0.0	0.0
ほとんど思わない	0.0	0.0	0.0	0.0

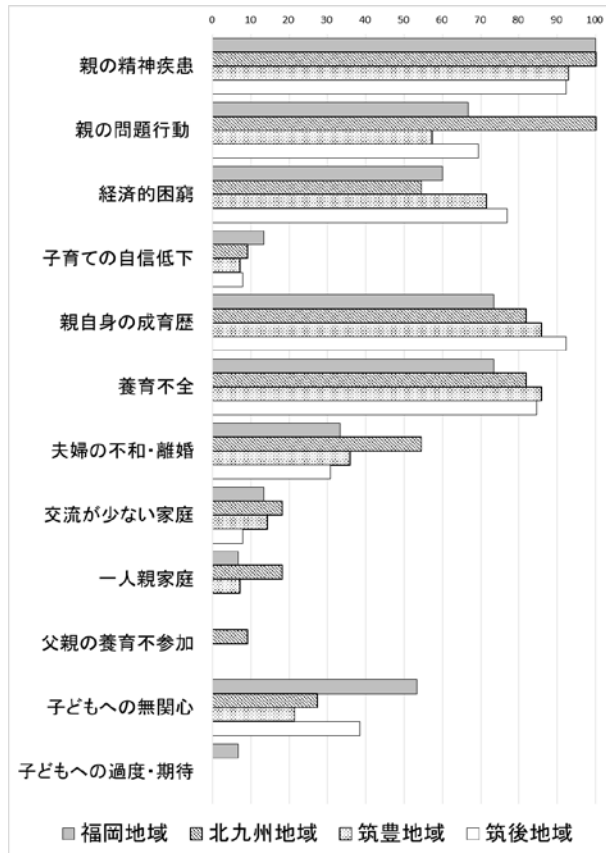
値は%を示す



C2 親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？ 5つ選んでください。

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
親の精神疾患	100.0	100.0	92.9	92.3
親の問題行動	66.7	100.0	57.1	69.2
経済的困窮	60.0	54.5	71.4	76.9
子育ての自信低下	13.3	9.1	7.1	7.7
親自身の成育歴	73.3	81.8	85.7	92.3
養育不全	73.3	81.8	85.7	84.6
夫婦の不和・離婚	33.3	54.5	35.7	30.8
交流が少ない家庭	13.3	18.2	14.3	7.7
一人親家庭	6.7	18.2	7.1	0.0
父親の養育不参加	0.0	9.1	0.0	0.0
子どもへの無関心	53.3	27.3	21.4	38.5
子どもへの過度・期待	6.7	0.0	0.0	0.0

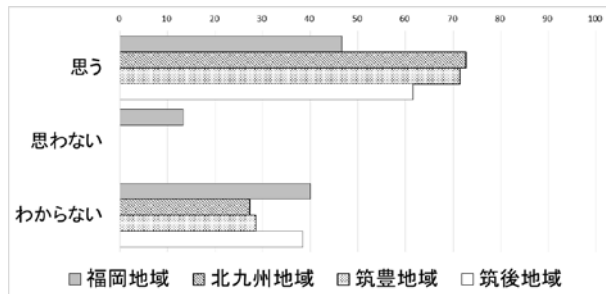
値は%を示す



C3 学童・思春期の親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
思う	46.7	72.7	71.4	61.5
思わない	13.3	0.0	0.0	0.0
わからない	40.0	27.3	28.6	38.5

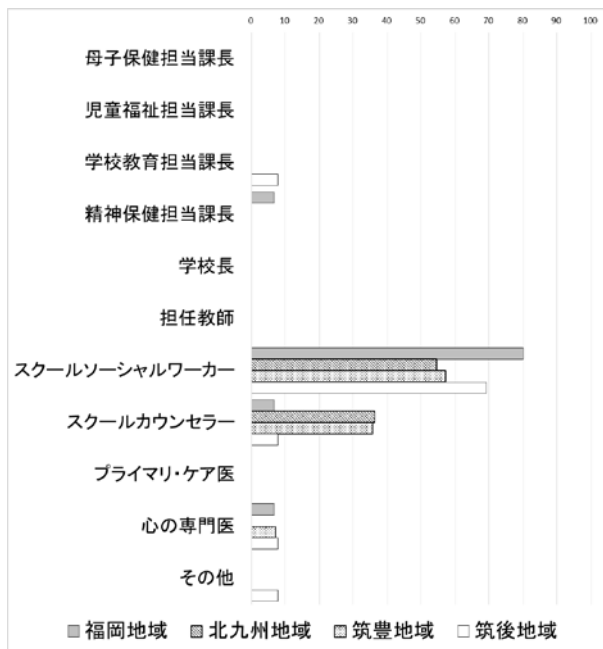
値は%を示す



C4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
母子保健担当課長	0.0	0.0	0.0	0.0
児童福祉担当課長	0.0	0.0	0.0	0.0
学校教育担当課長	0.0	0.0	0.0	7.7
精神保健担当課長	6.7	0.0	0.0	0.0
学校長	0.0	0.0	0.0	0.0
担任教師	0.0	0.0	0.0	0.0
スクールソーシャルワーカー	80.0	54.5	57.1	69.2
スクールカウンセラー	6.7	36.4	35.7	7.7
プライマリ・ケア医	0.0	0.0	0.0	0.0
心の専門医	6.7	0.0	7.1	7.7
その他	0.0	0.0	0.0	7.7

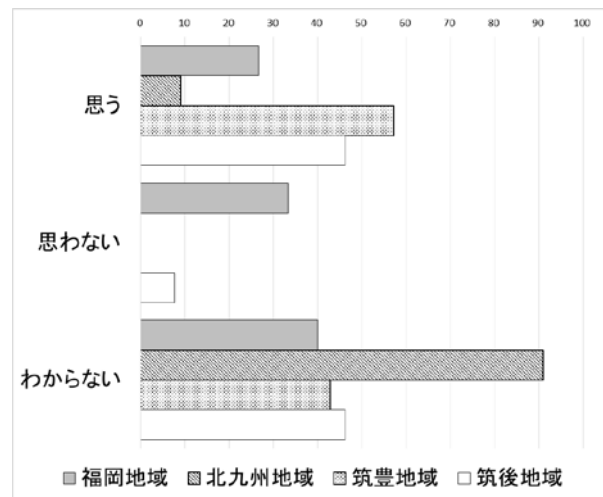
値は%を示す



C5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センターに配置することを必要と思われる」ですか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
思う	26.7	9.1	57.1	46.2
思わない	33.3	0.0	0.0	7.7
わからない	40.0	90.9	42.9	46.2

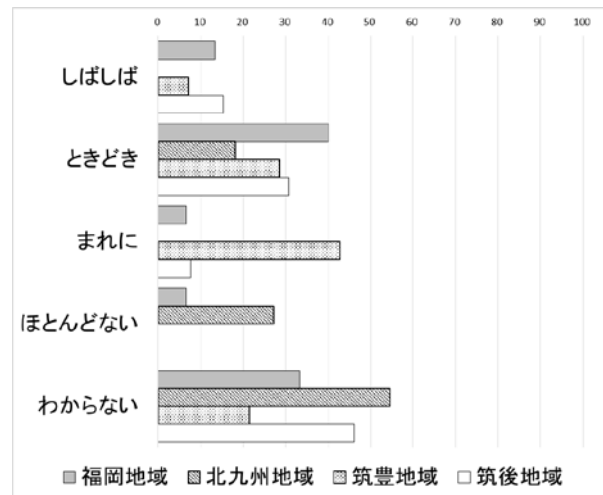
値は%を示す



C6 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
しばしば	13.3	0.0	7.1	15.4
ときどき	40.0	18.2	28.6	30.8
まれに	6.7	0.0	42.9	7.7
ほとんどない	6.7	27.3	0.0	0.0
わからない	33.3	54.5	21.4	46.2

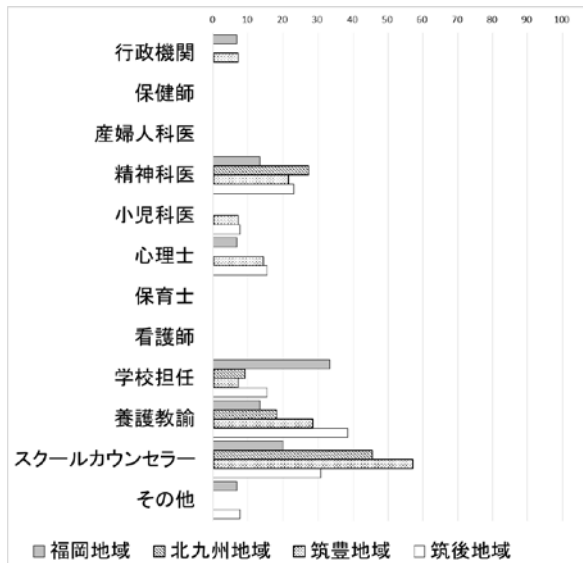
値は%を示す



C7 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
行政機関	6.7	0.0	7.1	0.0
保健師	0.0	0.0	0.0	0.0
産婦人科医	0.0	0.0	0.0	0.0
精神科医	13.3	27.3	21.4	23.1
小児科医	0.0	0.0	7.1	7.7
心理士	6.7	0.0	14.3	15.4
保育士	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	0.0	0.0	0.0	0.0
学校担任	33.3	9.1	7.1	15.4
養護教諭	13.3	18.2	28.6	38.5
スクールカウンセラー	20.0	45.5	57.1	30.8
その他	6.7	0.0	0.0	7.7

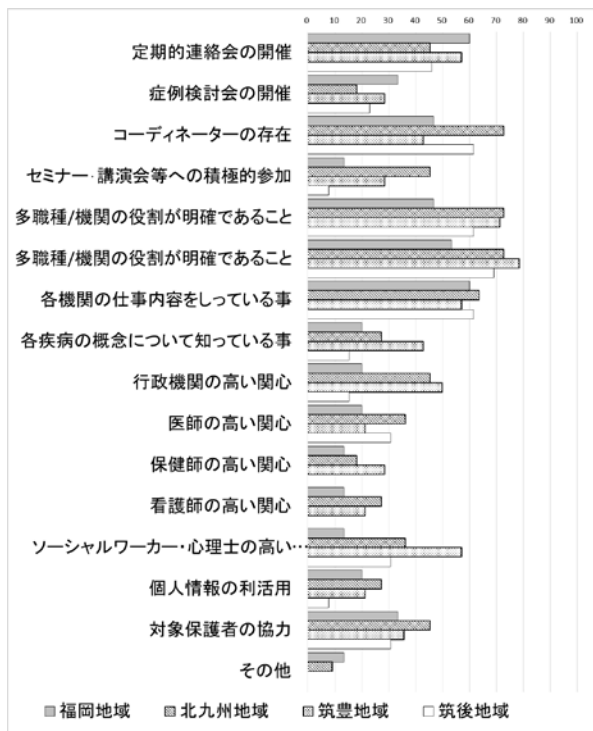
値は%を示す



C8 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携推進のために大切なことはいずれでしょうか？（複数回答可）

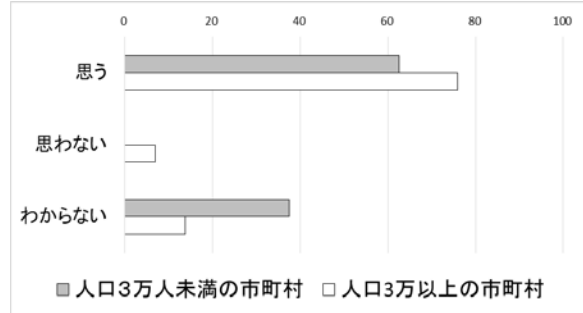
	福岡地域 (n=15)	北九州地域 (n=11)	筑豊地域 (n=14)	筑後地域 (n=12)
定期的連絡会の開催	60.0	45.5	57.1	46.2
症例検討会の開催	33.3	18.2	28.6	23.1
コーディネーターの存在	46.7	72.7	42.9	61.5
セミナー・講演会等への積極的参加	13.3	45.5	28.6	7.7
多職種/機関が顔見知りである事	46.7	72.7	71.4	61.5
多職種/機関の役割が明確であること	53.3	72.7	78.6	69.2
各機関の仕事内容を知っている事	60.0	63.6	57.1	61.5
各疾病の概念について知っている事	20.0	27.3	42.9	15.4
行政機関の高い関心	20.0	45.5	50.0	15.4
医師の高い関心	20.0	36.4	21.4	30.8
保健師の高い関心	13.3	18.2	28.6	0.0
看護師の高い関心	13.3	27.3	21.4	0.0
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	13.3	36.4	57.1	30.8
個人情報の利活用	20.0	27.3	21.4	7.7
対象保護者の協力	33.3	45.5	35.7	30.8
その他	13.3	9.1	0.0	0.0

値は%を示す



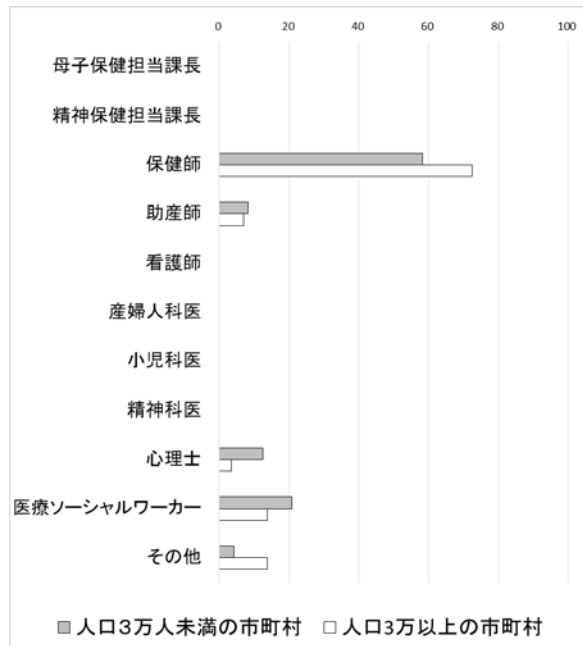
A1 妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	15	22	62.5	75.9
思わない	0	2	0.0	6.9
わからない	9	4	37.5	13.8



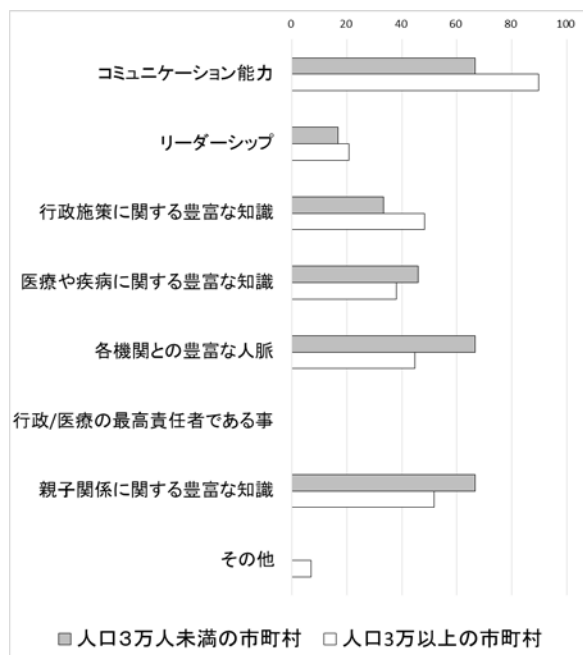
A2 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母子保健担当課長	0	0	0.0	0.0
精神保健担当課長	0	0	0.0	0.0
保健師	14	21	58.3	72.4
助産師	2	2	8.3	6.9
看護師	0	0	0.0	0.0
産婦人科医	0	0	0.0	0.0
小児科医	0	0	0.0	0.0
精神科医	0	0	0.0	0.0
心理士	3	1	12.5	3.4
医療ソーシャルワーカー	5	4	20.8	13.8
その他	1	4	4.2	13.8



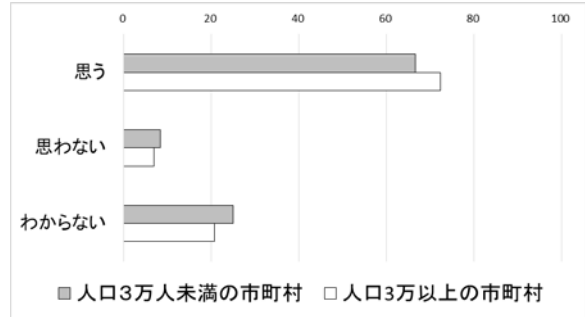
A3 コーディネーターに求められるスキルは何でしょうか？ 3つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
コミュニケーション能力	16	26	66.7	89.7
リーダーシップ	4	6	16.7	20.7
行政施策に関する豊富な知識	8	14	33.3	48.3
医療や疾病に関する豊富な知識	11	11	45.8	37.9
各機関との豊富な人脈	16	13	66.7	44.8
行政/医療の最高責任者である事	0	0	0.0	0.0
親子関係に関する豊富な知識	16	15	66.7	51.7
その他	0	2	0.0	6.9



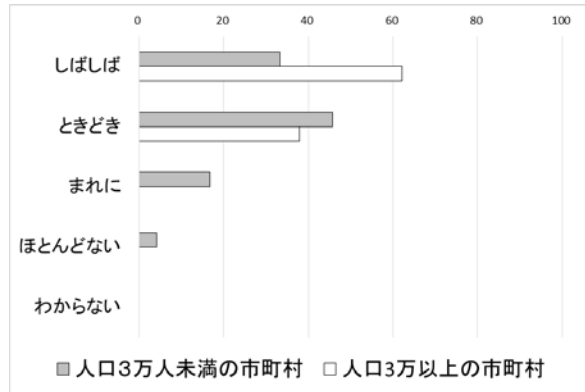
A4 コーディネーターを、将来（現在）設置される（されている）「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	16	21	66.7	72.4
思わない	2	2	8.3	6.9
わからない	6	6	25.0	20.7



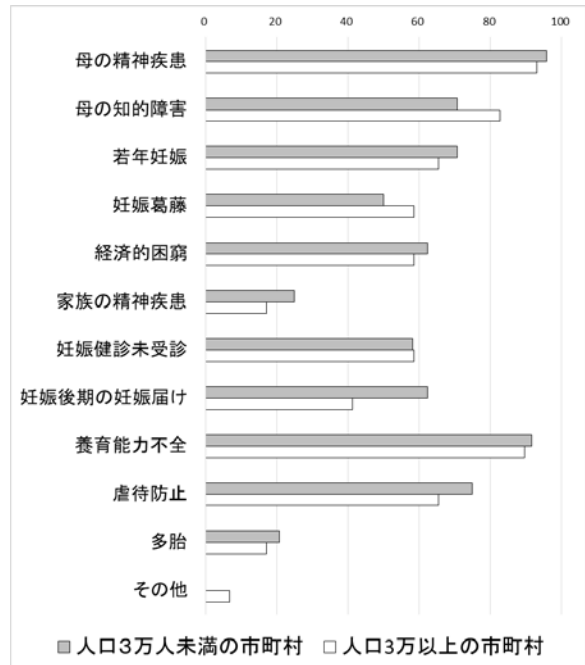
A5 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
しばしば	8	18	33.3	62.1
ときどき	11	11	45.8	37.9
まれに	4	0	16.7	0.0
ほとんどない	1	0	4.2	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



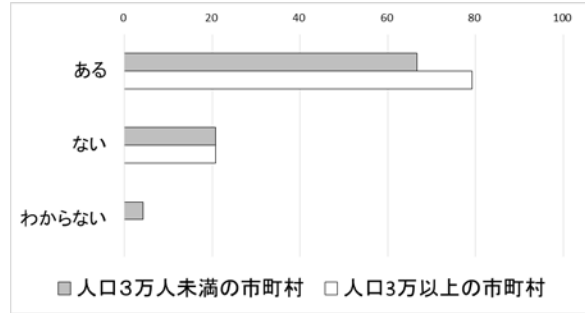
A6 連携が特に必要と思われる主な理由は何ですか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母の精神疾患	23	27	95.8	93.1
母の知的障害	17	24	70.8	82.8
若年妊娠	17	19	70.8	65.5
妊娠葛藤	12	17	50.0	58.6
経済的困窮	15	17	62.5	58.6
家族の精神疾患	6	5	25.0	17.2
妊娠健診未受診	14	17	58.3	58.6
妊娠後期の妊娠届け	15	12	62.5	41.4
養育能力不全	22	26	91.7	89.7
虐待防止	18	19	75.0	65.5
多胎	5	5	20.8	17.2
その他	0	2	0.0	6.9



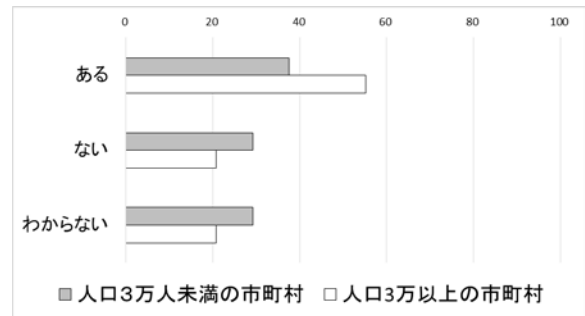
A7 特定妊婦が転居するときに、市町村単位で情報を共有、申し送りするシステムはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	16	23	66.7	79.3
ない	5	6	20.8	20.7
わからない	1	0	4.2	0.0



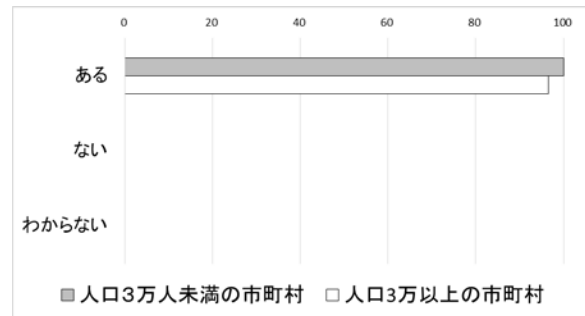
A8 地域の中で周産期のメンタルヘルスの問題（妊婦の精神疾患等）を診ている精神科はありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	9	16	37.5	55.2
ない	7	6	29.2	20.7
わからない	7	6	29.2	20.7



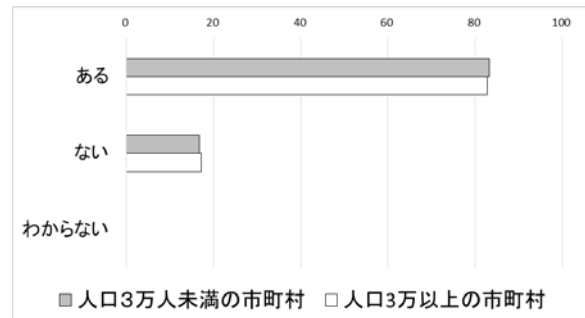
A9 特定妊婦の情報を何らかの形で、産科医療機関と共有したことはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	24	28	100.0	96.6
ない	0	0	0.0	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



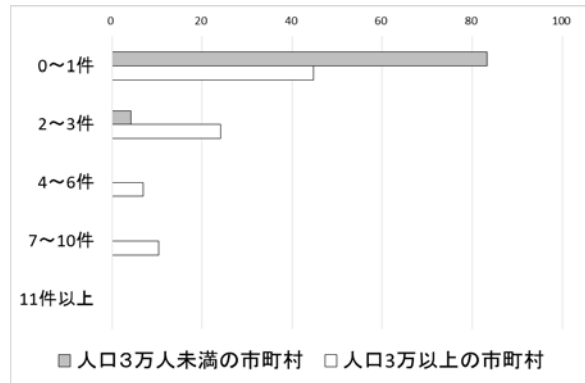
A10 産科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	20	24	83.3	82.8
ない	4	5	16.7	17.2
わからない	0	0	0.0	0.0



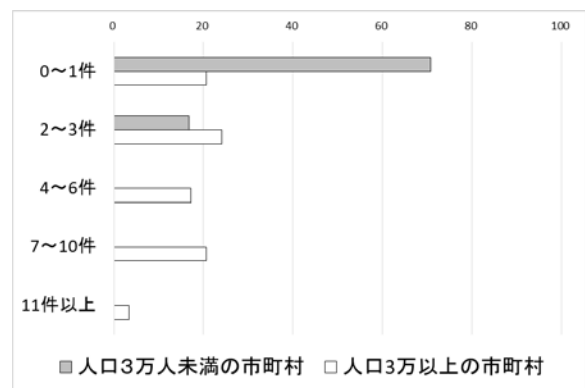
A11 A10であるとお答えの方にお聞きます。1ヶ月で行政→医療機関（産科）への連絡票はおよそ何件ありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
0～1件	20	13	83.3	44.8
2～3件	1	7	4.2	24.1
4～6件	0	2	0.0	6.9
7～10件	0	3	0.0	10.3
11件以上	0	0	0.0	0.0



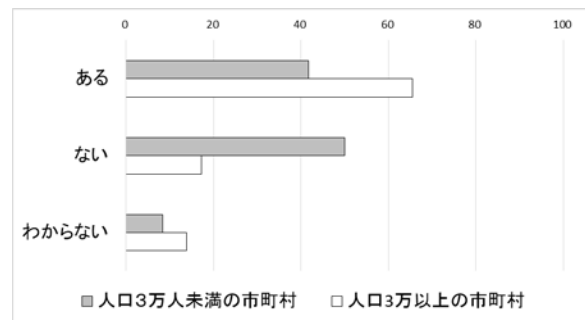
A12 A10であるとお答えの方にお聞きます。1ヶ月で医療機関（産科）→行政への連絡票はおよそ何件ありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
0～1件	17	6	70.8	20.7
2～3件	4	7	16.7	24.1
4～6件	0	5	0.0	17.2
7～10件	0	6	0.0	20.7
11件以上	0	1	0.0	3.4



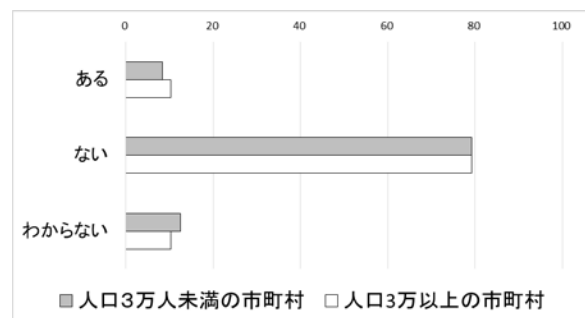
A13 妊婦の情報を何らかの形で、精神科医療機関と共有したことはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	10	19	41.7	65.5
ない	12	5	50.0	17.2
わからない	2	4	8.3	13.8



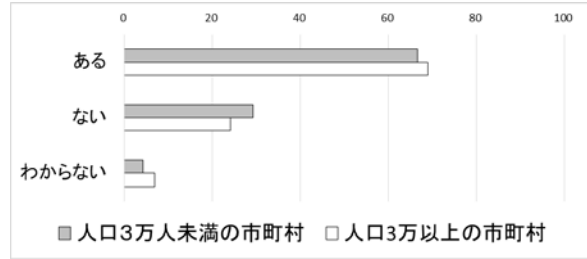
A14 精神科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	2	3	8.3	10.3
ない	19	23	79.2	79.3
わからない	3	3	12.5	10.3



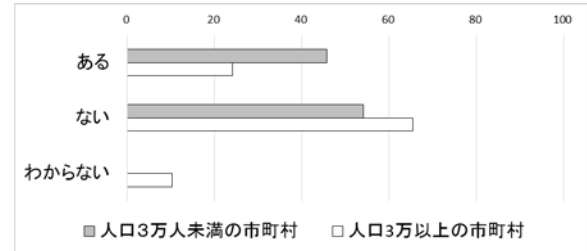
A17 特定妊婦から出生した子どもに関する情報を、何らかの形で小児科医療機関と共有したことはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	16	20	66.7	69.0
ない	7	7	29.2	24.1
わからない	1	2	4.2	6.9



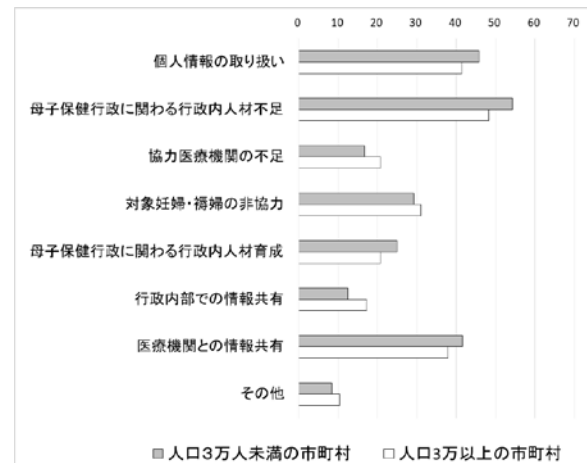
A18 小児科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	11	7	45.8	24.1
ない	13	19	54.2	65.5
わからない	0	3	0.0	10.3



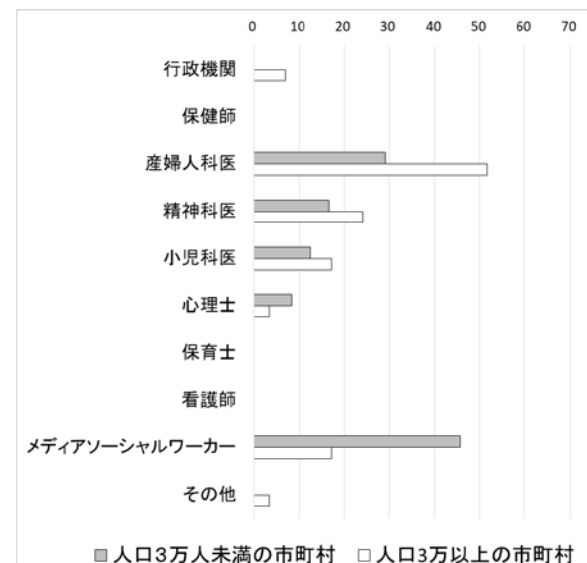
A21 各医療機関との連携のために困っておられることは何ですか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
個人情報の取り扱い	11	12	45.8	41.4
母子保健行政に関わる行政内人材不足	13	14	54.2	48.3
協力医療機関の不足	4	6	16.7	20.7
対象妊婦・褥婦の非協力	7	9	29.2	31.0
母子保健行政に関わる行政内人材育成	6	6	25.0	20.7
行政内部での情報共有	3	5	12.5	17.2
医療機関との情報共有	10	11	41.7	37.9
その他	2	3	8.3	10.3



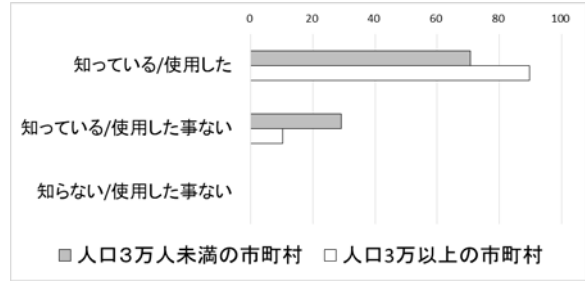
A22 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
行政機関	0	2	0.0	6.9
保健師	0	0	0.0	0.0
産婦人科医	7	15	29.2	51.7
精神科医	4	7	16.7	24.1
小児科医	3	5	12.5	17.2
心理士	2	1	8.3	3.4
保育士	0	0	0.0	0.0
看護師	0	0	0.0	0.0
メディアソーシャルワーカー	11	5	45.8	17.2
その他	0	1	0.0	3.4



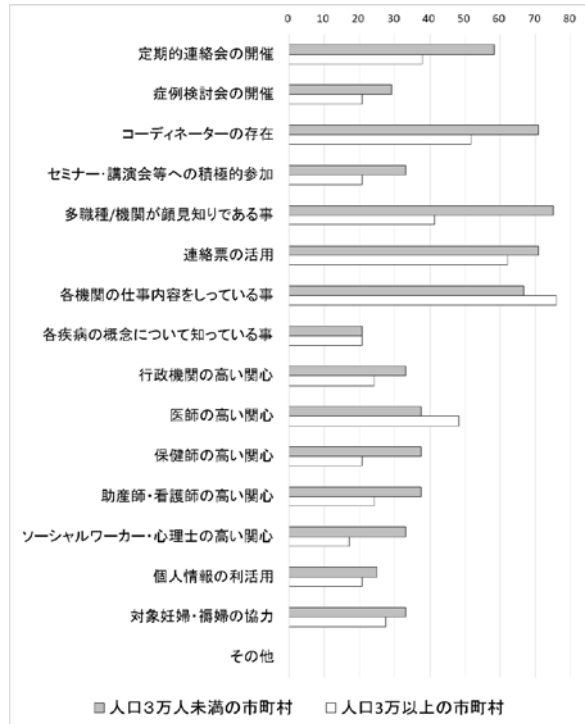
A23 エジンバラ産後うつ病自己尺度(Edinburgh Postnatal Depression Scale; EPDS)をご存知ですか/ご使用されたことありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている/使用した	17	26	70.8	89.7
知っている/使用した事ない	7	3	29.2	10.3
知らない/使用した事ない	0	0	0.0	0.0



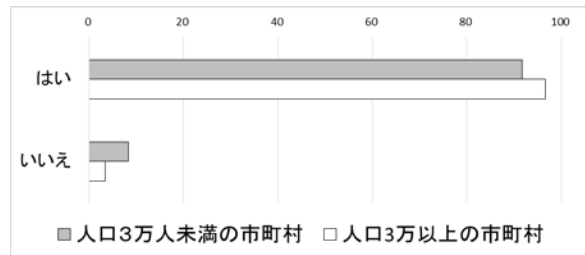
A24 妊娠前から乳児期の親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
定期的連絡会の開催	14	11	58.3	37.9
症例検討会の開催	7	6	29.2	20.7
コーディネーターの存在	17	15	70.8	51.7
セミナー・講演会等への積極的参加	8	6	33.3	20.7
多職種/期間が顔見知りである事	18	12	75.0	41.4
連絡票の活用	17	18	70.8	62.1
各機関の仕事内容をしている事	16	22	66.7	75.9
各疾病の概念について知っている事	5	6	20.8	20.7
行政機関の高い関心	8	7	33.3	24.1
医師の高い関心	9	14	37.5	48.3
保健師の高い関心	9	6	37.5	20.7
助産師・看護師の高い関心	9	7	37.5	24.1
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	8	5	33.3	17.2
個人情報の利活用	6	6	25.0	20.7
対象妊婦・褥婦の協力	8	8	33.3	27.6
その他	0	0	0.0	0.0



A25 平成28年～29年にかけて一部、児童福祉法が改正されたことをご存知ですか？

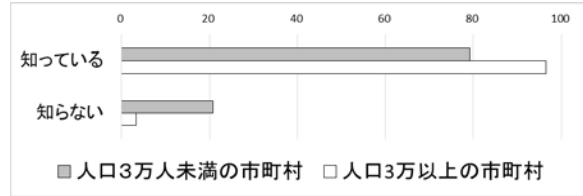
	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
はい	22	28	91.7	96.6
いいえ	2	1	8.3	3.4



A26 改正された児童福祉法に下記内容が明記されたことはご存知ですか？

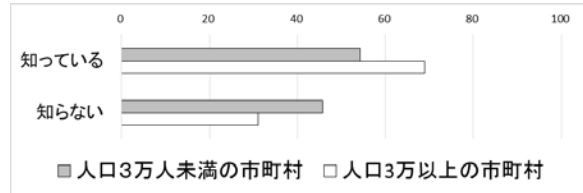
a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供しよう努めること

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている	19	28	79.2	96.6
知らない	5	1	20.8	3.4



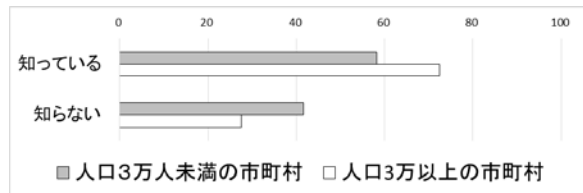
b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職を配備すること

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている	13	20	54.2	69.0
知らない	11	9	45.8	31.0



c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

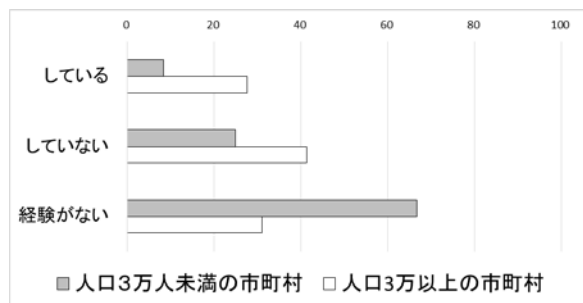
	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている	14	21	58.3	72.4
知らない	10	8	41.7	27.6



A27 児童虐待のハイリスク妊婦／褥婦に遭遇した場合の対応についてお聞きします。

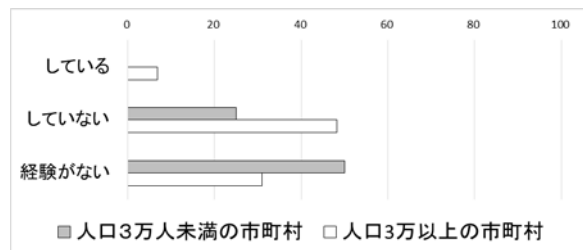
a. 里親制度について母親に情報提供していますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
している	2	8	8.3	27.6
していない	6	12	25.0	41.4
経験がない	16	9	66.7	31.0



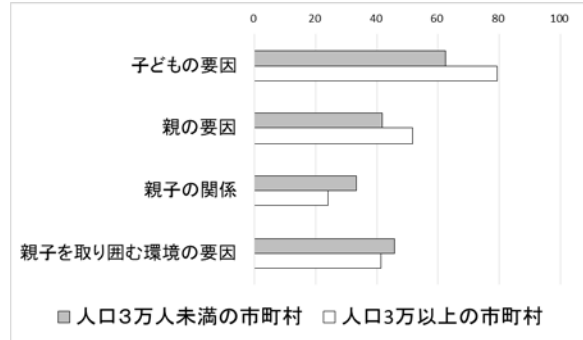
b. その場合、斡旋団体を紹介していますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
している	0	2	0.0	6.9
していない	6	14	25.0	48.3
経験がない	12	9	50.0	31.0



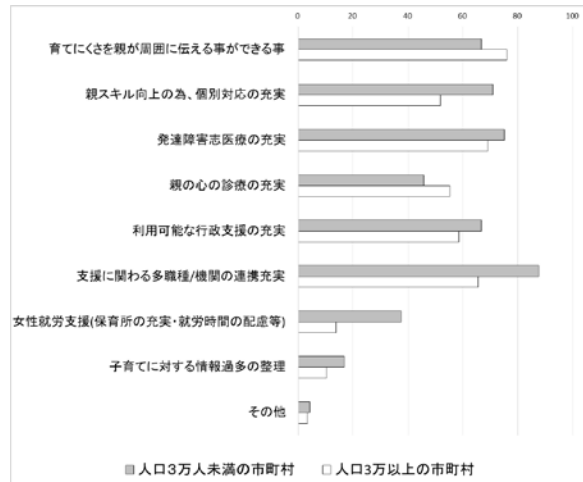
B1 保護者が感じる「育てにくさ」の主な要因は以下のどれだと思われますか？ 2つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
子どもの要因	15	23	62.5	79.3
親の要因	10	15	41.7	51.7
親子の関係	8	7	33.3	24.1
親子を取り囲む環境の要因	11	12	45.8	41.4



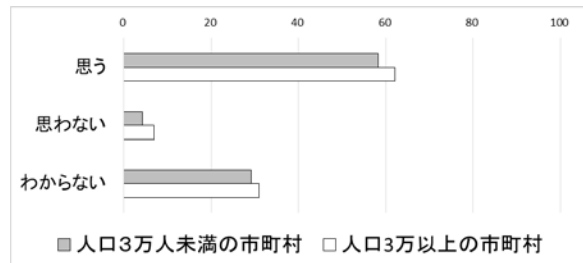
B2 「育てにくさ」を支援するために何が必要と思われますか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
育てにくさを親が周囲に伝える事ができる事	16	22	66.7	75.9
親スキル向上の為、個別対応の充実	17	15	70.8	51.7
発達障害志医療の充実	18	20	75.0	69.0
親の心の診療の充実	11	16	45.8	55.2
利用可能な行政支援の充実	16	17	66.7	58.6
支援に関わる多職種/期間の連携充実	21	19	87.5	65.5
女性就労支援(保育所の充実・就労時間の配慮等)	9	4	37.5	13.8
子育てに対する情報過多の整理	4	3	16.7	10.3
その他	1	1	4.2	3.4



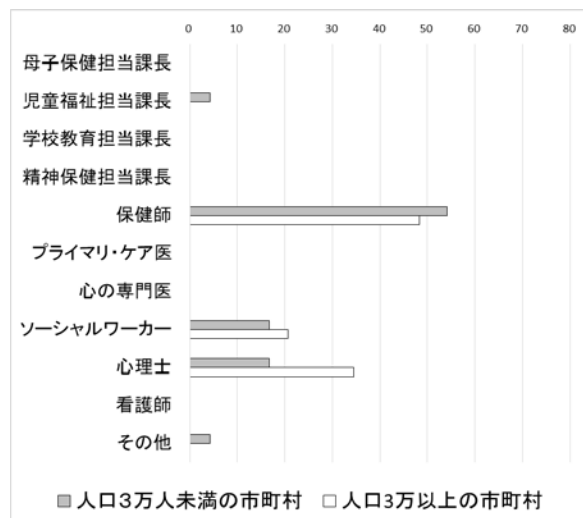
B3 育てにくさを感じる親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	14	18	58.3	62.1
思わない	1	2	4.2	6.9
わからない	7	9	29.2	31.0



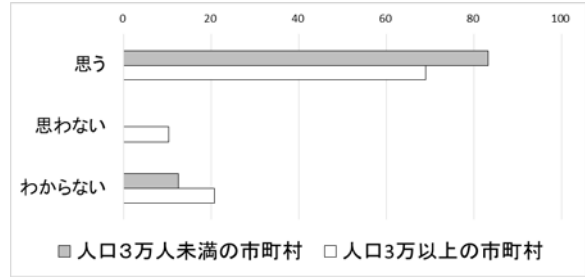
B4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？ 1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母子保健担当課長	0	0	0.0	0.0
児童福祉担当課長	1	0	4.2	0.0
学校教育担当課長	0	0	0.0	0.0
精神保健担当課長	0	0	0.0	0.0
保健師	13	14	54.2	48.3
プライマリ・ケア医	0	0	0.0	0.0
心の専門医	0	0	0.0	0.0
ソーシャルワーカー	4	6	16.7	20.7
心理士	4	10	16.7	34.5
看護師	0	0	0.0	0.0
その他	1	0	4.2	0.0



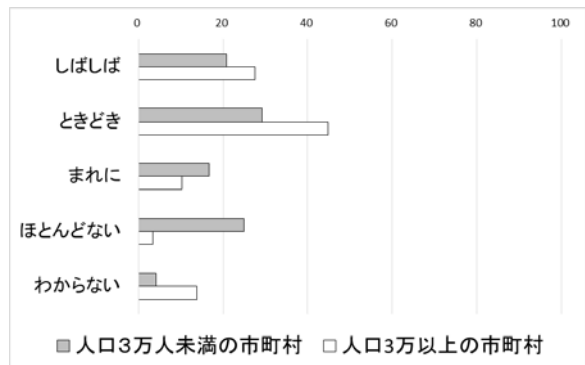
B5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センターに配置することを必要と思われませんか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	20	20	83.3	69.0
思わない	0	3	0.0	10.3
わからない	3	6	12.5	20.7



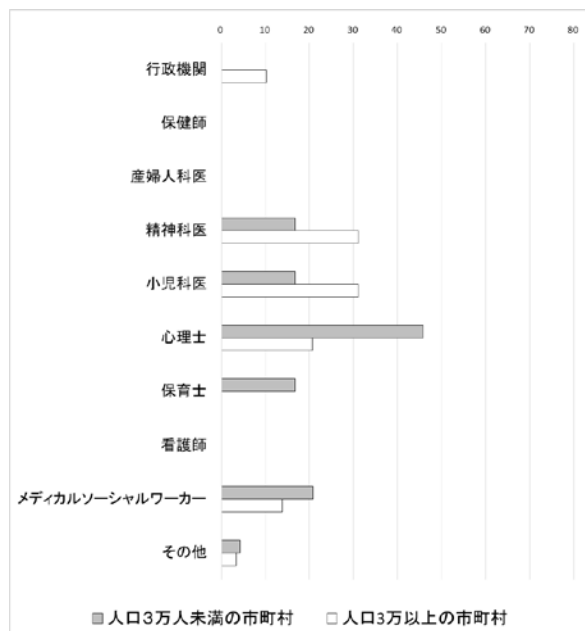
B6 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
しばしば	5	8	20.8	27.6
ときどき	7	13	29.2	44.8
まれに	4	3	16.7	10.3
ほとんどない	6	1	25.0	3.4
わからない	1	4	4.2	13.8



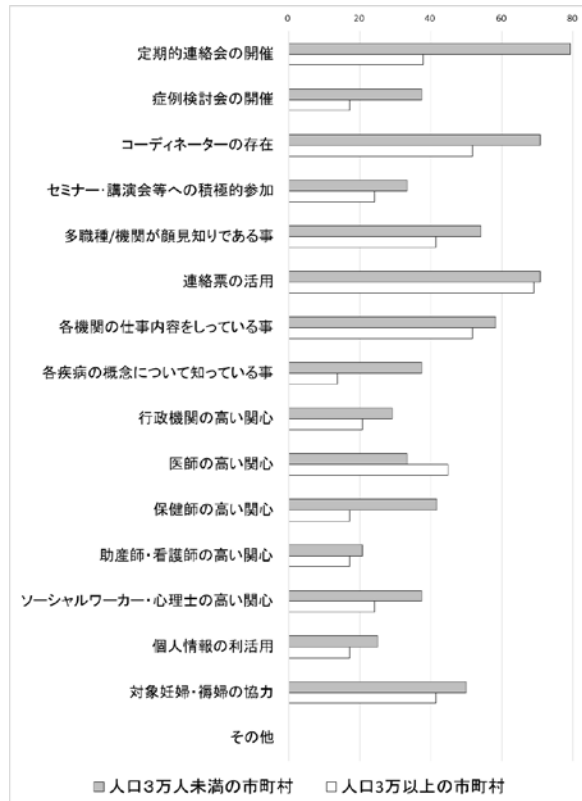
B7 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
行政機関	0	3	0.0	10.3
保健師	0	0	0.0	0.0
産婦人科医	0	0	0.0	0.0
精神科医	4	9	16.7	31.0
小児科医	4	9	16.7	31.0
心理士	11	6	45.8	20.7
保育士	4	0	16.7	0.0
看護師	0	0	0.0	0.0
メディカルソーシャルワーカー	5	4	20.8	13.8
その他	1	1	4.2	3.4



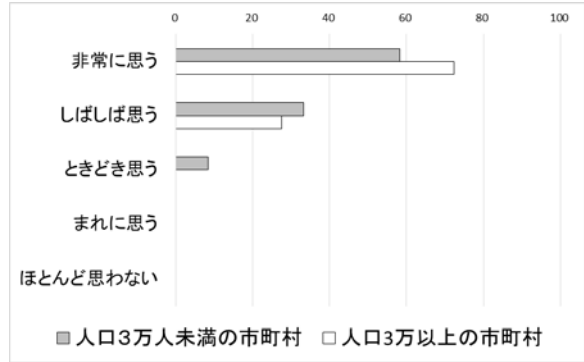
B8 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなんでしょうか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
定期的連絡会の開催	19	11	79.2	37.9
症例検討会の開催	9	5	37.5	17.2
コーディネーターの存在	17	15	70.8	51.7
セミナー・講演会等への積極的参加	8	7	33.3	24.1
多職種/期間が顔見知りである事	13	12	54.2	41.4
連絡票の活用	17	20	70.8	69.0
各機関の仕事内容を知っている事	14	15	58.3	51.7
各疾病の概念について知っている事	9	4	37.5	13.8
行政機関の高い関心	7	6	29.2	20.7
医師の高い関心	8	13	33.3	44.8
保健師の高い関心	10	5	41.7	17.2
助産師・看護師の高い関心	5	5	20.8	17.2
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	9	7	37.5	24.1
個人情報の利活用	6	5	25.0	17.2
対象妊婦・褥婦の協力	12	12	50.0	41.4
その他	0	0	0.0	0.0



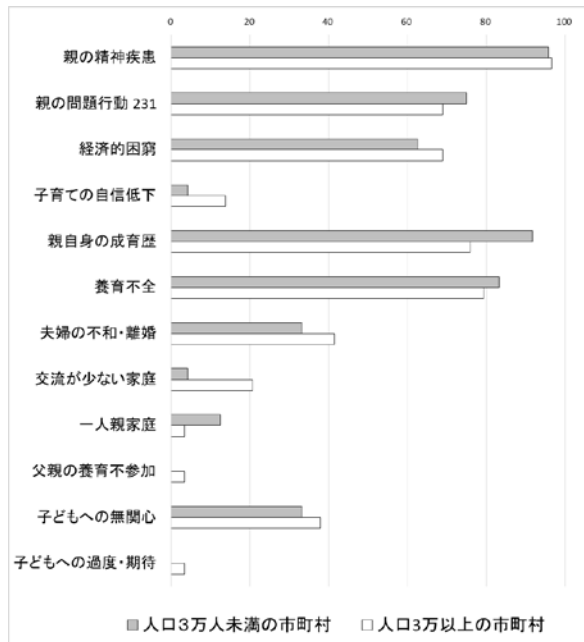
C1 子どもの心の問題は、親の心の問題（親子関係、親の病気等）が関係していると思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
非常に思う	14	21	58.3	72.4
しばしば思う	8	8	33.3	27.6
ときどき思う	2	0	8.3	0.0
まれに思う	0	0	0.0	0.0
ほとんど思わない	0	0	0.0	0.0



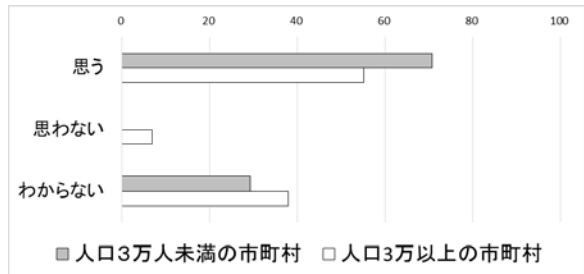
C2 親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？ 5つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
親の精神疾患	23	28	95.8	96.6
親の問題行動 231	18	20	75.0	69.0
経済的困窮	15	20	62.5	69.0
子育ての自信低下	1	4	4.2	13.8
親自身の成育歴	22	22	91.7	75.9
養育不全	20	23	83.3	79.3
夫婦の不和・離婚	8	12	33.3	41.4
交流が少ない家庭	1	6	4.2	20.7
一人親家庭	3	1	12.5	3.4
父親の養育不参加	0	1	0.0	3.4
子どもへの無関心	8	11	33.3	37.9
子どもへの過度・期待	0	1	0.0	3.4



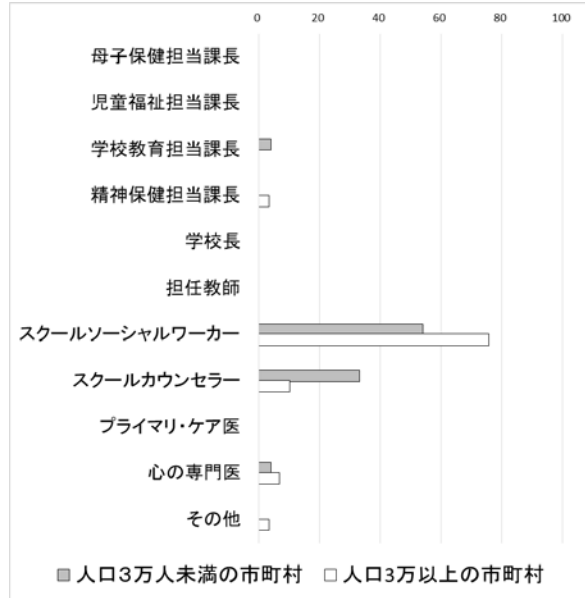
C3 学童・思春期の親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	17	16	70.8	55.2
思わない	0	2	0.0	6.9
わからない	7	11	29.2	37.9



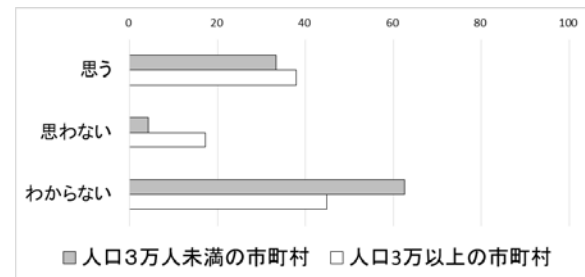
C4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母子保健担当課長	0	0	0.0	0.0
児童福祉担当課長	0	0	0.0	0.0
学校教育担当課長	1	0	4.2	0.0
精神保健担当課長	0	1	0.0	3.4
学校長	0	0	0.0	0.0
担任教師	0	0	0.0	0.0
スクールソーシャルワーカー	13	22	54.2	75.9
スクールカウンセラー	8	3	33.3	10.3
プライマリ・ケア医	0	0	0.0	0.0
心の専門医	1	2	4.2	6.9
その他	0	1	0.0	3.4



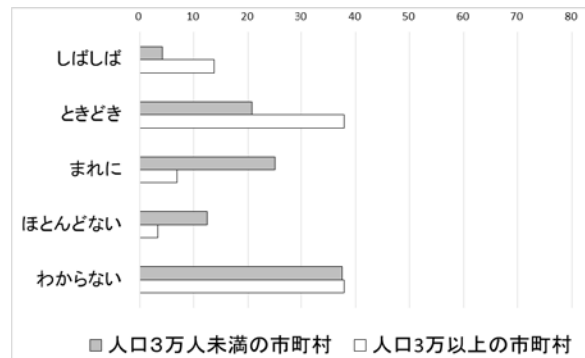
C5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要とされますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	8	11	33.3	37.9
思わない	1	5	4.2	17.2
わからない	15	13	62.5	44.8



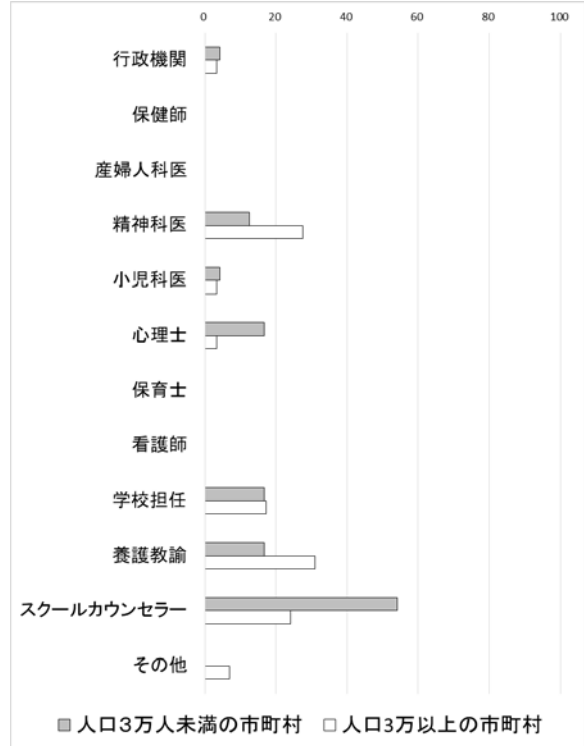
C6 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
しばしば	1	4	4.2	13.8
ときどき	5	11	20.8	37.9
まれに	6	2	25.0	6.9
ほとんどない	3	1	12.5	3.4
わからない	9	11	37.5	37.9



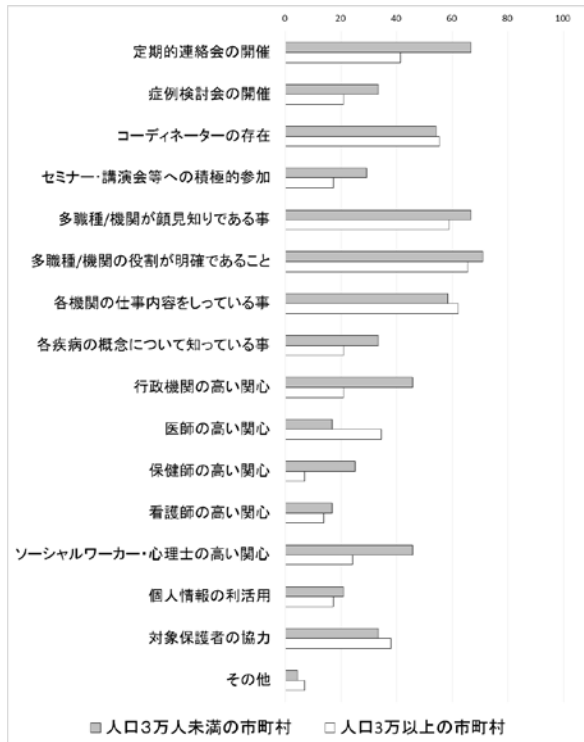
C7 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
行政機関	1	1	4.2	3.4
保健師	0	0	0.0	0.0
産婦人科医	0	0	0.0	0.0
精神科医	3	8	12.5	27.6
小児科医	1	1	4.2	3.4
心理士	4	1	16.7	3.4
保育士	0	0	0.0	0.0
看護師	0	0	0.0	0.0
学校担任	4	5	16.7	17.2
養護教諭	4	9	16.7	31.0
スクールカウンセラー	13	7	54.2	24.1
その他	0	2	0.0	6.9



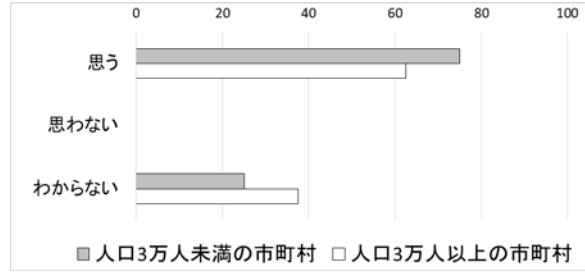
C8 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携推進のために大切なことはなにしてでしょうか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
定期的連絡会の開催	16	12	66.7	41.4
症例検討会の開催	8	6	33.3	20.7
コーディネーターの存在	13	16	54.2	55.2
セミナー・講演会等への積極的参加	7	5	29.2	17.2
多職種/期間が顔見知りである事	16	17	66.7	58.6
多職種/機関の役割が明確であること	17	19	70.8	65.5
各機関の仕事内容を知っている事	14	18	58.3	62.1
各疾病の概念について知っている事	8	6	33.3	20.7
行政機関の高い関心	11	6	45.8	20.7
医師の高い関心	4	10	16.7	34.5
保健師の高い関心	6	2	25.0	6.9
看護師の高い関心	4	4	16.7	13.8
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	11	7	45.8	24.1
個人情報の利活用	5	5	20.8	17.2
対象保護者の協力	8	11	33.3	37.9
その他	1	2	4.2	6.9



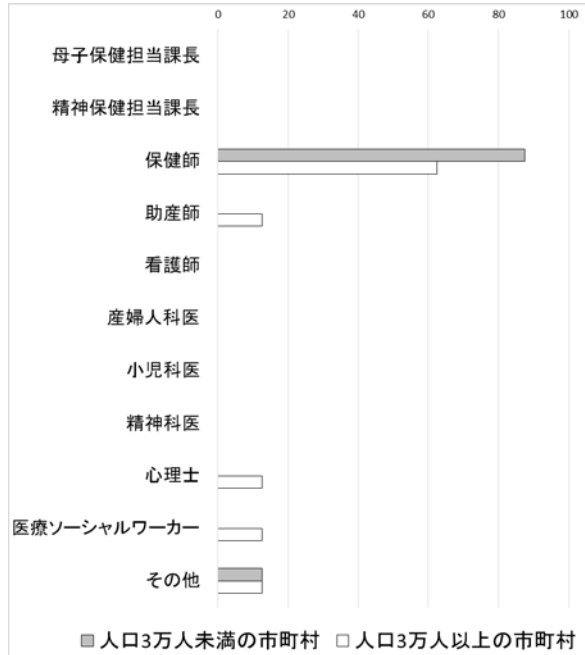
A1 妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	6	5	75.0	62.5
思わない	0	0	0.0	0.0
わからない	2	3	25.0	37.5



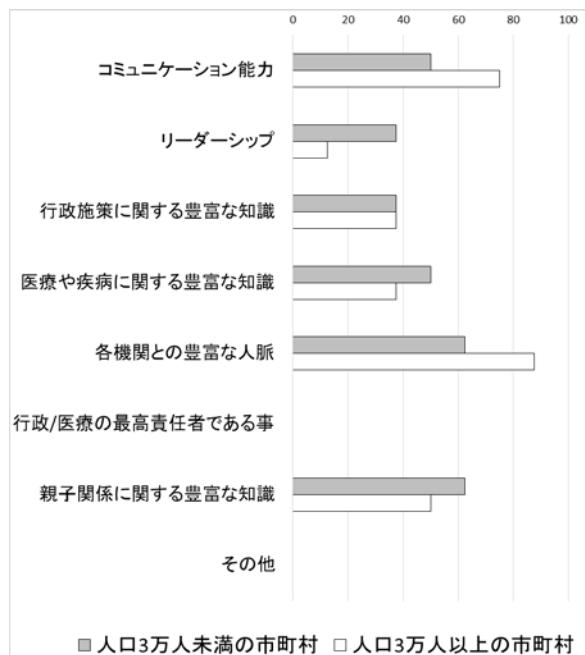
A2 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位でのコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母子保健担当課長	0	0	0.0	0.0
精神保健担当課長	0	0	0.0	0.0
保健師	7	5	87.5	62.5
助産師	0	1	0.0	12.5
看護師	0	0	0.0	0.0
産婦人科医	0	0	0.0	0.0
小児科医	0	0	0.0	0.0
精神科医	0	0	0.0	0.0
心理士	0	1	0.0	12.5
医療ソーシャルワーカー	0	1	0.0	12.5
その他	1	1	12.5	12.5



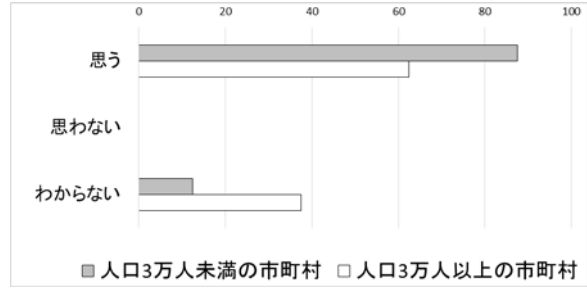
A3 コーディネーターに求められるスキルは何でしょうか？ 3つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
コミュニケーション能力	4	6	50.0	75.0
リーダーシップ	3	1	37.5	12.5
行政施策に関する豊富な知識	3	3	37.5	37.5
医療や疾病に関する豊富な知識	4	3	50.0	37.5
各機関との豊富な人脈	5	7	62.5	87.5
行政/医療の最高責任者である事	0	0	0.0	0.0
親子関係に関する豊富な知識	5	4	62.5	50.0
その他	0	0	0.0	0.0



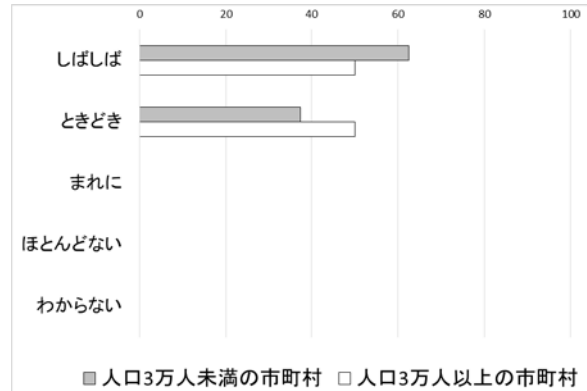
A4 コーディネーターを、将来（現在）設置される（されている）「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	7	5	87.5	62.5
思わない	0	0	0.0	0.0
わからない	1	3	12.5	37.5



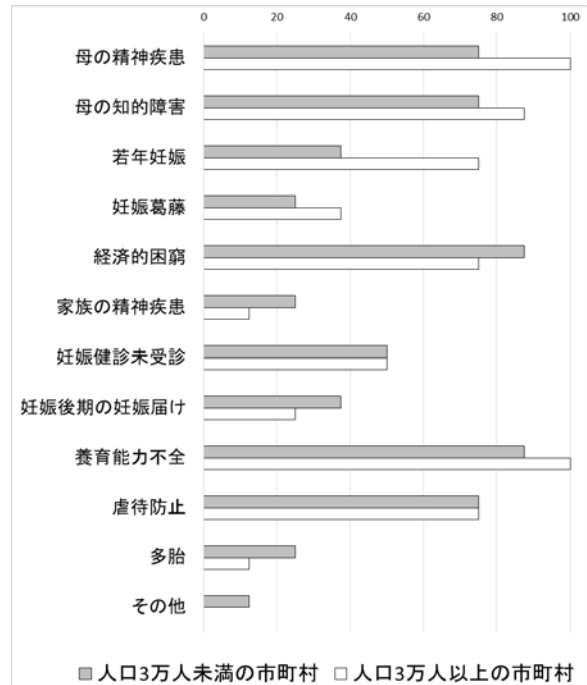
A5 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
しばしば	5	4	62.5	50.0
ときどき	3	4	37.5	50.0
まれに	0	0	0.0	0.0
ほとんどない	0	0	0.0	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



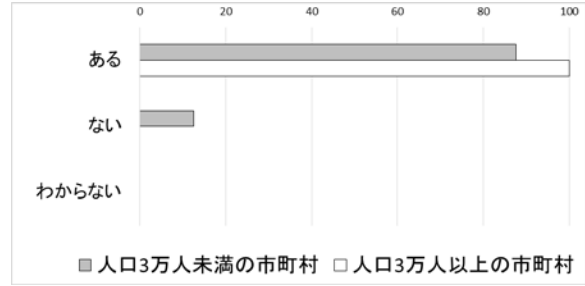
A6 連携が特に必要と思われる主な理由は何ですか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母の精神疾患	6	8	75.0	100.0
母の知的障害	6	7	75.0	87.5
若年妊娠	3	6	37.5	75.0
妊娠葛藤	2	3	25.0	37.5
経済的困窮	7	6	87.5	75.0
家族の精神疾患	2	1	25.0	12.5
妊娠健診未受診	4	4	50.0	50.0
妊娠後期の妊娠届け	3	2	37.5	25.0
養育能力不全	7	8	87.5	100.0
虐待防止	6	6	75.0	75.0
多胎	2	1	25.0	12.5
その他	1	0	12.5	0.0



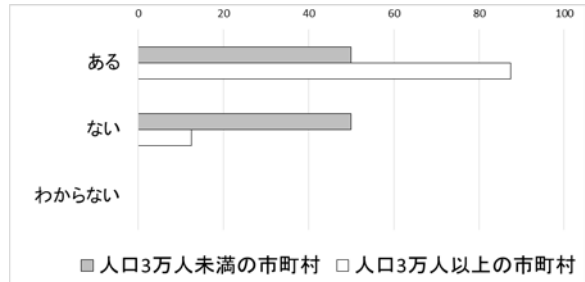
A7 特定妊婦が転居するときに、市町村単位で情報を共有、申し送りするシステムはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	7	8	87.5	100.0
ない	1	0	12.5	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



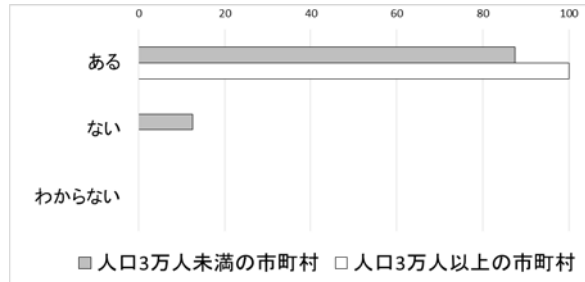
A8 地域の中で周産期のメンタルヘルスの問題（妊婦の精神疾患等）を診ている精神科はありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	4	7	50.0	87.5
ない	4	1	50.0	12.5
わからない	0	0	0.0	0.0



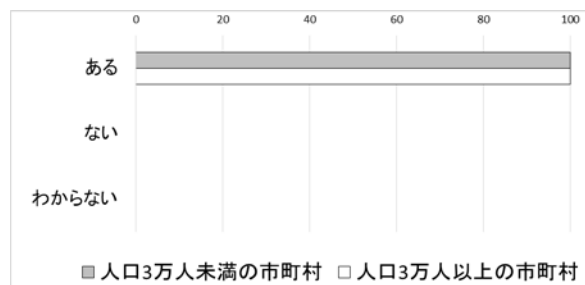
A9 特定妊婦の情報を何らかの形で、産科医療機関と共有したことはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	7	8	87.5	100.0
ない	1	0	12.5	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



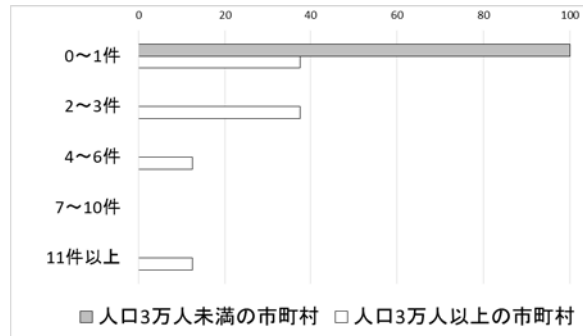
A10 産科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	8	8	100.0	100.0
ない	0	0	0.0	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



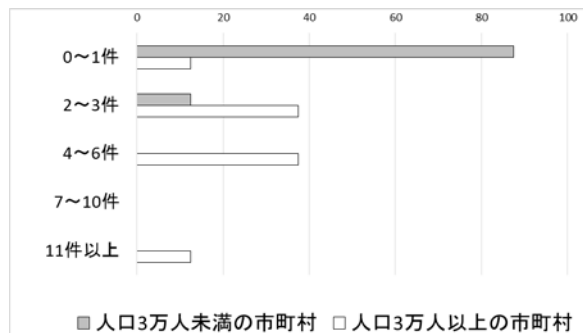
A11 A10であるとお答えの方にお聞きします。1ヶ月で行政→医療機関（産科）への連絡票はおよそ何件ありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
0～1件	8	3	100.0	37.5
2～3件	0	3	0.0	37.5
4～6件	0	1	0.0	12.5
7～10件	0	0	0.0	0.0
11件以上	0	1	0.0	12.5



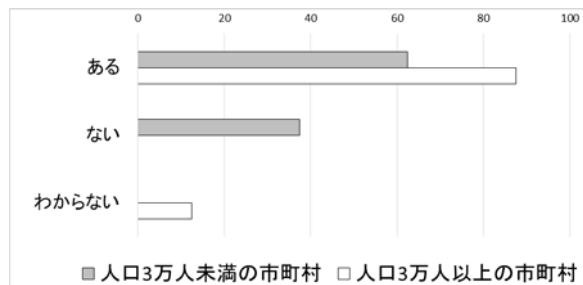
A12 A10であるとお答えの方にお聞きします。1ヶ月で医療機関（産科）→行政への連絡票はおよそ何件ありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
0～1件	7	1	87.5	12.5
2～3件	1	3	12.5	37.5
4～6件	0	3	0.0	37.5
7～10件	0	0	0.0	0.0
11件以上	0	1	0.0	12.5



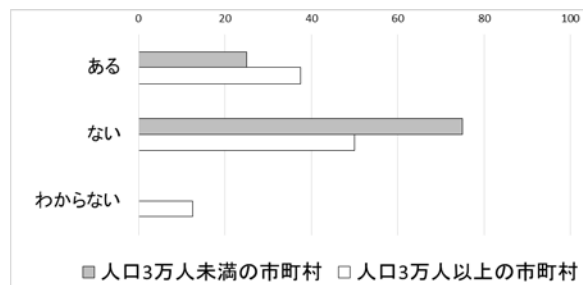
A13 妊婦の情報を何らかの形で、精神科医療機関と共有したことはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	5	7	62.5	87.5
ない	3	0	37.5	0.0
わからない	0	1	0.0	12.5



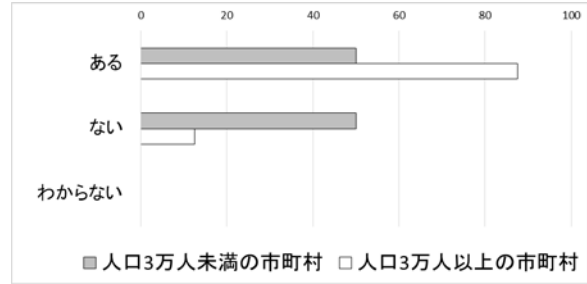
A14 精神科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	2	3	25.0	37.5
ない	6	4	75.0	50.0
わからない	0	1	0.0	12.5



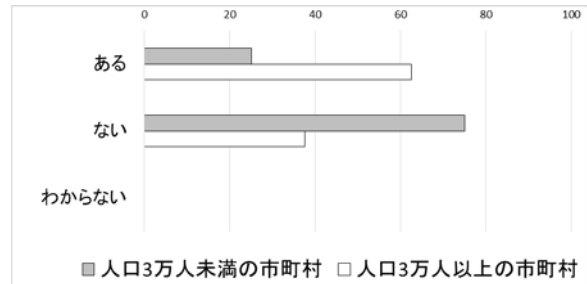
A17 特定妊婦から出生した子どもに関する情報を、何らかの形で小児科医療機関と共有したことはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	4	7	50.0	87.5
ない	4	1	50.0	12.5
わからない	0	0	0.0	0.0



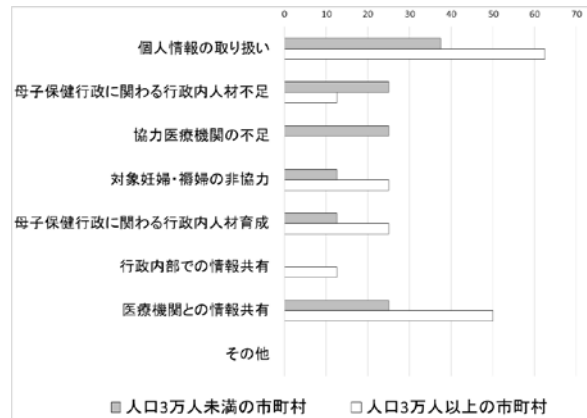
A18 小児科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	2	5	25.0	62.5
ない	6	3	75.0	37.5
わからない	0	0	0.0	0.0



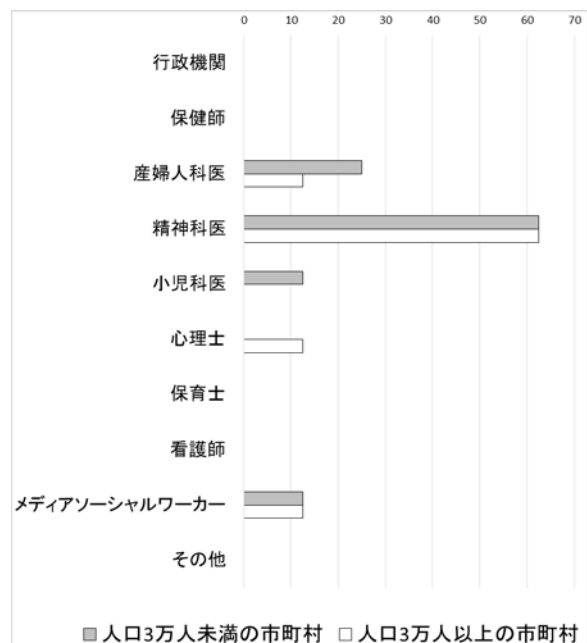
A21 各医療機関との連携のために困っておられることは何ですか？(複数回答可)

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
個人情報の取り扱い	3	5	37.5	62.5
母子保健行政に関わる行政内人材不足	2	1	25.0	12.5
協力医療機関の不足	2	0	25.0	0.0
対象妊婦・褥婦の非協力	1	2	12.5	25.0
母子保健行政に関わる行政内人材育成	1	2	12.5	25.0
行政内部での情報共有	0	1	0.0	12.5
医療機関との情報共有	2	4	25.0	50.0
その他	0	0	0.0	0.0



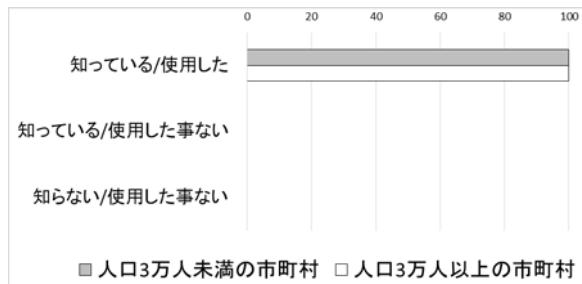
A22 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
行政機関	0	0	0.0	0.0
保健師	0	0	0.0	0.0
産婦人科医	2	1	25.0	12.5
精神科医	5	5	62.5	62.5
小児科医	1	0	12.5	0.0
心理士	0	1	0.0	12.5
保育士	0	0	0.0	0.0
看護師	0	0	0.0	0.0
メディアソーシャルワーカー	1	1	12.5	12.5
その他	0	0	0.0	0.0



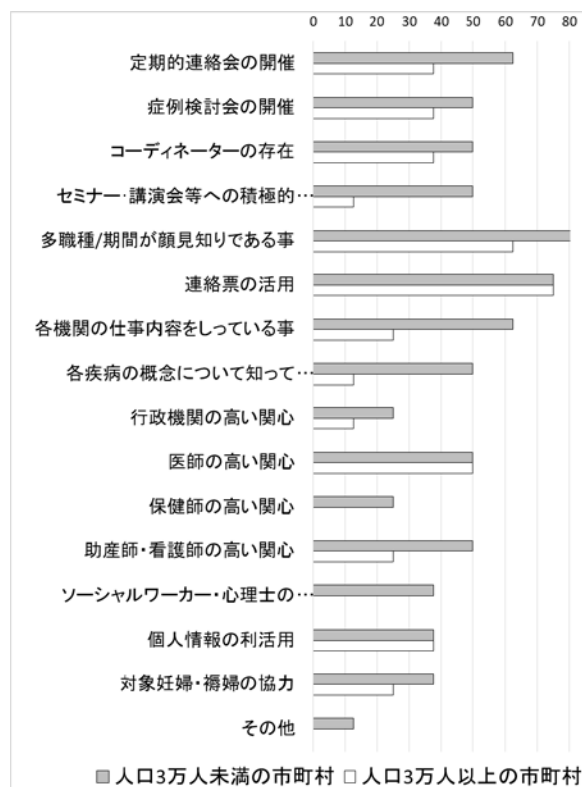
A23 エジンバラ産後うつ病自己尺度(Edinburgh Postnatal Depression Scale; EPDS) をご存知ですか/ご使用されたことありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている/使用した	8	8	100.0	100.0
知っている/使用した事ない	0	0	0.0	0.0
知らない/使用した事ない	0	0	0.0	0.0



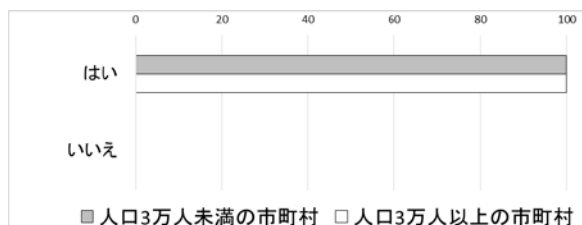
A24 妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
定期的連絡会の開催	5	3	62.5	37.5
症例検討会の開催	4	3	50.0	37.5
コーディネーターの存在	4	3	50.0	37.5
セミナー・講演会等への積極的参加	4	1	50.0	12.5
多職種/期間が顔見知りである事	7	5	87.5	62.5
連絡票の活用	6	6	75.0	75.0
各機関の仕事内容をしている事	5	2	62.5	25.0
各疾病の概念について知っている事	4	1	50.0	12.5
行政機関の高い関心	2	1	25.0	12.5
医師の高い関心	4	4	50.0	50.0
保健師の高い関心	2	0	25.0	0.0
助産師・看護師の高い関心	4	2	50.0	25.0
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	3	0	37.5	0.0
個人情報の利活用	3	3	37.5	37.5
対象妊婦・褥婦の協力	3	2	37.5	25.0
その他	1	0	12.5	0.0



A25 平成28年～29年にかけて一部、児童福祉法が改正されたことはご存知ですか？

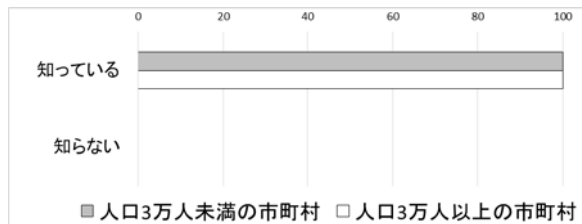
	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
はい	8	8	100.0	100.0
いいえ	0	0	0.0	0.0



A26 改正された児童福祉法に下記内容が明記されたことはご存知ですか？

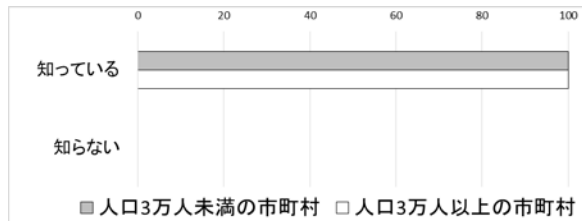
a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供しよう努めること

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている	8	8	100.0	100.0
知らない	0	0	0.0	0.0



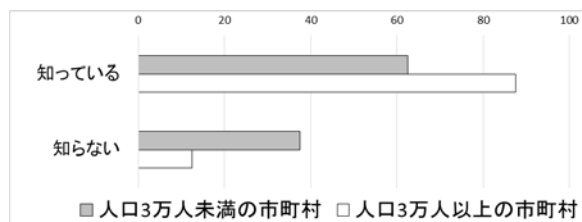
b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職を配備すること

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている	8	8	100.0	100.0
知らない	0	0	0.0	0.0



c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

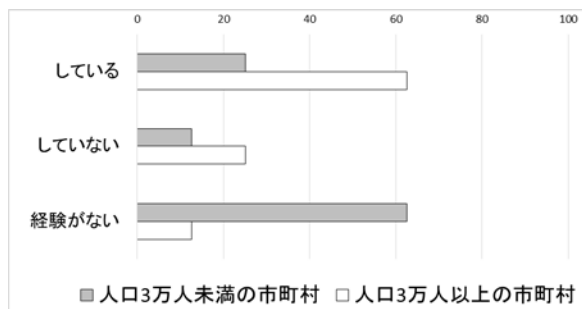
	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている	5	7	62.5	87.5
知らない	3	1	37.5	12.5



A27 児童虐待のハイリスク妊婦／褥婦に遭遇した場合の対応についてお聞きします。

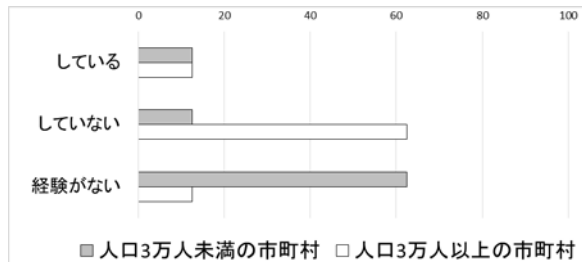
a. 里親制度について母親に情報提供していますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
している	2	5	25.0	62.5
していない	1	2	12.5	25.0
経験がない	5	1	62.5	12.5



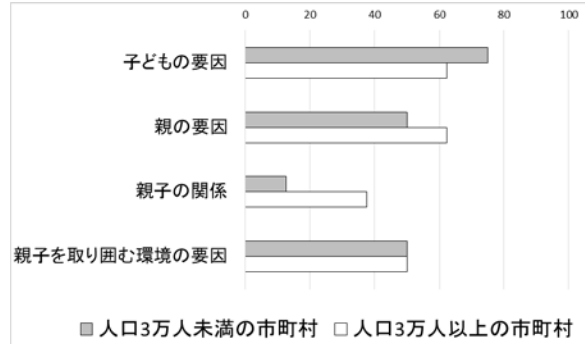
b. その場合、斡旋団体を紹介していますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
している	1	1	12.5	12.5
していない	1	5	12.5	62.5
経験がない	5	1	62.5	12.5



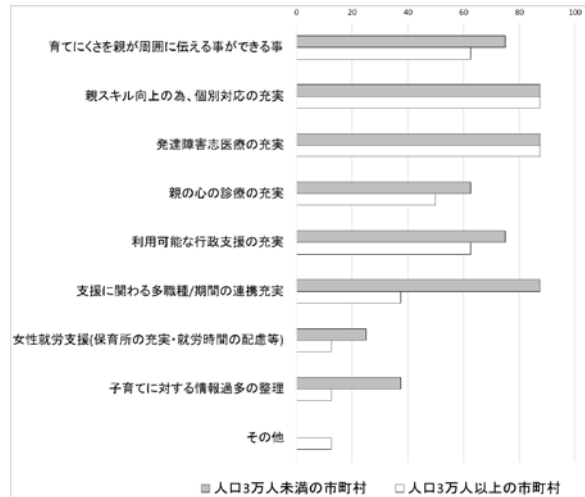
B1 保護者が感じる「育てにくさ」の主な要因は以下のどれだと思われますか？
2つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
子どもの要因	6	5	75.0	62.5
親の要因	4	5	50.0	62.5
親子の関係	1	3	12.5	37.5
親子を取り囲む環境の要因	4	4	50.0	50.0



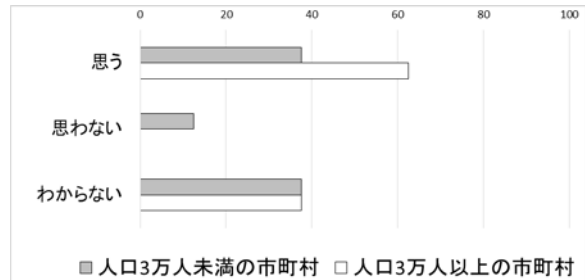
B2 「育てにくさ」を支援するために何が必要と思われますか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
育てにくさを親が周囲に伝える事ができる事	6	5	75.0	62.5
親スキル向上の為、個別対応の充実	7	7	87.5	87.5
発達障害志医療の充実	7	7	87.5	87.5
親の心の診療の充実	5	4	62.5	50.0
利用可能な行政支援の充実	6	5	75.0	62.5
支援に関わる多職種/期間の連携充実	7	3	87.5	37.5
女性就労支援(保育所の充実・就労時間の配慮等)	2	1	25.0	12.5
子育てに対する情報過多の整理	3	1	37.5	12.5
その他	0	1	0.0	12.5



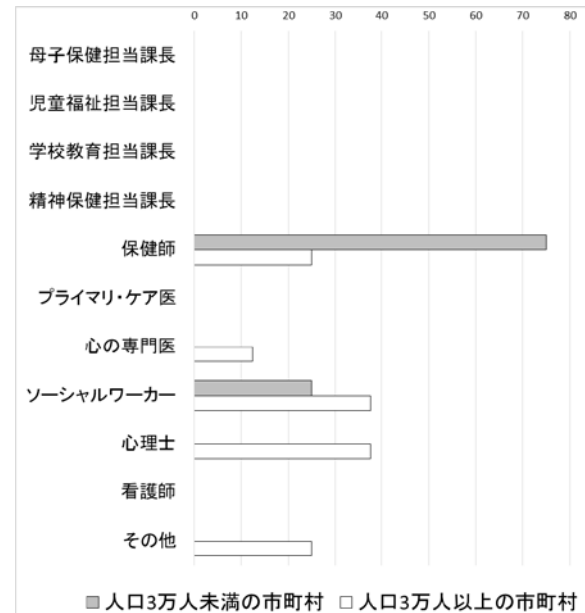
B3 育てにくさを感じる親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要と思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	3	5	37.5	62.5
思わない	1	0	12.5	0.0
わからない	3	3	37.5	37.5



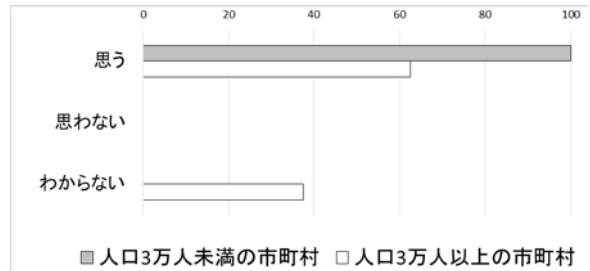
B4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母子保健担当課長	0	0	0.0	0.0
児童福祉担当課長	0	0	0.0	0.0
学校教育担当課長	0	0	0.0	0.0
精神保健担当課長	0	0	0.0	0.0
保健師	6	2	75.0	25.0
プライマリ・ケア医	0	0	0.0	0.0
心の専門医	0	1	0.0	12.5
ソーシャルワーカー	2	3	25.0	37.5
心理士	0	3	0.0	37.5
看護師	0	0	0.0	0.0
その他	0	2	0.0	25.0



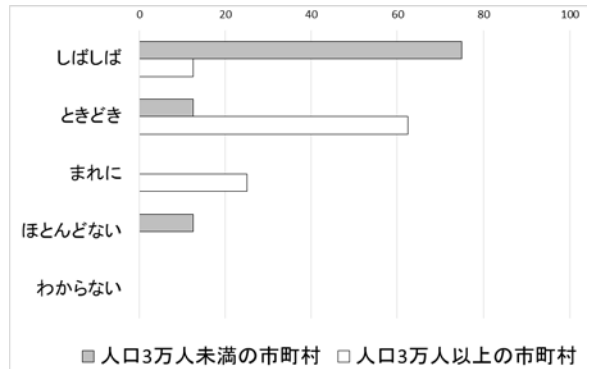
B5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センターに配置することを必要と思われ
ますか？

	人口3万人 未満の市町村 N	人口3万人 以上の市町村 N	人口3万人 未満の市町村 %	人口3万人 以上の市町村 %
思う	8	5	100.0	62.5
思わない	0	0	0.0	0.0
わからない	0	3	0.0	37.5



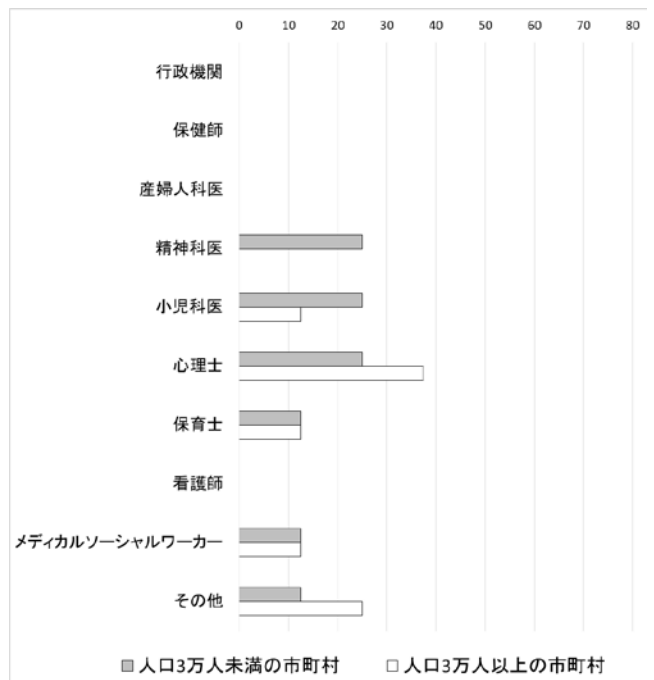
B6 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施され
ていますか？

	人口3万人 未満の市町村 N	人口3万人 以上の市町村 N	人口3万人 未満の市町村 %	人口3万人 以上の市町村 %
しばしば	6	1	75.0	12.5
ときどき	1	5	12.5	62.5
まれに	0	2	0.0	25.0
ほとんどない	1	0	12.5	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



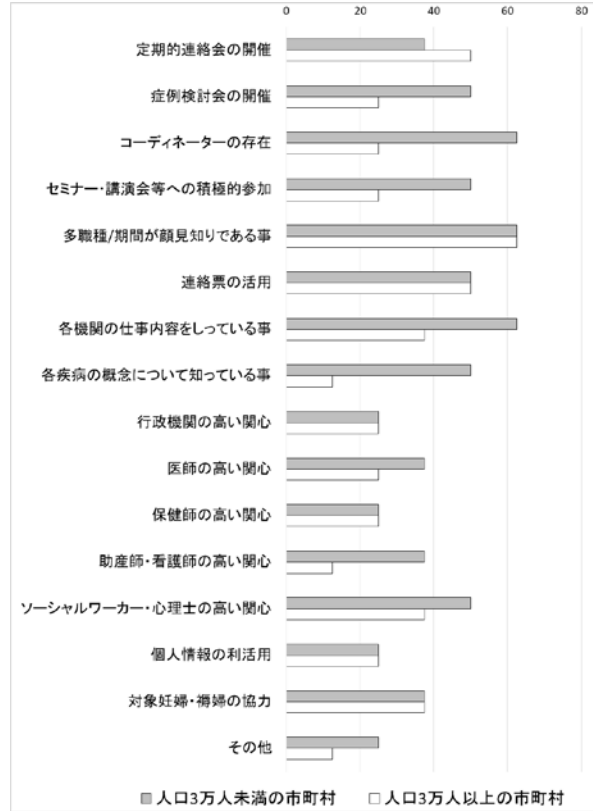
B7 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携のために今後もっとも連携を強化し
たい機関/職種を1つ選んでください。

	人口3万人 未満の市町村 N	人口3万人 以上の市町村 N	人口3万人 未満の市町村 %	人口3万人 以上の市町村 %
行政機関	0	0	0.0	0.0
保健師	0	0	0.0	0.0
産婦人科医	0	0	0.0	0.0
精神科医	2	0	25.0	0.0
小児科医	2	1	25.0	12.5
心理士	2	3	25.0	37.5
保育士	1	1	12.5	12.5
看護師	0	0	0.0	0.0
メディカルソーシャルワーカー	1	1	12.5	12.5
その他	1	2	12.5	25.0



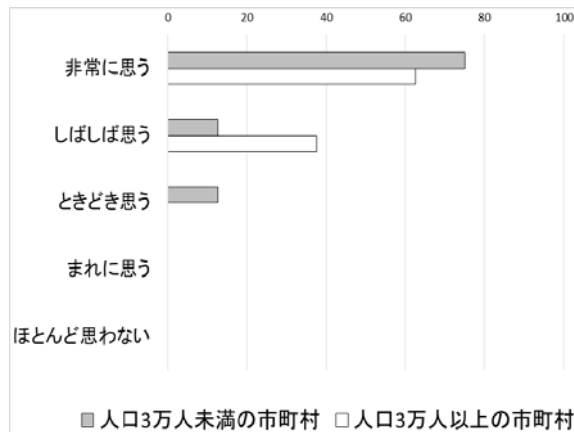
B8 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなんでしょうか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
定期的連絡会の開催	3	4	37.5	50.0
症例検討会の開催	4	2	50.0	25.0
コーディネーターの存在	5	2	62.5	25.0
セミナー・講演会等への積極的参加	4	2	50.0	25.0
多職種/期間が顔見知りである事	5	5	62.5	62.5
連絡票の活用	4	4	50.0	50.0
各機関の仕事内容を知っている事	5	3	62.5	37.5
各疾病の概念について知っている事	4	1	50.0	12.5
行政機関の高い関心	2	2	25.0	25.0
医師の高い関心	3	2	37.5	25.0
保健師の高い関心	2	2	25.0	25.0
助産師・看護師の高い関心	3	1	37.5	12.5
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	4	3	50.0	37.5
個人情報の利活用	2	2	25.0	25.0
対象妊婦・褥婦の協力	3	3	37.5	37.5
その他	2	1	25.0	12.5



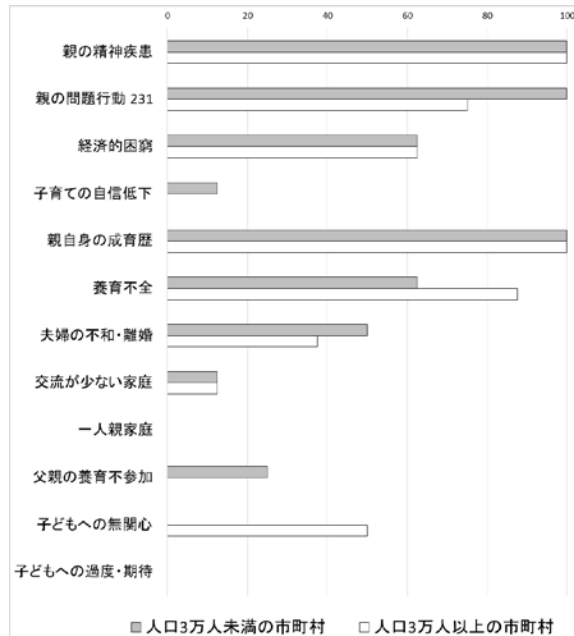
C1 子どもの心の問題は、親の心の問題（親子関係、親の病気等）が関係していると思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
非常に思う	6	5	75.0	62.5
しばしば思う	1	3	12.5	37.5
ときどき思う	1	0	12.5	0.0
まれに思う	0	0	0.0	0.0
ほとんど思わない	0	0	0.0	0.0



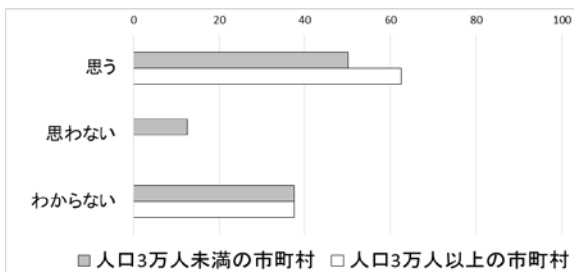
C2 親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？ 5つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
親の精神疾患	8	8	100.0	100.0
親の問題行動 231	8	6	100.0	75.0
経済的困窮	5	5	62.5	62.5
子育ての自信低下	1	0	12.5	0.0
親自身の成育歴	8	8	100.0	100.0
養育不全	5	7	62.5	87.5
夫婦の不和・離婚	4	3	50.0	37.5
交流が少ない家庭	1	1	12.5	12.5
一人親家庭	0	0	0.0	0.0
父親の養育不参加	2	0	25.0	0.0
子どもへの無関心	0	4	0.0	50.0
子どもへの過度・期待	0	0	0.0	0.0



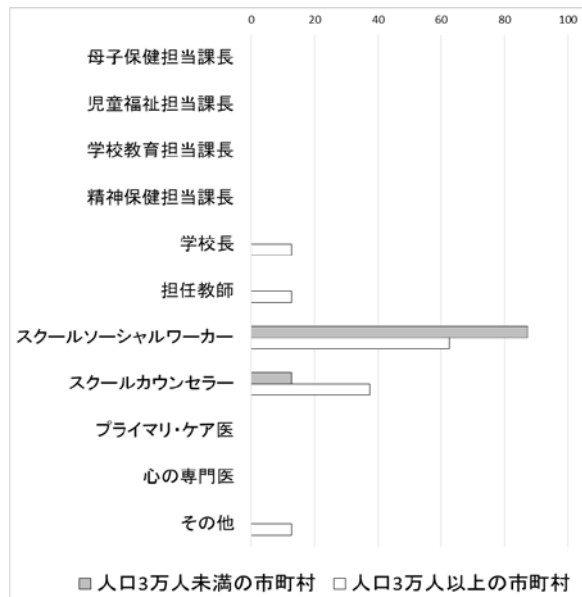
C3 学童・思春期の親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	4	5	50.0	62.5
思わない	1	0	12.5	0.0
わからない	3	3	37.5	37.5



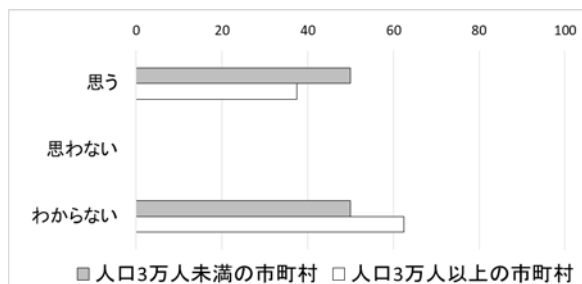
C 4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母子保健担当課長	0	0	0.0	0.0
児童福祉担当課長	0	0	0.0	0.0
学校教育担当課長	0	0	0.0	0.0
精神保健担当課長	0	0	0.0	0.0
学校長	0	1	0.0	12.5
担任教師	0	1	0.0	12.5
スクールソーシャルワーカー	7	5	87.5	62.5
スクールカウンセラー	1	3	12.5	37.5
プライマリ・ケア医	0	0	0.0	0.0
心の専門医	0	0	0.0	0.0
その他	0	1	0.0	12.5



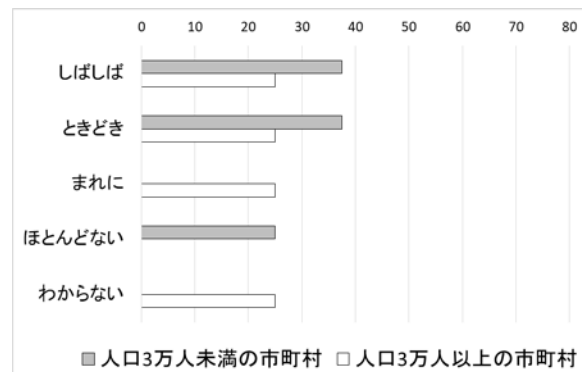
C 5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	4	3	50.0	37.5
思わない	0	0	0.0	0.0
わからない	4	5	50.0	62.5



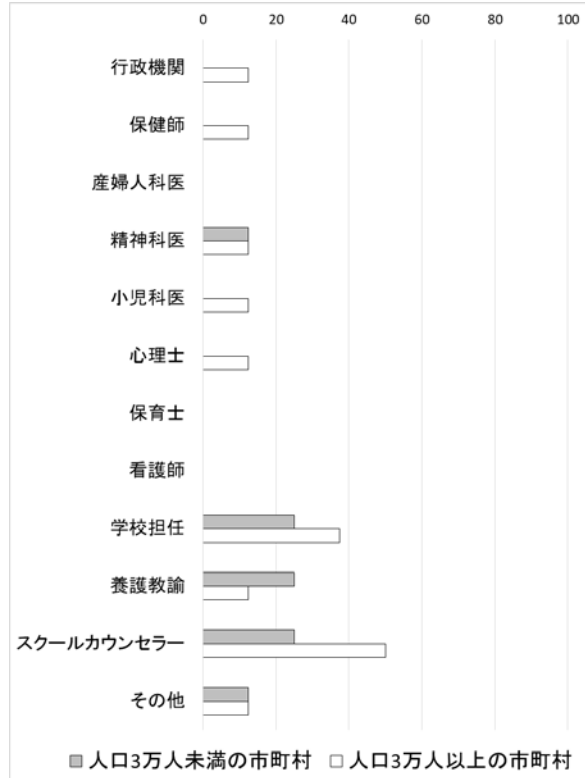
C 6 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
しばしば	3	2	37.5	25.0
ときどき	3	2	37.5	25.0
まれに	0	2	0.0	25.0
ほとんどない	2	0	25.0	0.0
わからない	0	2	0.0	25.0



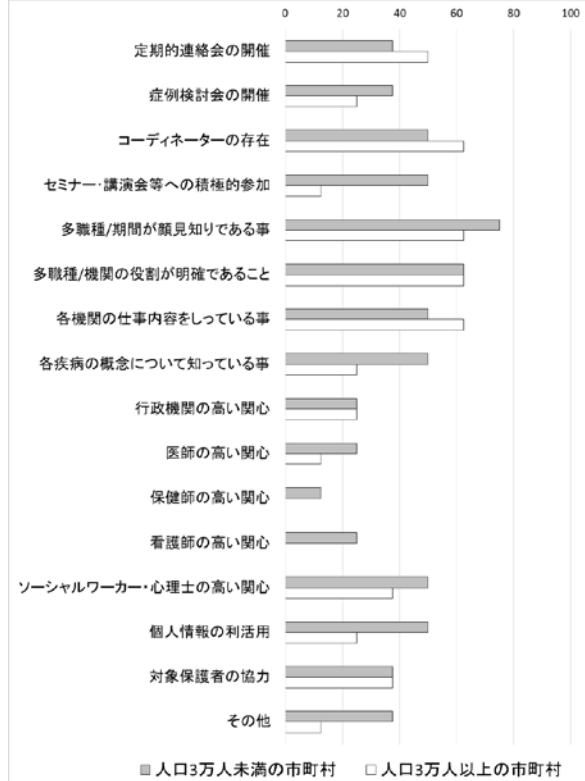
C7 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
行政機関	0	1	0.0	12.5
保健師	0	1	0.0	12.5
産婦人科医	0	0	0.0	0.0
精神科医	1	1	12.5	12.5
小児科医	0	1	0.0	12.5
心理士	0	1	0.0	12.5
保育士	0	0	0.0	0.0
看護師	0	0	0.0	0.0
学校担任	2	3	25.0	37.5
養護教諭	2	1	25.0	12.5
スクールカウンセラー	2	4	25.0	50.0
その他	1	1	12.5	12.5



C8 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか？（複数回答可）

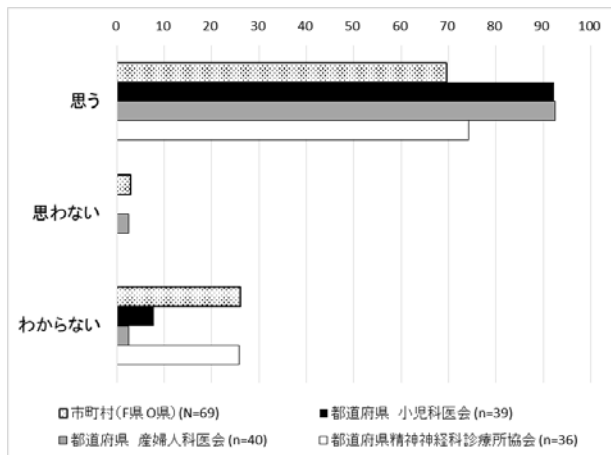
	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
定期的連絡会の開催	3	4	37.5	50.0
症例検討会の開催	3	2	37.5	25.0
コーディネーターの存在	4	5	50.0	62.5
セミナー・講演会等への積極的参加	4	1	50.0	12.5
多職種/期間が顔見知りである事	6	5	75.0	62.5
多職種/機関の役割が明確であること	5	5	62.5	62.5
各機関の仕事内容を知っている事	4	5	50.0	62.5
各疾病の概念について知っている事	4	2	50.0	25.0
行政機関の高い関心	2	2	25.0	25.0
医師の高い関心	2	1	25.0	12.5
保健師の高い関心	1	0	12.5	0.0
看護師の高い関心	2	0	25.0	0.0
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	4	3	50.0	37.5
個人情報の利活用	4	2	50.0	25.0
対象保護者の協力	3	3	37.5	37.5
その他	3	1	37.5	12.5



A1/A1/A1/A1 妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市区町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神神経診療所協会 (n=36)
思う	69.6	92.3	92.5	74.2
思わない	2.9	0	2.5	0
わからない	26.1	7.7	2.5	25.8

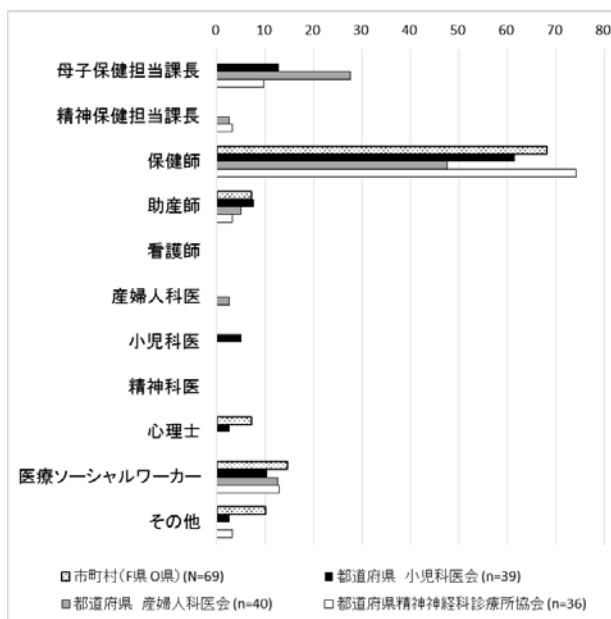
値は%を示す



A2/A2/A2/A2 コーディネーターが必要となった場合、各市区町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？ 1つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神神経診療所協会 (n=36)
母子保健担当課長	0.0	12.8	27.5	9.7
精神保健担当課長	0.0	0	2.5	3.2
保健師	68.1	61.5	47.5	74.2
助産師	7.2	7.7	5	3.2
看護師	0.0	0	0	0
産婦人科医	0.0	0	2.5	0
小児科医	0.0	5.1	0	0
精神科医	0.0	0	0	0
心理士	7.2	2.6	0	0
医療ソーシャルワーカー	14.5	10.3	12.5	12.9
その他	10.1	2.6	0	3.2

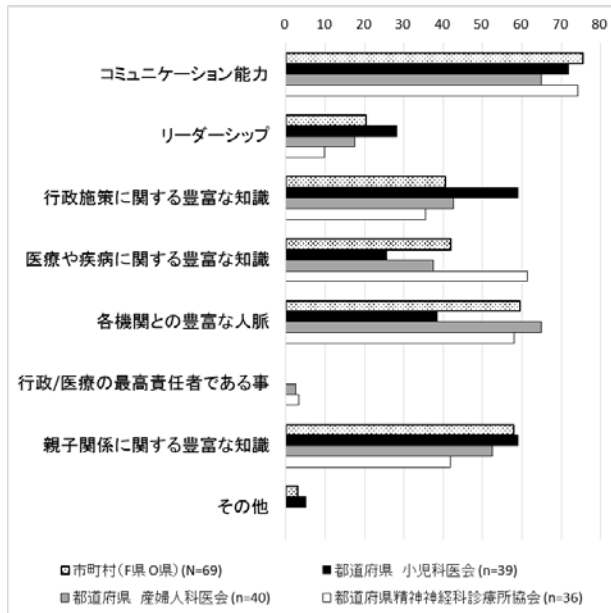
値は%を示す



A3/A3/A3/A3 コーディネーターに求められるスキルは何でしょうか？ 3つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神神経診療所協会 (n=36)
コミュニケーション能力	75.4	71.8	65	74.2
リーダーシップ	20.3	28.2	17.5	9.7
行政施策に関する豊富な知識	40.6	59	42.5	35.5
医療や疾病に関する豊富な知識	42.0	25.6	37.5	61.3
各機関との豊富な人脈	59.4	38.5	65	58.1
行政/医療の最高責任者である事	0.0	0	2.5	3.2
親子関係に関する豊富な知識	58.0	59	52.5	41.9
その他	2.9	5.1	0	0

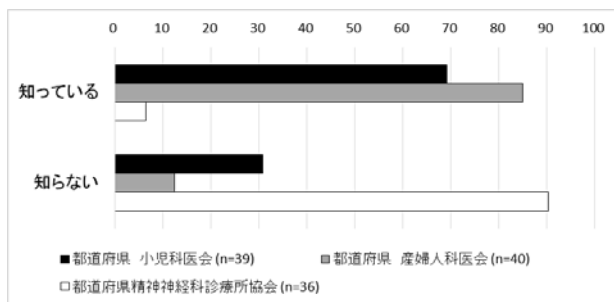
値は%を示す



一/A4/A4/A4 妊娠期から乳児期までの様々なニーズに対して切れ目ないワンストップ総合的相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」が全国市区町村に設置される予定があるのをご存知ですか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
知っている		69.2	85	6.5
知らない		30.8	12.5	90.3

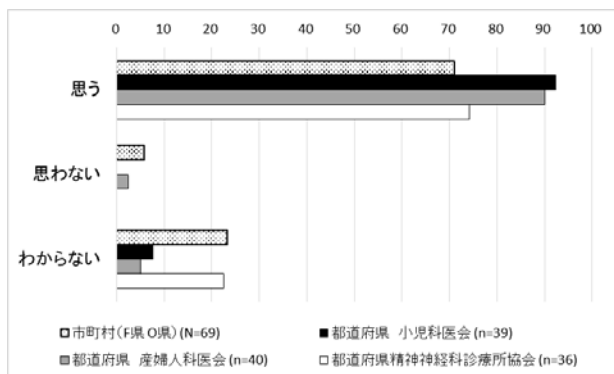
値は%を示す



A4/A5/A5/A5 コーディネーターを、将来（現在）設置される（されている）「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
思う	71.0	92.3	90	74.2
思わない	5.8	0	2.5	0
わからない	23.2	7.7	5	22.6

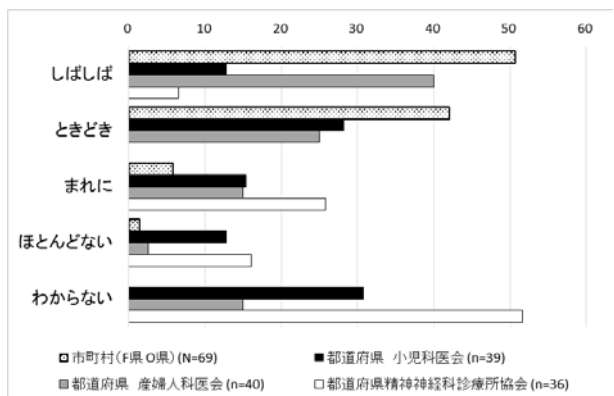
値は%を示す



A5/A6/A6/A6 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
しばしば	50.7	12.8	40	6.5
ときどき	42.0	28.2	25	0
まれに	5.8	15.4	15	25.8
ほとんどない	1.4	12.8	2.5	16.1
わからない	0.0	30.8	15	51.6

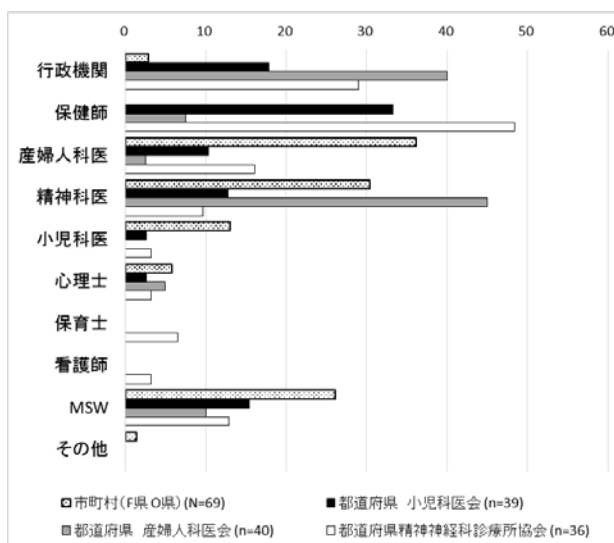
値は%を示す



A22/A7/A7/A7 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

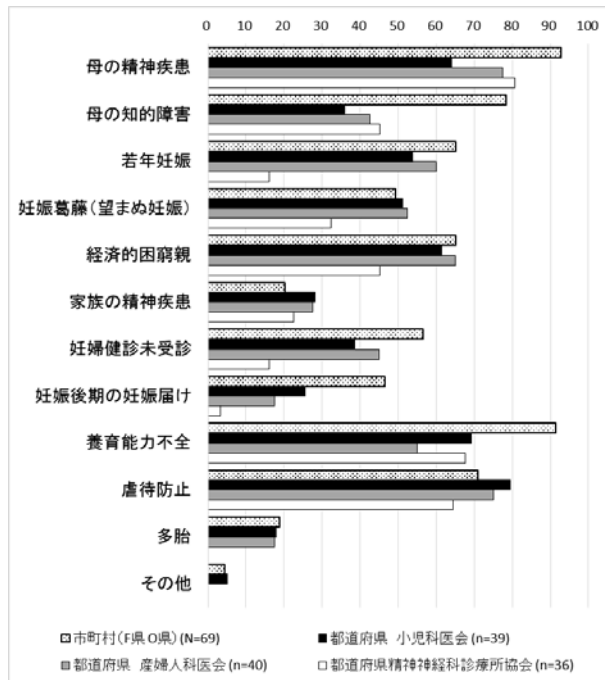
	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
行政機関	2.9	17.9	40	29
保健師	0.0	33.3	7.5	48.4
産婦人科医	36.2	10.3	2.5	16.1
精神科医	30.4	12.8	45	9.7
小児科医	13.0	2.6	0	3.2
心理士	5.8	2.6	5	3.2
保育士	0.0	0	0	6.5
看護師	0.0	0	0	3.2
MSW	26.1	15.4	10	12.9
その他	1.4	0	0	0

値は%を示す



A6/A8/A8/A8 連携が特に必要と思われる主な理由は何ですか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
母の精神疾患	92.8	64.1	77.5	80.6
母の知的障害	78.3	35.9	42.5	45.2
若年妊娠	65.2	53.8	60	16.1
妊娠葛藤 (望まぬ妊娠)	49.3	51.3	52.5	32.3
経済的困窮親	65.2	61.5	65	45.2
家族の精神疾患	20.3	28.2	27.5	22.6
妊婦健診未受診	56.5	38.5	45	16.1
妊娠後期の妊娠届け	46.4	25.6	17.5	3.2
養育能力不全	91.3	69.2	55	67.7
虐待防止	71.0	79.5	75	64.5
多胎	18.8	17.9	17.5	0
その他	4.3	5.1	0	0



-/A9/-/- 特定妊婦から出生した子どもに関する情報を、何らかの形で行政機関と共有するシステムはありますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
ある		33.3		
ない		25.6		
わからない		38.5		

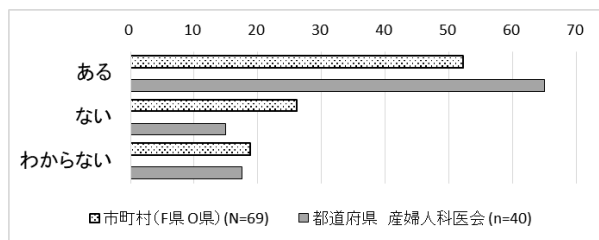
値は%を示す



A8/-/A9/- 地域の中で周産期のメンタルヘルスの問題 (妊婦・褥婦の精神疾患等) を診ている精神科はありますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
ある	52.2		65	
ない	26.1		15	
わからない	18.8		17.5	

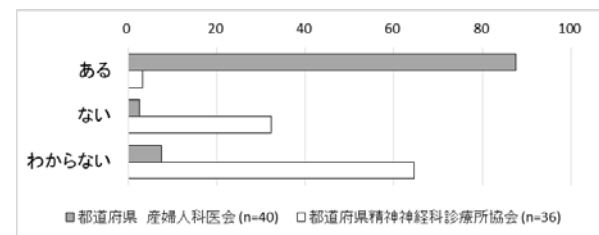
値は%を示す



-/-/A10/A9 特定妊婦の情報を何らかの形で、行政機関と共有するシステムはありますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
ある			87.5	3.2
ない			2.5	32.3
わからない			7.5	64.5

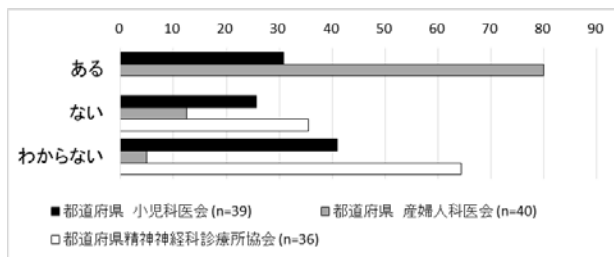
値は%を示す



一/A10/A11/A10 行政機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
ある		30.8	80	0
ない		25.6	12.5	35.5
わからない		41	5	64.5

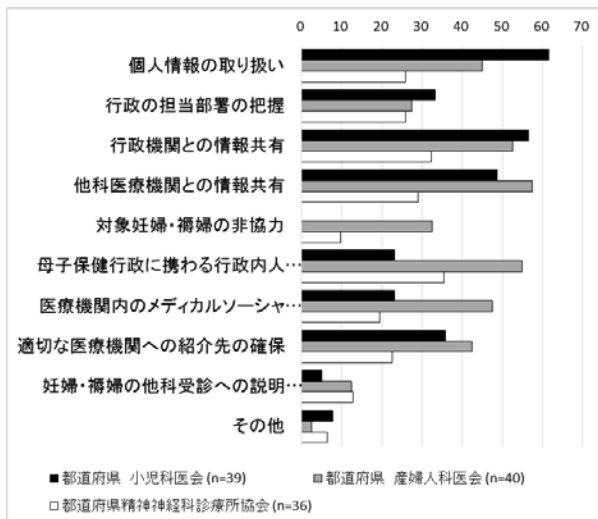
値は%を示す



一/A11/A13/A11 行政機関・他科医療機関との連携のために困っておられることは何ですか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
個人情報の取り扱い		61.5	45	25.8
行政の担当部署の把握		33.3	27.5	25.8
行政機関との情報共有		56.4	52.5	32.3
他科医療機関との情報共有		48.7	57.5	29
対象妊婦・褥婦の非協力		0	32.5	9.7
母子保健行政に携わる行政内人材不足		23.1	55	35.5
医療機関内のメディカルソーシャルワーカーの欠員/不足		23.1	47.5	19.4
適切な医療機関への紹介先の確保		35.9	42.5	22.6
妊婦・褥婦の他科受診への説明方法		5.1	12.5	12.9
その他		7.7	2.5	6.5

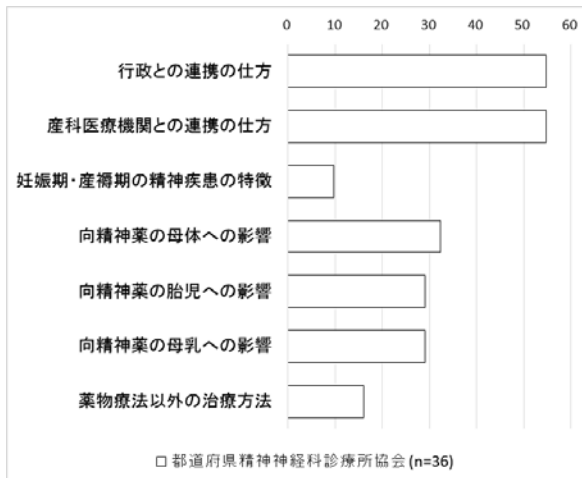
値は%を示す



一/A12/A12 周産期のメンタルヘルスの診療 (妊婦の精神疾患等) で知っておきたいことはありますか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
行政との連携の仕方				54.8
産科医療機関との連携の仕方				54.8
妊娠期・産褥期の精神疾患の特徴				9.7
向精神薬の母体への影響				32.3
向精神薬の胎児への影響				29
向精神薬の母乳への影響				29
薬物療法以外の治療方法				16.1
その他				0

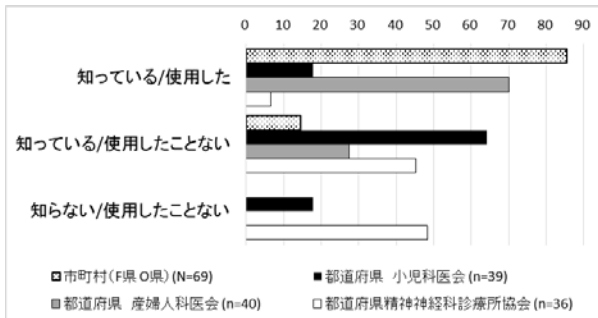
値は%を示す



A23/A12/A12/A13 エジンバラ産後うつ病自己尺度(Edinburgh Postnatal Depression Scale; EPDS)をご存知ですか/ご使用されたことありますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
知っている/使用した	85.5	17.9	70	6.5
知っている/使用したことない	14.5	64.1	27.5	45.2
知らない/使用したことない	0.0	17.9	0	48.4

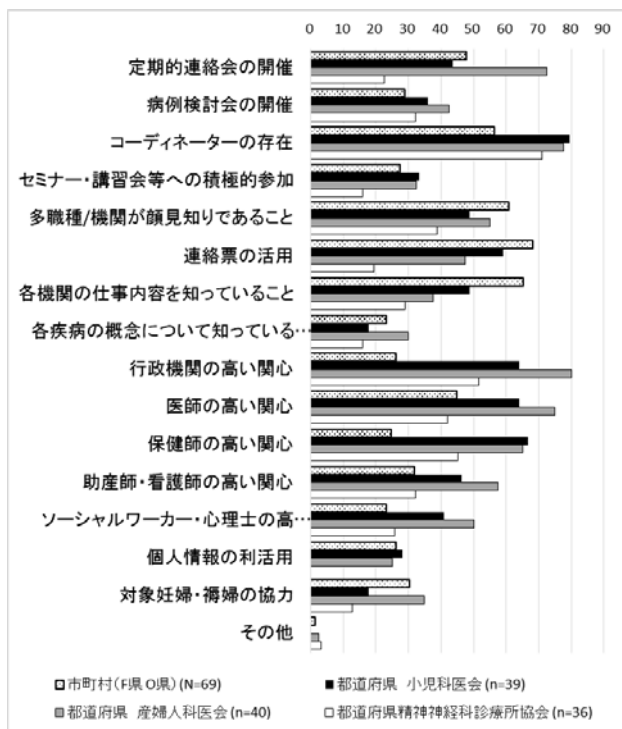
値は%を示す



A24 / A13/A14/A14 妊娠前から乳児期の親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなんでしょうか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
定期的連絡会の開催	47.8	43.6	72.5	22.6
病例検討会の開催	29.0	35.9	42.5	32.3
コーディネーターの存在	56.5	79.5	77.5	71
セミナー・講習会等への積極的参加	27.5	33.3	32.5	16.1
多職種/機関が顔見知りであること	60.9	48.7	55	38.7
連絡票の活用	68.1	59	47.5	19.4
各機関の仕事内容を知っていること	65.2	48.7	37.5	29
各疾病の概念について知っていること	23.2	17.9	30	16.1
行政機関の高い関心	26.1	64.1	80	51.6
医師の高い関心	44.9	64.1	75	41.9
保健師の高い関心	24.6	66.7	65	45.2
助産師・看護師の高い関心	31.9	46.2	57.5	32.3
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	23.2	41	50	25.8
個人情報の利活用	26.1	28.2	25	0
対象妊婦・褥婦の協力	30.4	17.9	35	12.9
その他	1.4	0	2.5	3.2

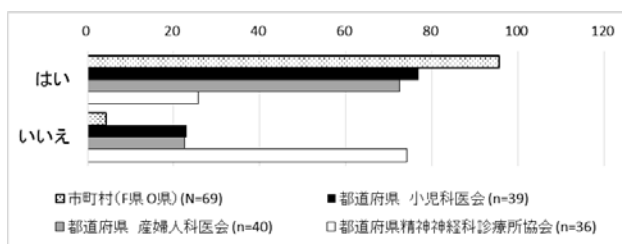
値は%を示す



A25/A14/A15/A15 平成28年～29年にかけて一部、児童福祉法が改正されたことはご存知ですか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
はい	95.7	76.9	72.5	25.8
いいえ	4.3	23.1	22.5	74.2

値は%を示す

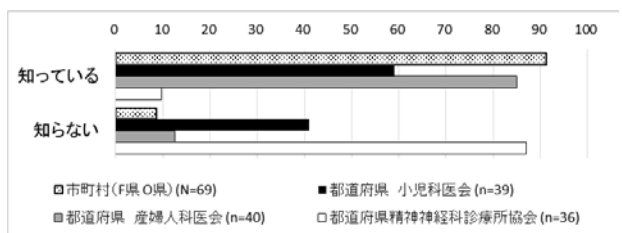


A26/A15/A16/A16 改正された児童福祉法に下記内容が明記されたことはご存知ですか？

a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供するよう努めること

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
知っている	91.3	59	85	9.7
知らない	8.7	41	12.5	87.1

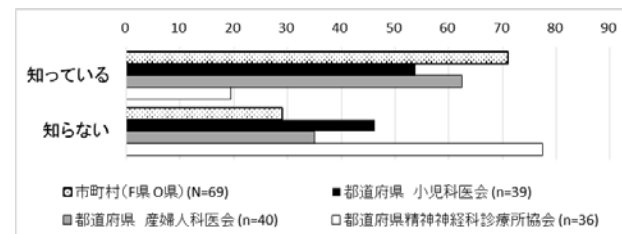
値は%を示す



b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職を配備すること

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
知っている	71.0	53.8	62.5	19.4
知らない	29.0	46.2	35	77.4

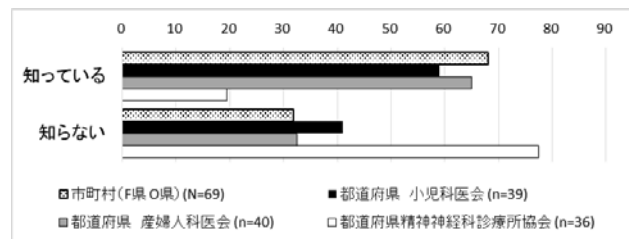
値は%を示す



c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
知っている	68.1	59	65	19.4
知らない	31.9	41	32.5	77.4

値は%を示す

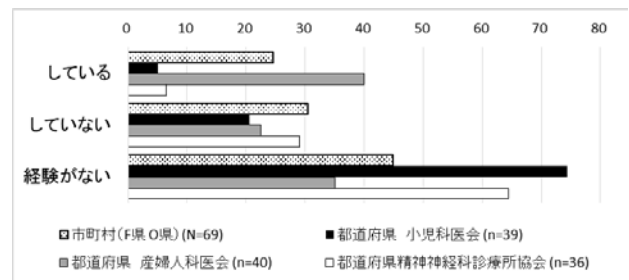


A27/A16/A17/A17 児童虐待のハイリスク妊婦/褥婦に遭遇した場合の対応についてお聞きします。

a. 里親制度について母親に情報提供していますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
している	24.6	5.1	40	6.5
していない	30.4	20.5	22.5	29
経験がない	44.9	74.4	35	64.5

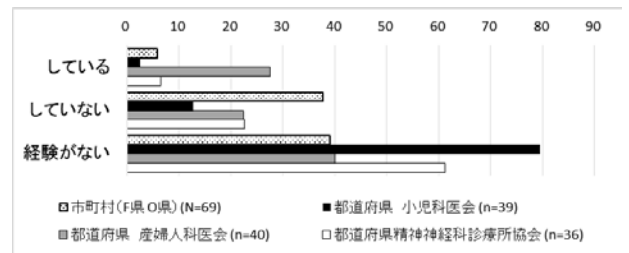
値は%を示す



b. その場合、斡旋団体を紹介していますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
している	5.8	2.6	27.5	6.5
していない	37.7	12.8	22.5	22.6
経験がない	39.1	79.5	40	61.3

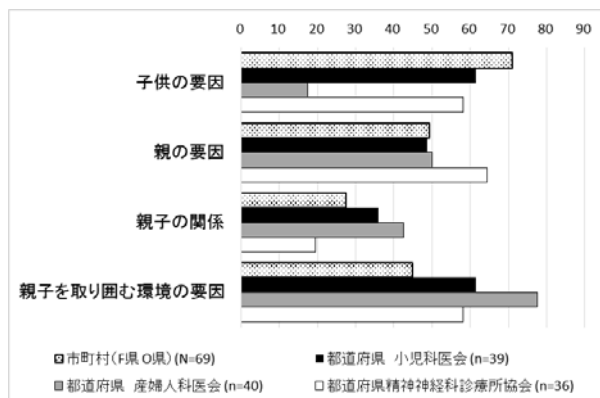
値は%を示す



B1/B1/C2/B1 保護者が感じる「育てにくさ」の主な要因は以下のどれだと思われますか？ 2つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
子供の要因	71.0	61.5	17.5	58.1
親の要因	49.3	48.7	50	64.5
親子の関係	27.5	35.9	42.5	19.4
親子を取り囲む環境の要因	44.9	61.5	77.5	58.1

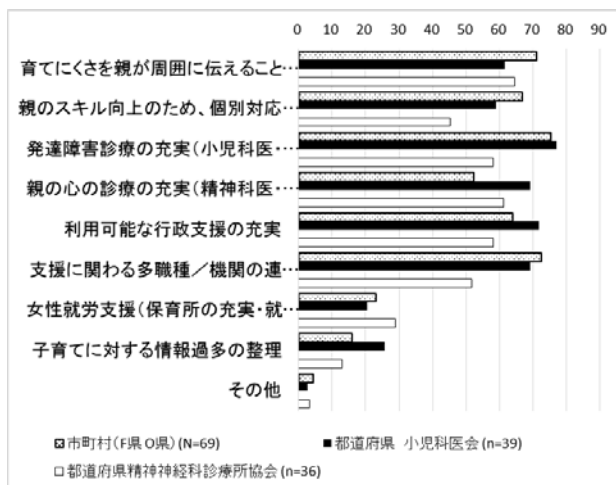
値は%を示す



B2/B2-/B2 「育てにくさ」を支援するために何が必要と思われますか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
育てにくさを親が周囲に伝えることができること	71.0	61.5	64.5	64.5
親のスキル向上のため、個別対応の充実	66.7	59	45.2	45.2
発達障害診療の充実 (小児科医・児童精神科)	75.4	76.9	58.1	58.1
親の心の診療の充実 (精神科医・診療内科医)	52.2	69.2	61.3	61.3
利用可能な行政支援の充実	63.8	71.8	58.1	58.1
支援に関わる多職種/機関の連携充実	72.5	69.2	51.6	51.6
女性就労支援 (保育所の充実・就労時間の配慮等)	23.2	20.5	29	29
子育てに対する情報過多の整理	15.9	25.6	12.9	12.9
その他	4.3	2.6	3.2	3.2

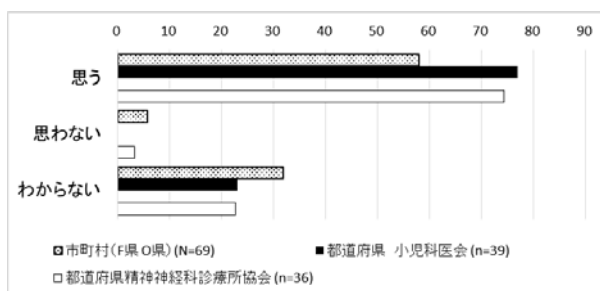
値は%を示す



B3/B3-/B3 育てにくさを感じる親子の心の診療のために、各市町村単位のコーディネーターが必要だと思いますか？

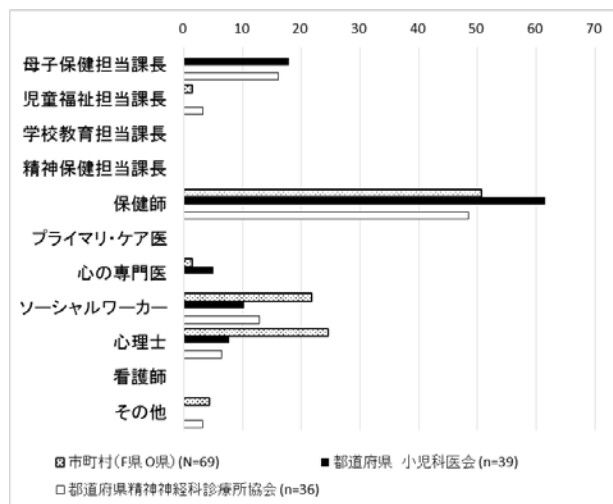
	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
思う	58.0	76.9	74.2	74.2
思わない	5.8	0	3.2	3.2
わからない	31.9	23.1	22.6	22.6

値は%を示す



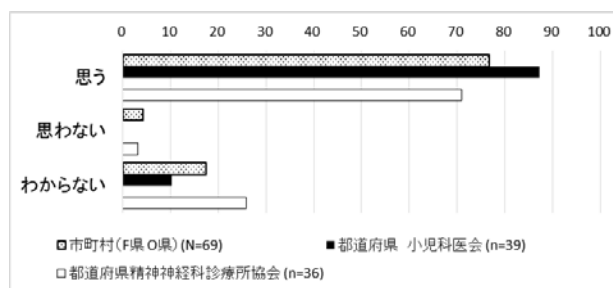
B4/B4-/B4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
母子保健担当課長	0.0	17.9		16.1
児童福祉担当課長	1.4	0		3.2
学校教育担当課長	0.0	0		0
精神保健担当課長	0.0	0		0
保健師	50.7	61.5		48.4
プライマリ・ケア医	0.0	0		0
心の専門医	1.4	5.1		0
ソーシャルワーカー	21.7	10.3		12.9
心理士	24.6	7.7		6.5
看護師	0.0	0		0
その他	4.3	0		3.2
				値は%を示す



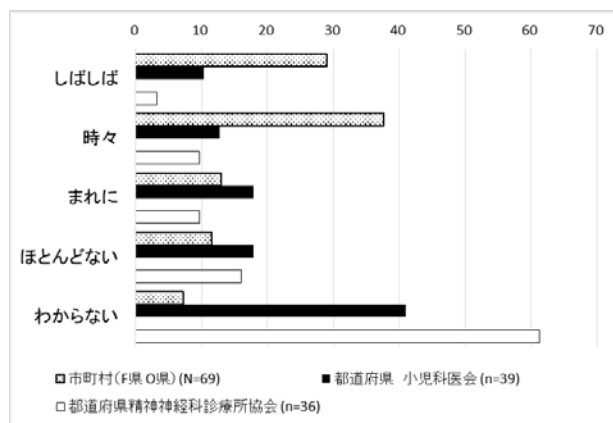
B5/B5-/B5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
思う	76.8	87.2		71
思わない	4.3	0		3.2
わからない	17.4	10.3		25.8
				値は%を示す



B6/B6-/B6 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

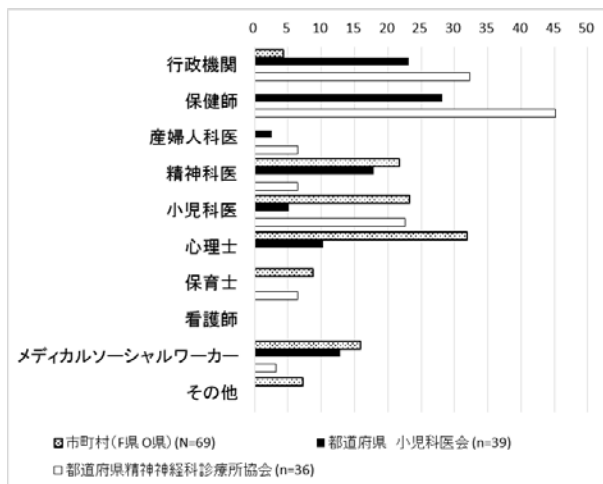
	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
しばしば	29.0	10.3		3.2
時々	37.7	12.8		9.7
まれに	13.0	17.9		9.7
ほとんどない	11.6	17.9		16.1
わからない	7.2	41		61.3
				値は%を示す



B7/B7-/B7 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
行政機関	4.3	23.1		32.3
保健師	0.0	28.2		45.2
産婦人科医	0.0	2.6		6.5
精神科医	21.7	17.9		6.5
小児科医	23.2	5.1		22.6
心理士	31.9	10.3		0
保育士	8.7	0		6.5
看護師	0.0	0		0
メディカルソーシャルワーカー	15.9	12.8		3.2
その他	7.2	0		0

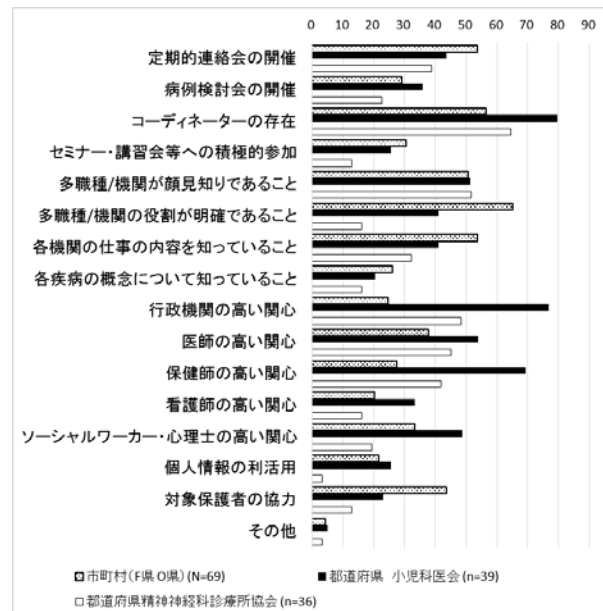
値は%を示す



B8/B8-/B8 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか? (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
定期的連絡会の開催	53.6	43.6		38.7
病例検討会の開催	29.0	35.9		22.6
コーディネーターの存在	56.5	79.5		64.5
セミナー・講習会等への積極的参加	30.4	25.6		12.9
多職種/機関が顔見知りであること	50.7	51.3		51.6
多職種/機関の役割が明確であること	65.2	41		16.1
各機関の仕事の内容を知っていること	53.6	41		32.3
各疾病の概念について知っていること	26.1	20.5		16.1
行政機関の高い関心	24.6	76.9		48.4
医師の高い関心	37.7	53.8		45.2
保健師の高い関心	27.5	69.2		41.9
看護師の高い関心	20.3	33.3		16.1
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	33.3	48.7		19.4
個人情報の利活用	21.7	25.6		3.2
対象保護者の協力	43.5	23.1		12.9
その他	4.3	5.1		3.2

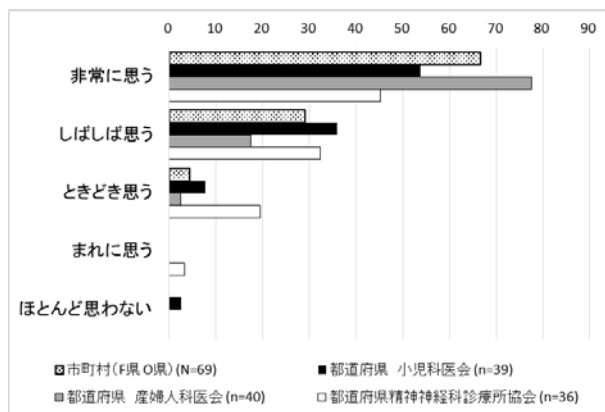
値は%を示す



C1/C1/C1/C1 子どもの心の問題は、親の心の問題(親子関係、親の病気等)が関係していると思いますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
非常に思う	66.7	53.8	77.5	45.2
しばしば思う	29.0	35.9	17.5	32.3
ときどき思う	4.3	7.7	2.5	19.4
まれに思う	0.0	0	0	3.2
ほとんど思わない	0.0	2.6	0	0

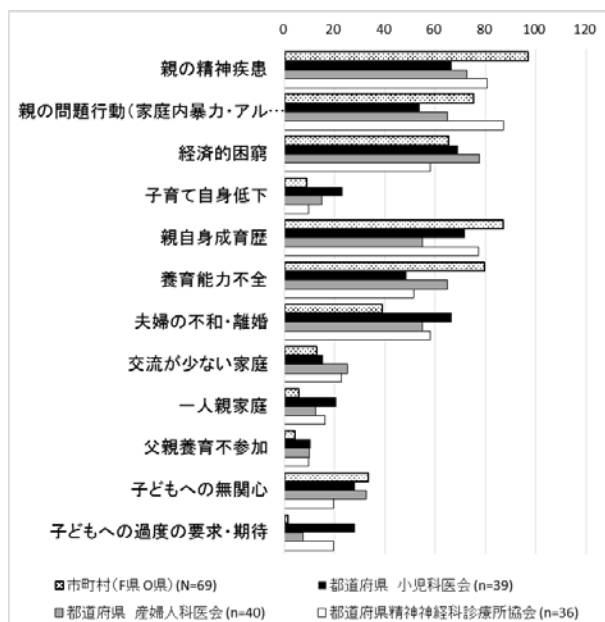
値は%を示す



C2/C2/C3/C2 親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？ 5つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
親の精神疾患	97.1	66.7	72.5	80.6
親の問題行動(家庭内暴力・アルコール依存等)	75.4	53.8	65	87.1
経済的困窮	65.2	69.2	77.5	58.1
子育て自身低下	8.7	23.1	15	9.7
親自身成育歴	87.0	71.8	55	77.4
養育能力不全	79.7	48.7	65	51.6
夫婦の不和・離婚	39.1	66.7	55	58.1
交流が少ない家庭	13.0	15.4	25	22.6
一人親家庭	5.8	20.5	12.5	16.1
父親養育不参加	4.3	10.3	10	9.7
子どもへの無関心	33.3	28.2	32.5	19.4
子どもへの過度の要求・期待	1.4	28.2	7.5	19.4

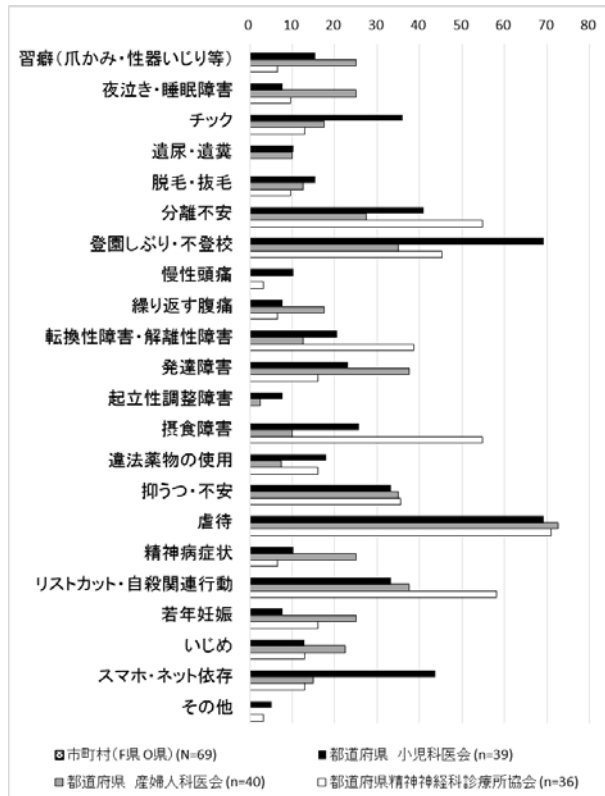
値は%を示す



一/C3/C4/C3 下記の子どもの疾患や心の問題で、親を含めた家族の心の問題の関与が強いと思われるものはどれでしょうか？ 5つ選んでください。

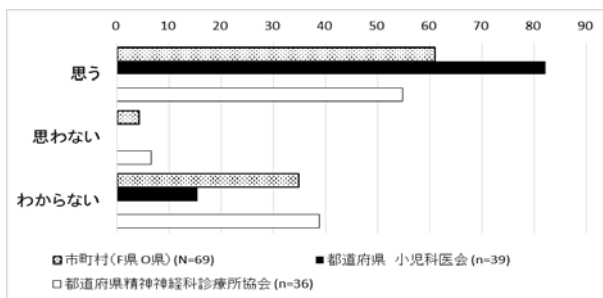
	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
習癖(爪かみ・性器いじり等)		15.4	25	6.5
夜泣き・睡眠障害		7.7	25	9.7
チック		35.9	17.5	12.9
遺尿・遺糞		10.3	10	0
脱毛・抜毛		15.4	12.5	9.7
分離不安		41	27.5	54.8
登園しぶり・不登校		69.2	35	45.2
慢性頭痛		10.3	0	3.2
繰り返す腹痛		7.7	17.5	6.5
転換性障害・解離性障害		20.5	12.5	38.7
発達障害		23.1	37.5	16.1
起立性調整障害		7.7	2.5	0
摂食障害		25.6	10	54.8
違法薬物の使用		17.9	7.5	16.1
抑うつ・不安		33.3	35	35.5
虐待		69.2	72.5	71
精神病症状		10.3	25	6.5
リストカット・自殺関連行動		33.3	37.5	58.1
若年妊娠		7.7	25	16.1
いじめ		12.8	22.5	12.9
スマホ・ネット依存		43.6	15	12.9
その他		5.1	0	3.2

値は%を示す



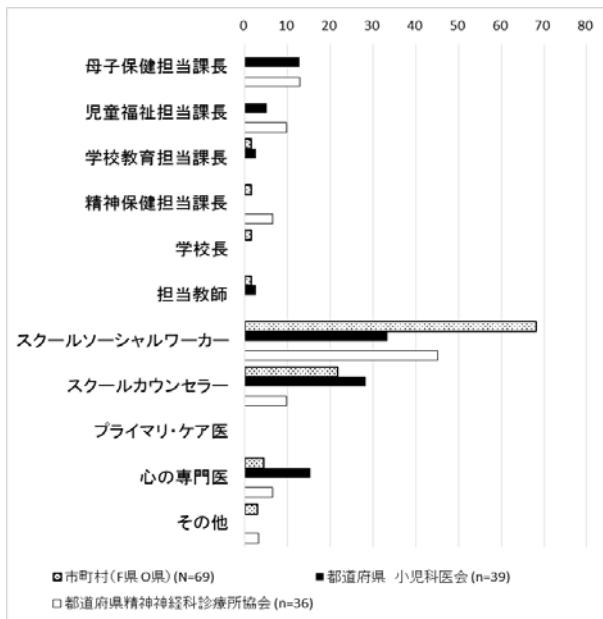
C3/C4/-/C4 学童・思春期の親子の心の診療のために、各市町村単位のコーディネーターが必要と
 思いますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
思う	60.9	82.1		54.8
思わない	4.3	0		6.5
わからない	34.8	15.4		38.7
				値は%を示す



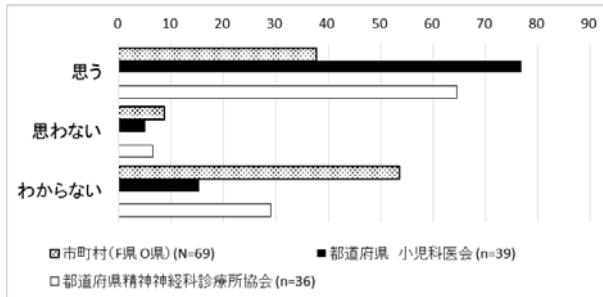
C4/C5/-/C5 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰
 が適任でしょうか？ 1つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
母子保健担当課長	0.0	12.8		12.9
児童福祉担当課長	0.0	5.1		9.7
学校教育担当課長	1.4	2.6		0
精神保健担当課長	1.4	0		6.5
学校長	1.4	0		0
担当教師	1.4	2.6		0
スクールソーシャルワーカー	68.1	33.3		45.2
スクールカウンセラー	21.7	28.2		9.7
プライマリ・ケア医	0.0	0		0
心の専門医	4.3	15.4		6.5
その他	2.9	0		3.2
				値は%を示す



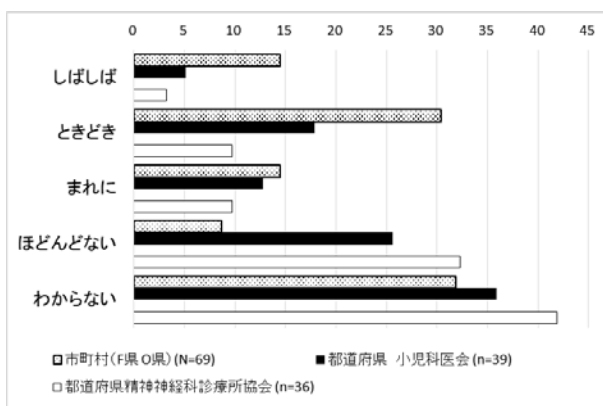
C5/C6/-/C6 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と
 思いますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
思う	37.7	76.9		64.5
思わない	8.7	5.1		6.5
わからない	53.6	15.4		29
				値は%を示す



C6/C7/-/C7 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施
 されていますか？

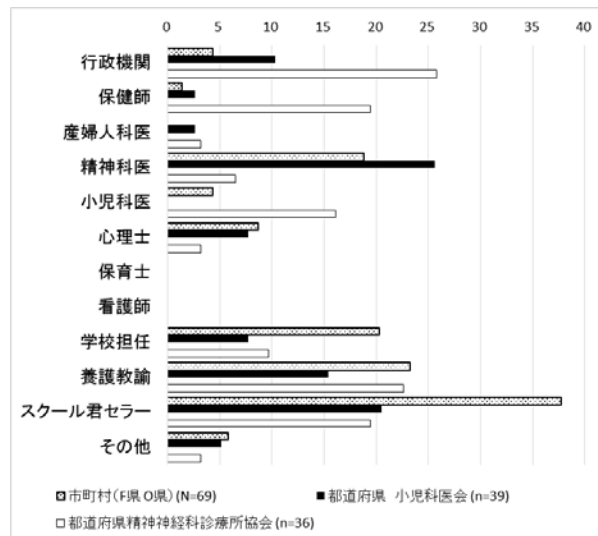
	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
しばしば	14.5	5.1		3.2
ときどき	30.4	17.9		9.7
まれに	14.5	12.8		9.7
ほとんどない	8.7	25.6		32.3
わからない	31.9	35.9		41.9
				値は%を示す



C7/C8/-/C8 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
行政機関	4.3	10.3		25.8
保健師	1.4	2.6		19.4
産婦人科医	0.0	2.6		3.2
精神科医	18.8	25.6		6.5
小児科医	4.3	0		16.1
心理士	8.7	7.7		3.2
保育士	0.0	0		0
看護師	0.0	0		0
学校担任	20.3	7.7		9.7
養護教諭	23.2	15.4		22.6
スクール君セラー	37.7	20.5		19.4
その他	5.8	5.1		3.2

値は%を示す



C8/C9/-/C9 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
定期的連絡会の開催	50.7	53.8		32.3
病例検討会の開催	27.5	43.6		25.8
コーディネーターの存在	55.1	79.5		51.6
セミナー・講習会等への積極的参加	24.6	25.6		16.1
多職種/機関が顔見知りであること	63.8	48.7		51.6
多職種/機関の役割が明確であること	66.7	43.6		12.9
各機関の仕事の内容を知っていること	59.4	46.2		38.7
各疾病の概念について知っていること	29.0	25.6		22.6
行政機関の高い関心	30.4	74.4		54.8
医師の高い関心	24.6	59		45.2
保健師の高い関心	13.0	38.5		22.6
看護師の高い関心	14.5	17.9		6.5
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	36.2	53.8		22.6
個人情報の利活用	23.2	28.2		3.2
対象保護者の協力	36.2	28.2		16.1
その他	10.1	2.6		9.7

